

# 2023 年度（第 60 期）

（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）

## 事業報告および決算報告

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

## 目 次

### I. 2023 年度(第 60 期)事業報告

I. 要旨	P. 1
II. 代理店・募集人の資質向上	P. 4
III. 公正な市場環境の構築・提言活動	P. 6
IV. 実効性ある CSR 活動の展開	P. 7
V. 組織力の強化	P. 8
VI. 活力ある代理店制度の構築	P. 12
VII. 広報活動の展開	P. 13
VIII. 代協会員への経営支援・情報の提供	P. 15
IX. コンベンション	P. 16
X. 法人運営	P. 17
(付1) 諸会議と諸問題の処理経過	P. 19
(付2) 表彰	P. 22
(付3) 機構および規則等の変更	P. 22
(付4) 特別会員の異動	P. 22
(付5) 役員 of 異動	P. 22
(付6) 2023 年度中における代協正会員の異動状況	P. 23
II. 2023 年度(第 60 期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録	P. 24
III. 2024 年度(第 61 期)事業計画	P. 33
IV. 2024 年度(第 61 期)収支予算書	P. 52
【参考】2024 年度通常総会議事録	P. 54
資料集	P. 56

# I. 2023 年度(第 60 期)事業報告

## I. 要旨

本年度も、整備されたWeb環境の元で、オンライン会議システムを駆使して活動した。ブロック協議会や周年行事のある各代協には、精力的にリアル対面形式で出向き、活動の推進の加速につなげた。

対外的には行政、損保協会、保険会社各社、業界内団体等との情報交換を重ねた結果、また金融庁保険課長と各代協会長との意見交換会の継続開催(リアル対面形式)などを通して業界における存在感を増すことができた。また対内的には、「施策・情報が伝えきれていないこと」を考慮し、動画での情報提供など工夫するとともに、各代協の活動を後押しした結果、仲間づくり推進(会員増強)の取り組み、日本代協アカデミーの利用推進、代理店価値向上策の取り組みを除き、概ね計画通りに推進することができた。

都道府県代協の取り組みには温度差があり、意識・行動のバラツキを是正できていないことは課題であると認識している。諸課題(役割分担、事務局体制、役員人事の硬直化、会員資格・会費体系のバラツキ、支部活動の強化等々)が解消されていない代協があり、組織活性化の進捗には濃淡が見られる。

当年度の特記事項は以下の通りである。

### ① コロナ禍を経た本部事務局における活動

本部事務局では、5 月移転の新事務所におけるオンライン会議等の設備を整備し、Zoom会議・ウェビナー・Vimeo を活用するとともに、テレワーク推進を図りつつ業務効率向上に取り組んだ。なお、6 月通常総会ならびに 3 月臨時総会はリアル集合形式で開催した。理事会は全国からの参集であり都度体調確認を行いながら、リアル集合形式で開催することができた。各委員会は、各委員会判断によりリアル集合・Web・ハイブリッド形式を選択して開催した。

### ② 防災・減災に向けた取り組みと災害に便乗した悪質な業者対策

今年度も大雨、台風による被害が発生し、災害救助法が適用された地域があった。また令和 6 年能登半島地震では、震度7を観測し、津波の発生、ライフラインの損壊により、懸命に復旧活動がなされている段階である。被災地区を含め他地区でも地震が頻発し自然災害の甚大な脅威が顕在化しており、防災・減災の取り組みや保険の機能や重要性が再認識されている。さらに、パンデミック対策やサイバーセキュリティ対策など自然災害以外のリスクにも留意する必要がある、公共性の高い損保代理業を営む我々の力の見せ所であることを再認識し、防災・減災に実効性を上げて取り組む必要がある。

このような災害に便乗して暗躍する悪質な住宅修理会社・保険金請求サポート業者からお客さまをお守りするために、注意喚起メールの配信や損保協会サイトのリンクやバナー掲載など損保協会との連携をさらに強化して取り組んだ。

### ③ 仲間づくり推進(会員増強)

本年度末会員数は 10,771 店となった。362 店の入会目標に対して、333 店 92.0%の達成率となった。会員の減少幅は、昨年度まで縮小傾向にあったものの、本年度は▲226 店(対前年度+129 店)と拡大し、特に退会理由が合併・統合等のやむを得ない理由以外による退会理由の割合が増加(対前年度+5.4%)したことが大きな課題となった。

代理店監査対応関連情報、代理店の賠償責任、日本代協アカデミーに関する情報の提供、代理店経営サポートデスクの運営、代理店価値向上策の提供・推進などを通して、代協加入のメリットをオールチャネルの「保険のプロ」に認識いただき、333 店の入会につながったが、一方で退会が 559 店(内合併等による退会 384 店)となり、上記の結果となった。

「目指せ、三冠王！」の結果については、本要旨の最後に記載した。

#### ④ 損害保険大学課程の運営

創設 13 年目となる損害保険大学課程のコンサルティングコースの運営においては、教育委員を中心に各代協の役員・委員・事務局員の支援を得て、合計 50 回の Web セミナー開催を無事に終了することができ、修了者合計で 1,278 名となった。奇しくも本年最初の 1 月 10 日のセミナーは震災後間もない北陸ブロック開催となったが、北陸ブロックの皆さまの強い責任感とセミナーが Web 化されたことが相まって無事開催することができた。2024 年 4 月受講者募集においては、募集目標 840 名に対し、受講申込者数 1,239 名（内代協会員 898 名）となった。会員比率は 76.5% (898/1,174 名) となり、業界内に一定の存在感を示すことができた。また、「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の一つとして要望を続け実現したゴールドバッジや顔写真入りカード型認定証を会員に浸透させることが今後の課題である。

なお、今年度は、設営後 12 年経った損保大学課程管理システムについて、脆弱性診断の実施、管理サーバーのバージョンアップ対応等、セキュリティの強化等に継続的に取り組んでいる。

#### ⑤ 「日本代協アカデミー」の展開

今後の本会の教育研修事業の柱と位置づけた取組みであり、代理店賠償に並ぶ「代協の魅力」の一つである日本代協アカデミーは、2023 年 4 月より新システムを導入した。同時に 1ID に対する利用料金の公平性の観点から一部大規模代理店に対する激変緩和措置を講じながら、料金改定を実施した。また、新システムに移行し、サーバーの不具合も解消され、コンテンツもカテゴリー別に表示できるようになり、受講者の利便性は向上した。一方で管理者にとっては一つコンテンツの進捗状況が 1 単元ずつ把握できず、パーセンテージによる進捗管理となっているため、その改善が今後の課題である。コンテンツ内容については、ベンダー会社任せでなく、より代協の独自性の強いコンテンツをめざした結果、教育委員会でコンテンツ開発が可能となり、保険会社にはない代協独自のコンテンツを継続提供することができるようになった。

#### ⑥ 代理店価値向上策の取組み

次の 4 つの取組み 1) 日本代協版「リスクマネジメント講座」、2) 「事業継続力強化計画認定（以下、「ジギョケイ」という）取得推進、3) BCP 策定、4) 社労士診断認証制度に焦点をあて推進した。今後の環境変化の中で、活躍できるプロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項であり、「目指せ、三冠王！」の重点取組事項にも組み込んで推進に注力したが、2) 「ジギョケイ」の取得は 16.0%、3) BCP 策定は 25.7%、4) 社労士診断認証の取得は 7.8% と昨年度から微増であった。また、「ジギョケイ」については、本来主旨を逸脱するような流れもあり、改めて取組みの背景、意義、目的などの本質を周知徹底する必要がある。一方で、価値向上策の推進により、企業の支援に繋がったとの事例報告も上がっている。

リスクマネジメント講座は、料金体系の細分化（日本代協アカデミー利用会員、代協会員、一般代理店）を行ったが、必要だと認識しても実際の受講につながらないことが問題となっている。

#### ⑦ 代理店経営サポートデスクの運営

2019 年 7 月開設の「代理店経営サポートデスク」（粕谷 智 室長）に寄せられた相談は、単年度 55 件、累計で 319 件となった（注）。本年度は継続して多様な支援と情報提供を行ったが、サポートデスクの存在周知を優先課題として取組んだ。具体的には出張型経営相談コーナーの開設と新たな情報提供番組である「ボクらの NEXT チャレンジ！」の配信である。ボクらの NEXT チャレンジは若手経営者を中心とするパネルディスカッション形式の番組配信を 6 代協（山口・神奈川・三重・沖縄・宮崎・大分）において展開できた。

また、保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学ぶ「代理店経営未来塾」も 7 月に第 2 期のフォローアップとしてのサマースクールを開講し、11 月からは第 3 期として開講し、現在 15 名が受講中である。

（注：事業承継 67 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 86 件、労務管理 50 件、代理店経営全般 57 件、体制整備等 28 件、その他 17 件）

## ⑧ 第12回コンベンションの開催

コロナ前と同様の開催方式とし4年ぶりの懇親会を開催した。式典総勢419名、懇親会510名と盛大に開催でき、成功裏に終えることができた。時代の変化のスピードはますます速くなっており、変化が起こる以前とは同じ姿に戻ることはないとの認識から、昨年のテーマである「シン・代理店価値」というフレーズは存続させようとして、「ニューノーマル時代を迎えて」という副題とし、ニューノーマル時代において代理店が顧客からどう選ばれるか、何らかのヒントを提供することを意図した。来賓ご挨拶(金融庁三浦知宏保険課長、損保協会新納啓介協会長)、功労者表彰、基調講演(保険代理店が未来に向けた「実践 SDGs 活動」で成果をあげる秘訣とは? スターブランド 村尾 隆介様)と進め高い評価をいただいた。回収率9割弱となった総合アンケートでは、パネルディスカッションを継続してもらいたいという意見が多かった。翌日の分科会には、4ゼミ総勢383名に参加いただき、どのゼミも好評であり所定の目的を達成したと考える。(①安東 邦彦様、②古田土 満様、③鈴木 みずえ様 鈴木 龍之亮様、④今林 砂緒里様)

業界全体が大きな課題を抱え変革すべき時を迎えた。様々な残課題や取組項目はあるが、理事会、各委員会においては、Web システムを駆使しながら使命感をもって取組みを進めている。次年度も「何ができるか、何をするか」を確認しつつ情報と熱が伝わる組織づくりに取組み、全代協一体となった活動を展開していく。

なお、「目指せ、三冠王!」の取組みにおいて、都道府県代協別では、33代協が目標を達成し、三冠王を獲得した。

各事業の概要は、以下の通りである。

## Ⅱ. 代理店・募集人の資質向上

### (1) 「損害保険大学課程」の運営

#### 1) 指定教育機関としての役割発揮・内容充実・制度改善

- ・セミナーに関しては、すべてを Web 形式で開催し、教育委員だけでなく組織全体で対応し、第一回セミナー 25 回・第二回セミナー 25 回を無事終了することができた。修了者合計 1,229 名、未修了者 148 名となった。
- ・本教育プログラムをよりよいものとするため、日本代協と損保協会との合同の打合せの場(「損保大学課程合同運営会議: 四半期ごと開催」)を設営している。この合同運営会議において、更なる認知度向上の取り組みならびに今後のセミナー形式等のあり方についても具体的な検討を進めている。

#### 2) 「損害保険大学課程」コンサルティングコース受講生の募集推進

- ・制度開始から 12 年となったが、自主目標の 840 名を早期に、かつ、会員所属の募集人で達成すべく、受講勸奨を展開した結果、1,239 名(内代協会員 898 名)を集めた。会員比率は 76.5%(898/1,174 名)であった。なお、直資代理店に対して取り組んだ「代理店内の認定者率や認定者実数の要件化・水準引き上げ」や「代理店内の教育研修計画への織り込み」に関しては、引き続き東京海上日動パートナーズ社に呼応いただき、人事制度改定に織り込み展開いただいている。

期別	受講者数(申込締切時)			合計	修了者数	修了率
	会員	会員以外	保社員			
第 1 期 (2013年度)				802	735	91.6%
第 2 期 (2014年度)				804	732	91.5%
第 3 期 (2015年度)	758	404	48	1,210	1,135	93.8%
第 4 期 (2016年度)	1,044	358	56	1,458	1,361	94.6%
第 5 期 (2017年度)	1,284	398	77	1,759	1,645	93.5%
第 6 期 (2018年度)	1,642	492	101	2,235	2,112	94.5%
第 7 期 (2019年度)	1,326	637	92	2,055	1,885	91.7%
第 8 期 (2020年度)	1,025	368	75	1,468	1,268	86.4%
第 9 期 (2021年度)	1,025	368	75	1,284	1,174	91.4%
第 10 期 (2022年度)	908	271	52	1,231	1,057	85.8%
第 11 期 (2023年度)	1,019	330	58	1,407	1,229	87.3%
第 12 期 (2024年度)	898	276	65	1,239	-	-
	10,929	3,902	699	16,952	14,333	84.6%

#### 3) 「損害保険大学課程」の認知度向上の取組み

- ・損保協会と連携し、以下①～③の施策、損保トータルプランナー認定バッジの団体購入・着用勸奨、顔写真付きカード型認定証の団体購入・携帯勸奨などを展開した。
  - ①消費者向け周知策として、新聞・刊行物・ポスター等への掲載、代理店検索サイトへの登録、消費者団体への案内
  - ②認定者メリット・魅力アップ策として、認定取得者専用サイトの運営協力
  - ③募集人・損保社員向け周知策: 受講勸奨ちらし作成、協会長ステートメント・業界紙への記事掲載等

#### 4) 「損害保険トータルプランナー」の魅力度向上

##### ① 社会的信認度向上

・損害保険トータルプランナー自らが、日々の活動の中で、消費者保護及び自らの資質向上に向けて取り組むとともに、消費者に向けた発信も必要であり、損保協会と連携し、以下の取り組みを展開した。

I. 認定者自身が日々の活動の中でお客様本位の業務運営を展開する。

II. 「3つの基本行動(i「ポスターの掲示、A4認定証の事務所内提示」、ii「認定バッジの着用、カード型認定証の提示」、iii「チラシ(損保協会作成)」)

なお、損保協会のホームページに掲載されている「損害保険トータルプランナーのいる代理店検索」への登録も漏れなく行い、広く周知を行うことも重要である。

##### ② 「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の検討

・教育委員を中心に意見集約し、周知策・魅力アップ策を損保協会へ提起した。合同運営会議や損保会社メンバーで構成されている販売調査部会等の論議を通し、できるものから実施することとした。

要望を続けていた顔写真入りカード型認定証の作成が実現し、7月1日から都道府県代協単位の団体販売が開始された。今後は、募集人資格試験「基礎単位」の免除等の資格保有のメリット策の実現に取り組む。

#### (2) 日本代協アカデミーの展開

・事業環境が激変する下では、会員個々の経営努力を前提としたうえで、組織を挙げて、会員の業務品質強化に向けた支援に取り組む必要があるため、本会では、3年越しの検討を経て日本代協アカデミーを構築し、2019年10月1日から本格展開を始め、システムの老朽化に伴い2023年4月より新システムを導入した。その結果、受講者にとっては、コンテンツがコースカテゴリー別に表示できるようになり、利便性は向上した。一方、管理者にとっては、受講者別のコンテンツの進捗状況が1単元ごとに細かく把握ことができず、パーセンテージでの進捗管理にとどまり、今後の改善が課題となっている。また、コンテンツ内容においては、ベンダー任せではなく、代協の独自性の強いコンテンツ提供のため、教育委員会コンテンツPTを中心にコンテンツ開発が可能となった。今後、継続的に保険会社にはない代協独自のコンテンツ提供を図る。

・2023年4月の新システム導入にともない、2023年度「目指せ、三冠王！」における日本代協アカデミーの評価カウント方法が、利用会員のすそ野を広げるという趣旨から、「会員数または利用者ID登録数」から「会員数」のみに変更した。その結果、2023年度「目指せ、三冠王！」の日本代協アカデミーの項目においては、19府県代協(対前年度+13代協)が目標を達成した。

・2024年度「目指せ、三冠王！」から日本代協アカデミーは評価項目の対象外となるが、目標数字達成ありきではなく、日本代協アカデミーの取組の目的や本質的な意義について理解し、自主的に自店のルーティン業務に取り入れる会員を増やす活動に注力する必要がある。

#### (3) 日本代協セミナーの開催

・日本損害保険代理業協会小俣藤夫副会長による「代協活動と代理店経営 ～代理店経営の羅針盤どうしていますか？」をテーマにしたセミナーを2023年6月16日(金)16時45分～18時00分にリアル開催した。

#### (4) PIAS

・本事業については、22年度に一旦終了することとした。

#### (5) 代協セミナー・代協支部セミナー

・代協(含むブロック)、支部セミナー 43代協6ブロック(延べ開催数80回 参加者数8,060名)

Web活用の環境構築も進み、セミナーの企画・開催が安定して実施されている。

「代理店の未来を考える」、「金融庁検査の着眼点」、「サイバーリスク対策」、「防災・減災の取組み」、「災害に便乗した悪質な業者対策」、「事業継続力強化計画認定取得」、「代理店賠償」、「税制改正(相続税・インボイス制度)」、「ハラスメント対策」などのセミナーが各地で開催された。開催講師はアドバイザーや有識者、正副会長・理事・事務局などである。また、前年に続き、あいおい社と代協との合同セミナー(前半を損保社からの提案、後半を日本代協の代理店支援策を紹介する)の開催が好評を集め、先発の東海を中心に東北地区でも開催され

た。さらに、「代協とは」、「代理店賠償の必要性」、「顧客本位の業務運営」などのテーマで保険会社社員向けのセミナーを単独開催することや、同テーマの会員専用セミナーに保険会社社員と一緒に参加してもらうなどの工夫をこらし、社員と代理店間の接点強化につながっている。

### Ⅲ. 公正な市場環境の構築・提言活動

#### (1) コンプライアンスの徹底

- ・総会時の募集規範朗読および各委員会時の倫理綱領の確認などを励行し、代協会員自身が個社としてコンプライアンスを徹底し、範を示すことが重要であることを周知した。
- ・不正を許さない企業文化を作り上げ、顧客本位の業務運営を実践することが重要であることを周知した。
- ・ガバナンス構築の一助として日本規格協会の JSA-S1003(保険代理店サービス品質管理態勢)に関する情報提供(セミナー等)を行った。

#### (2) 公平・公正な募集環境の整備

今年度も不適正疑義案件のデータベース化を進めるとともに、案件フローチャートの作成ならびに未然防止策の実践等を行った。今年度の収集は9件(累計353件)。販売チャネル内訳は、ディーラー・自動車関連7件、企業1件、銀行1件という結果で昨年度と同数の報告であった。実態としては各地で様々な疑義案件が発生していると考えられるので、報告ルールの周知が必要である。

ディーラー代理店の疑義事案の割合が多いことは例年通りであるが、保険募集時以外の災害に便乗した悪質な業者に関する情報が各地で目立ってきている。本会からは累計で48社の疑義事業者を報告したが、損保協会の手元にはその何十倍もの業者情報が集約されている状況であり、AIを活用した不正請求疑義事案検知機能の導入に向けた調査・研究や不正業者が関与した事案の事例集作成などの取組みを行っている。

##### 1) ディーラーを中心としたモニタリング

レッドカードちらしや公平な自動車保険募集に関する書面ひな型を活用し、不公正募集の是正に取り組んだ。

##### 2) 特定修理業者排除に向けた取り組み

- ・損保協会や鑑定協会とも定期的に連携を図っており、損保協会作成ツールの活用、「注意喚起メール配信」、「損保協会サイトのリンク」等の具体的な取組みを継続して実施した。

##### 3) 銀行等による保険販売

- ・「イエローカードちらし」を活用し、2012年4月1日から施行されている「弊害防止措置」が遵守されているか、不公正募集の事案は発生していないかのモニタリングを継続したが、疑義事案の報告はなかった。
- ・引き続き政連と連携し、行政や支援議員に対して圧力募集の懸念を訴え、同措置の存知を求める(支援議員の要望書に記載)。

##### 4) 日本郵政グループにおける保険販売への対応

- ・自動車保険ならびに長期火災保険に関しては、問題となる事案の報告はなかった。今後も、日本郵便の保険事業拡大およびゆうちょ銀行の損害保険代理業参入後の動向を注視する。政連と連携し、なしくずし的な拡大に歯止めをかけられるよう今後も動向を注視していく必要がある。

##### 5) 団体契約・集団扱・団体扱割引の適正な適用

- ・企画環境委員会では、本年度も引き続き、消費者の利益保護の観点からモニタリングを実施した。勤務先での強制加入勧誘に関する疑義案件の報告があった。

##### 6) その他不適正募集等のモニタリング・保険会社戦略のモニタリング

- ・不適正な割引割戻の削減に向け、特別利益の提供、抱き合わせ販売の際の説明話法事例の収集を行った。
- ・本年度の活力研で不適正、不公正募集情報を大手4社に手交し、注意喚起を促した。同時に損保協会に対して、活力研での動きを共有し、損保協会として、本年度業界で問題になった事例の事前情報収集の観点でも代協会員の声を受け取るよう依頼し、その方向で進めている。
- ・不適正、不公正募集情報は金融庁にも報告済。

- ・代理店統合に関する個別相談は経営サポートデスクにも入っているものの、一方的・圧力的であると判断される案件はないと判断している。

### (3) 業界の共通化・標準化に向けた提言活動

- ・消費者にとってメリットがある、業界全体の効率化につながる、代理店の無用なロードも軽減できると考えられる事案についての意見を継続して収集にあたったが、具体的な提案はなかった。
- ・独禁法に留意しつつ、家計商品約款内容と解釈の標準化を消費者の不利益の観点で共有しようとしたが、カルテル問題により保険会社との接点が持てない状態である。

### (4) 代理店価値向上策の推進

- ・代理店価値向上策の推進として次の4つの取組み 1) 日本代協版「リスクマネジメント講座」、2) 「ジギョケイ」取得推進、3) BCP 策定、4) 社労士診断認証制度に焦点をあて推進した。今後の環境変化の中で、プロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項であり、働きかけに注力したが、2. 「ジギョケイ」の取得は 16.0%、3. BCP 策定は 25.7%、4. 社労士診断認証の取得は 7.8%と昨年度から微増であった。また、三冠王自主取組項目である「ジギョケイ」については、本来主旨を逸脱するような流れもあり、改めて取組みの背景、意義、目的などの本質を周知徹底する必要がある。一方で、価値向上策の推進により、企業の支援に繋がったとの事例報告も上がっている。
- ・リスクマネジメント講座は、日本代協アカデミーの利用者のみを受講できる仕組みという立て付けにしたことにより、広く周知が進まない状況であることから、料金体系の細分化(i. 日本代協アカデミー登録利用者 75%引き、ii. 日本代協会員 50%引き、iii. 一般割引なし)の改定を行ったが、必要だと認識しても実際の受講につながらないことが問題となっている。

## IV. 実効性あるCSR活動の展開

本業(リスクの専門家)に関連した取組みや地域の課題解決につながる取組みを主体として、Web活用等の工夫も行い、取組んだ。

### (1) 統一活動

#### 【独自継続活動】

#### 1) 防災・減災の具体的取り組みの検討・推進

- ・「ぼうさいこくたい 2023」への出展(神奈川県代協)など各地で開催された防災イベントに参画。防災・減災意識の高い団体とのタイアップにより活動を推進した。

#### 2) 地震保険の普及促進・付帯率アップ(代協)

- ・2023 年度も全代協で「地震保険啓発・普及キャンペーン」を実施した。原則 10 月実施、時期・場所等は各代協で判断、コロナ禍で中止していた街頭キャンペーンも本年は復活し、ポスター8,125 部、ポケットティッシュ・ちらし 42,500 セットの一斉配布を行った(地区判断により、会員の日常活動を通じてのノベルティ配布を行った地域もあり)。

#### 3) 「子ども 110 番の保険代理店」の推進

- ・助けを求めて駆け込んできた地域の子供を保護する活動である「子ども 110 番の保険代理店」(「子ども 110 番の家」を日本代協として追認する仕組み)の取組みについては、入会時の案内、既存会員への定期的な情宣を行った。

#### 4) サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進

- ・群馬県代協における Emotet 感染情報が有効に作用し、各代協が自らの事件として捉え、サイバー保険の手当及び機器側の一層のセキュリティ対策の実施等を図っている。
- ・コロナ禍でにぶっていた「サイバーセキュリティ対策セミナー」も各県警と連携し、開催されるようになった。

## 5) 無保険車追放運動

- ・2023年7月18日に2023年度自賠責広報協議会(国交省を事務局とする6府省庁、17団体(本会を含む)で構成)が開催され、昨年同様、全国ベースで自賠責保険制度のPRキャンペーンの実施が決議された。
- ・全ての被害者に対して基本的な損害賠償を補償する自賠責保険の必要性、(自賠責保険の)無保険車運行の違法性の周知を図るもので、昨年同様、若年層・青年層を対象に広報・啓発活動を実施した。
- ・『秋の全国交通安全運動(9月21～30日)』期間の平日(原則)に街頭キャンペーンを再開(地域判断)した他、地域団体(大学の学生課等)・会員顧客へのノベルティ配布による啓発活動を実施した。

### 【損保協会連携活動】

#### 「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画

- ・「ぼうさい探検隊」の取組みでは、代協ルートで222団体・370マップ(去年は210団体・324マップ)の提出となり、去年の数値を上回ったが、全都道府県代協の三冠王目標達成はできなかった(達成代協46)。
- ・今年度もマップコンクールの後援団体として、「キッズリスクアドバイザー賞(日本代協賞)」を提供し、本会関連からの申込み8作品が佳作に入選した。また、参加した児童1,762名(去年は1,454名)に参加賞(ふうたのウエットティッシュ)を提供した。
- ・マップ作成を通して子どもたちが危険と指摘した箇所が改善されたとの報告があがっており、今後は改善事例の収集も積極的に行いたい。

## (2) 学校教育への取り組み

- ・損保協会と連携し、全国の大学における損害保険論等の講座において、日本代協担当講師による講義を実施した。全国3大学に対して、実務家としてプロ代理店の存在の周知も図った。毎年10月に開催している講師育成のためのプレゼンテーションスキルアップ研修を10月31日(火)に開催し、新たに6名を認定し「日本代協認定講師」は累計で66名となった。

## (3) 代協独自活動

- ・統一活動以外の活動に関しては、各代協で地域の事情に応じ、主体性をもって取り組んだ。日本代協CSR委員会はその支援を行った。

(主な取り組み) 学生(小中高大)に対する出前授業の実施を三冠王の重点取組事項のひとつとして取り組んだ。岩手、茨城、山梨、愛知、三重、富山、石川、福井で実施された。また、一般消費者向け公開講座、清掃、植林等の環境保全活動、献血、チャリティ等の社会貢献活動、消費者団体との意見交換会の開催(日本代協は東京ブロックと共催で11月10日実施)、などを実施した。

## V. 組織力の強化

### (1) ブロック・代協・支部の強化

#### 1) 会員情報の収集・整理

- ・各代協においては、自代協の組織運営上必要な会員情報を収集し、リスト化することを目指しているが、労力のかかる仕事であり、完成している代協はまだ少ないのが現状である。
- ・「会員情報の全国一元管理が可能となる管理システムの構築」に関しては、各代協の規模や生い立ちにより求める情報にバラつきがあるため、直ちに構築に向かう状況ではないが、ニーズ確認や使い勝手の良いソフトやシステムの模索は継続する。

#### 2) 支部活動の強化

- ・支部活動は代協活動の原点であり、委員会、会長懇談会等においても支部の好取組事例の共有を強く意識して運営した。特に9月に開催した第2回全国会長懇談会における呉支部、大阪南支部の取組発表は多くの感動と運営面の気づきを提供することとなり、特筆出来る。組織委員会正副委員長による各ブロック組織委員会へ

の Web 参加により、また、組織委員による好取組事例の収集・提供などにより、「情報と熱を伝える」活動を実践した。

### 3) 各代協の会員資格と会費モデルの検証

・会員資格の確認においては、別個登録と契約取扱い先の違いや代理店登録番号・記号の確認が重要であることを共有し、正会員会費・一般会員会費・賛助会員会費のあり方の検討機運が高まった。各代協の健全な財政基盤の確保のための中期計画の策定・実践取組みが重要である。

### 4) 情報と熱を伝える取組み

・組織委員会を中心に各代協の好取組事例の共有を図り、ブロック協議会や各代協理事会・委員会に Web 参加し、情報提供を行った。また役員・委員においては direct チャットや LINE を利用した迅速な情報連携が定着してきた。

### 5) 若手会員・女性会員の育成・登用

・日本代協理事・委員会委員・PTメンバーへの選任や好取組事例の取材先選定、業界紙への記事掲載等の機会を通して日本代協として側面支援を実施した。会長懇談会や日本代協コンベンション分科会において講師として女性会員や若手会員に登壇いただき、好評であったことは特筆できる。

### 6) 新入会員のオリエンテーションの実施

・新入会員に、本会の活動に参加する喜びを体感してもらうため、また、退会防止のためにもオリエンテーションの開催は必須であるとの認識から、開催の徹底を働きかけた。こうした中で、大阪代協では、15 回(新入会員ごと)開催されており、固定化・ファン化を図っていることは特筆できる。

新入会員を委員会配属やイベント担当とするなど代協活動に参加しやすい仕組みづくりについては、まだ実践できている代協は少ない。

2023 年度開催代協 14 代協(昨年度 14 代協)・28 回(昨年度 34 回)参加者 345 名(昨年度 366 名)

### 7) 組織運営のガバナンス確保

・各代協においては、関連法規(特に労働関係法規)を遵守し、「一般社団法人運営マニュアル」を参考に、態勢の構築、適正な組織運営、事務局の役割分担等を推進した。各代協の総会や理事会運営に関しては、「よくある法人運営上の誤り」に基づき、具体例を上げて適正な運営を促した。また、健全な財政基盤の確保に向け、会費体系等の見直しを検討する代協に対しては、「会員資格・会費の考え方」、「2013 年度第 8 回理事会議事録・資料」、「代理店登録番号・記号解説」を配付し、理解を深めたいうで地域特性を加味した会費体系づくりを進めるようにアドバイスした。

・「社員総会資料の電子提供」について、法令が整備され、対応が可能となったため、2023 年 6 月の通常総会より、総会参考資料の電子提供を行い、配布費用、紙削減に大きく貢献した。

・日本代協本部においては、各代協の運営に資する情報収集と知識習得に努め、専門家のネットワークを活用しながら、個別事案への対応をサポートした。

### 8) ブロック協議会による情報共有と相互の活性化支援

・前年に続き、会長(代表理事)と業務執行理事(専務理事)が、ブロック協議会への参加や周年行事対応での代協訪問(それぞれ基本的にリアル対面式の訪問)を実施し、相互活性化が前進した。

・ブロック協議会については、リアルとハイブリッド形式の開催工夫がなされているものの論議内容に濃淡がある。効率的かつ会議後の各代協への波及効果のある運営を実施しているブロックを参考とすることが必要と思われる。

・各ブロックから、会議終了後すみやかに日本代協事務局に議事録を送付し、情報共有する取組を継続するが共有スピードに濃淡がありすぎる。ブロック規則との整理が必要である。

## (2) 代協正会員の増強

### 1) 基本方針

- ・代協正会員の増強は各代協の経営上の課題であるが、全代協の取組みを後押しする観点から、当面は日本代協全体で取り組む。増強運動の盛り上げを図るため、日本代協としては公平性の観点から「入会ベース」の目標を設定し、取り組んだ。
- ・将来的には全代理店の加入、長期的にはその前提として過半数の加入(約 8 万店)を目標とし、そのステップとして、専業代理店換算組織率 50%超を中期目標において取り組んだ。加入勧奨に当たってはチャンネル区分に関係なく、保険代理業を本業の一つに位置付け、志高く取り組んでいる有力代理店に幅広く加入勧奨を行った。

### 2) 本年度目標

- ・各代協の入会目標値の合計 362 店の達成を目指して取り組んだ。Webを活用して、ニーズに照らした各種セミナーの企画・開催、代理店賠償の提案、損保大学課程の受講勧奨、日本代協アカデミーの活用、代理店サポートデスクの活用等で「代協の魅力」のPRを展開し、仲間づくり推進(増強運動)を推進したが、362 店の入会目標に対して、333 店 92.0%の達成率となり、年度末最終合計 10,771 店、専業換算組織率は 52.6%となった。代理店の合併による退会は、20 年度 358 店、21 年度 294 店、22 年度 216 店、23 年度 240 店の推移である。

### 3) 仲間づくり推進(代協正会員増強)のための取り組み

- ・各代協の入会目標値の合計 362 店の達成を目指して取り組んだ。  
「連クオーター稼働(9 月末目標数の 30%以上、12 月末 60%以上)」においては、昨年の 16 代協を上回る 19 代協がスタートダッシュを決め、年間を通して取組みのラップを刻んだ。10 月末の進捗状況を踏えて、2023 年 12 月から全国一斉「代協正会員増強キャンペーン」を実施し、年度末にむけて盛り上がりを図ることができ、「増強: ±0 以上年間減少脱却キャンペーン」では 17 代協が達成した。
- ・三冠王(仲間づくり、コンサルティングコース受講勧奨、重点取組項目)の柱とする項目以外に、各代協の意見を反映して対象項目を追加してきたが、全国の意見を取り入れて施策整理の観点で見直しを行い、次年度取組内容を整理した。

2023 年度の三冠王の獲得状況は以下の通りである

#### <三冠王>

##### ◇ダイヤモンド三冠王(6 冠以上)

【9 冠】 該当なし

【8 冠】 山梨 ・ 愛知 ・ 三重 ・ 石川

【7 冠】 神奈川 ・ 富山 ・ 福井 ・ 広島

【6 冠】 岩手 ・ 栃木

##### ◇プラチナ三冠王

【5 冠】 長野 ・ 山口 ・ 香川 ・ 福岡 ・ 長崎 ・ 鹿児島

##### ◇ゴールド三冠王

【4 冠】 新潟 ・ 茨城 ・ 滋賀 ・ 京都 ・ 奈良 ・ 和歌山 ・ 岡山 ・ 鳥取 ・ 高知

##### ◇三冠王

【3 冠】 やまがた ・ 千葉 ・ 大阪 ・ 兵庫 ・ 徳島 ・ 宮崎 ・ 熊本 ・ 沖縄

##### ・換算組織率

香川 86.9%、京都 85.3%、徳島 84.1%、奈良 80.6%、鳥取 76.3%、和歌山 75.6%、岡山 74.9%、滋賀 73.6%、福井 71.3%と 9 代協が 70%を超えた。

・2023 年度末会員総数は 10,771 店(換算組織率 52.6%)となった。

代協正会員数推移		入会	退会	入会－退会
2002年3月31日現在	12,417 店	765	1,252	△ 487
2003年3月31日現在	12,356 店	1,054	1,115	△ 61
2004年3月31日現在	12,113 店	817	1,060	△ 243
2005年3月31日現在	12,070 店	887	930	△ 43
2006年3月31日現在	11,912 店	809	967	△ 158
2007年3月31日現在	12,020 店	985	877	108
2008年3月31日現在	11,864 店	751	907	△ 156
2009年3月31日現在	11,703 店	939	1,100	△ 161
2010年3月31日現在	11,566 店	723	860	△ 137
2011年3月31日現在	11,485 店	646	727	△ 81
2012年3月31日現在	11,470 店	619	634	△ 15
2013年3月31日現在	11,491 店	644	623	21
2014年3月31日現在	11,498 店	569	562	7
2015年3月31日現在	11,758 店	744	484	260
2016年3月31日現在	12,041 店	852	563	289
2017年3月31日現在	12,215 店	718	550	168
2018年3月31日現在	12,267 店	556	504	52
2019年3月31日現在	12,145 店	499	621	△ 122
2020年3月31日現在	11,768 店	374	751	△ 377
2021年3月31日現在	11,344 店	324	748	△ 424
2022年3月31日現在	11,094 店	331	581	△ 250
2023年3月31日現在	10,997 店	362	459	△ 97
<b>2024年3月31日現在</b>	<b>10,771 店</b>	<b>333</b>	<b>559</b>	<b>△ 226</b>

#### 4) 損保各社との対話・連携強化

・2023 年度も、本会、ブロック協議会、代協、支部がそれぞれの立場から災害に便乗した悪質な業者対策、防災・減災の取組み(含む地震・風水災リスクや中小企業のリスク啓発のための動画制作への協力)、損保協会寄附講座(各地の国立大学等)への講師派遣について連携を図り、関係強化に取り組んだ。

### (3) 人材育成研修会

2023 年度は、8 ブロックに予算手当を行い、自主開催を含む 11 ブロックで開催された。

#### 【8 ブロック 参加者数 計 392 名】

- ・北東北(2023.09.22 ALVE 秋田拠点センター) ・上信越(2023.11.10 高田ターミナルホテル)
- ・東関東(2023.5.25 大宮ソニックシティ国際会議室) ・東京(2023.10.27 損保会館)
- ・近畿(2023.03.27 ハートンホテル) ・阪神(2023.10.6～10.7 しあわせの村 研修施設「あおぞら」)
- ・四国(2023.12.01 えひめ共催会館) ・九州南(2023.10.06 青島サンクマール)

#### 【自主開催 参加者計 330 名】

- ・東海(2023.11.22 プラトンホテル四日市) ・愛知 2023.07.07 トヨタ労連つどいの丘
- ・三重(2023.06.21 第一ビル会議室) ・三重(2023.06.28 第一ビル会議室)
- ・大阪(2023.06.08 あいおいニッセイ同和フェニックススタワービル) ・東中国(2023.09.27 岡山シティミュージアム・倉吉未来中心・損害保険ジャパン松江支社・損害保険ジャパン浜田支社)
- ・岡山(2023.10.17 損害保険ジャパン 岡山支店)・岡山(2023.09.21 津山圏域雇用労働センター)

#### (4) 代理店賠償の普及と経営品質向上

##### 1) 代理店賠償の引受内容

- ・2023年10月1日から始まるポリシーの補償内容に関しては前年度プランと変更なし。
- ・代理店賠償審査会は、2023年8月1日に開催し、疑義案件の審議や保険金支払基準について討議し、制度の質の維持、向上に努めた。審査会有識者委員は大塚英明(早大教授)、古笛恵子(弁護士)、新 有道(弁護士)、錦野裕宗(弁護士)、栗山泰史(日本代協アドバイザー)の各氏。

##### 2) 加入促進、制度の健全な運営確保のための施策

- ・各ブロック、組織委員会を主体として各種行事(オリエンテーションなど)を織り込んだ代理店賠償研修会を開催し、未加入代理店や保険会社社員に対して保険業法283条をはじめ本制度の情宣と加入促進を行った。
- ・組織委員会においては、他山の石:事案ごとの責任割合(求償割合)についても勉強会を実施した。
- ・「経営品質向上委員会」は、2024年3月8日の全国会長懇談会において開催し、Chubb社から「事故原因分析、取扱いの注意点、トラブル事例から学ぶ」の3点について、各代協会長に情報提供を行った。

##### 3) 加入状況

- ・2024年3月末では9,461店(加入率87.0%)となった。各年度別実績は次のとおりである。

■代理店賠償加入者数 年度別実績 推移

(3月末時点実績)

年度 取	内	保険始期日加入者数		中途加入者数		中途脱退者数		年度末加入者数		加入率 %
		店	店	店	店	店	店	店	店	
2002年度		3,723	722		14		4,431	35.9		
2003年度		5,180	604		43		5,741	47.4		
2004年度		6,109	652		62		6,699	55.5		
2005年度			630		110		7,707	64.7		
2006年度		7,908	700		82		8,526	70.7		
2007年度		8,352	479		59		8,772	74.1		
2008年度		8,558	547		27		9,078	77.6		
2009年度		8,787	364		18		9,133	79.0		
2010年度		8,869	365		17		9,217	80.2		
2011年度		8,833	296		21		9,108	79.4		
2012年度		9,073	298		16		9,355	81.4		
2013年度		9,225	252		8		9,469	82.4		
2014年度		9,425	341		4		9,762	83.0		
2015年度		9,626	409		8		10,027	83.2		
2016年度		9,975	326		5		10,296	84.3		
2017年度		10,120	217		3		10,334	84.2		
2018年度		10,048	281		10		10,319	85.0		
2019年度		10,020	199		16		10,203	86.7		
2020年度		9,877	167		1		10,043	88.5		
2021年度		9,605	177		3		9,779	88.1		
2022年度		9,473	173		-		9,646	87.7		
2023年度		9,328	134		1		9,461	87.0		

## VI. 活力ある代理店制度の構築

### (1) 活力研の開催

2023年度は、業界を取り巻く諸課題の事後対応の関係により、第2回目は4保険会社が集合出来ず、個社毎の開催となるなど、従来とは異なる運営を余儀なくされた。しかしながら、業界課題を整理し実のある意見交換が重視され、活力研の重要度は高まったと考えられる。

- ・第1回目を2023年7月23日にリアル集合形式で開催し、下記3つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。

- ①「あるべき手数料ポイント制度」
- ②「『顧客本位の業務運営』の中で代理店の成長をどう考えるか」

- ・第2回目は2024年3月13日 SJ社およびMS社、3月15日にTN社およびAD社との個別論議を実施した。テーマは下記3テーマについて論議を進め、情報を共有した。
  - ①「信頼回復に向けた各社の取組について」
  - ②「代理店手数料ポイントの各代理店への通知について」
  - ③「大阪代協の意見交換会を踏まえた検討内容」
- ・詳細に関しては、既配信の各議事録を参照いただきたい。

## (2) 金融庁と代協会長との意見交換会の開催

- ・2024年3月8日(金)16時～18時に第2回目となる意見交換会を損保会館 2F 大会議室にて、三浦知宏保険課長にお越しいただき、リアル対面方式で開催した。その後、名刺交換を行い、同会場にて立食の情報交換・交流会も開催した。今回は、事前に質問を受け付け、共有したうえで意見交換会を実施した。質問のテーマ分類は次のとおり
  - ①手数料ポイント制度、代理店合併・統合、乗合承認、他チャネルとの競争上の課題その他、保険会社とのコミュニケーションの中で抱えている課題について
  - ②業務品質の高度化や顧客本位の業務運営の実践に向けた取り組み、工夫している点の披露
  - ③保険会社との連携で取り組んでいる施策等の披露
  - ④上記以外の金融庁への質問事項
 三浦保険課長の意見交換会での最初の挨拶コメントを記載する。  
 「我々がこのように保険会社に物を申すことができるのも、皆さまとこのような意見交換の場を設けていただき、そこで様々なお話を伺うことができたことが大きい。前向きな対話を継続していくためにも引き続き皆さまとの対話を行うとともに諸課題に対する損保会社各社の取組状況についてフォローアップしていきたいと考えている。」「最後になるが、本日ご列席の代理店の皆さまにおかれましては、引き続き地域に根ざした保険代理店として保険業界の更なる発展と契約者保護等に寄与していただけることを大いに期待している。」

## (3) 環境変化対応の支援

- ・日本代協事務局から、体制整備義務履行のためのサポートを行った。「ワンポイントレッスン」、「業務関連情報ニュース」などを提供した。また、代理店経営サポートデスクと連携し、日本代協アカデミーの教育コンテンツの制作や情報提供コンテンツでの最新情報のお知らせを行った。
- ・環境認識を踏まえ、代理店の経営体制をさらに整備するため、「10年後の代理店経営を考える」、「金融庁検査の着眼点」、「地域の未来と代理店のミライ」などをテーマとしたセミナーを開催した。
- ・業法改正に係る府令・監督指針、保険会社の各種制度の動向を注視し、影響度の分析を行ったうえで、適宜メールやセミナー等で代協会員向けに情報を提供するとともに、募集実務に過度な負担を及ぼさないよう金融庁や損保協会に働きかけた。

## VII. 広報活動の展開

### (1) ホームページ (HP) の活用

#### 1) 日本代協のホームページ

- ・ホームページは、「社会に開かれた窓」(法人の顔)として、本会から会員、非会員代理店、および一般消費者に対する重要な情報発信ツールであり、また本会を理解していただくための窓口でもある。  
動画の活用、YouTubeの活用、損保協会サイトのリンクを通して、わかりやすい情報提供を推進した。

#### 2) 各都道府県代協のホームページ

- ・代協という組織が HP および SNS の活用推進をする上で必要な項目や基本的マナーを整理する位置付けとして「HP・SNS ガイドライン」を作成し、広報委員によるパトロールや個別問い合わせ対応などで各代協への周知に努めた。

**(2) メディア対策**

- ・本部事務局、各代協において業界紙、全国紙、地方紙、テレビ、ラジオ等のメディアと平素より良好な関係を保持し、記者会見、インタビュー等を通じて本会の見解、意見等を世の中にアピールした。また、各地で代協活動等を行う場合には事前に地元の新聞社へ連絡し、記事として掲載してもらうよう働きかけた。損保協会が企画するリスク啓発動画(地震・水害や中小企業リスク等)の制作にも引き続き、協力した。
- ・本部での広報活動は、「代協の存在」と「代理店は消費者・契約者のリスクコンサルタントである」ことをPRし、『保険を選ぶ前に、代理店を選ぶ。』という考え方を普及することおよび各代協での消費者団体との懇談会推進の側面支援をすることなどを主な目的として実施した。

2023 年度 地元新聞への広告掲載 その他、テレビ、FM 放送や、地下鉄車両への広告掲示、タウン誌等への広告掲載等、地元に着した広報活動を実施した。

**対外広報活動  
＜新聞広告＞**

広告主	掲載日	掲載媒体
岩手	2023.11.01	岩手日報 全面
秋田	2024.03.11	秋田魁新報社 あきた防災2024 協賛広告
秋田 県北	2024.01.10	北羽新報社 能代地区会員 年賀広告
秋田 県北	2024.01.08	北鹿新聞 年始ご挨拶
秋田 県北	2023.09.20	北鹿新聞 秋の交通安全運動
秋田 県南	2024.03.11	秋田魁新報社 県南支部会員広告
宮城	2023.05.31	河北新報 令和5年度「みやぎ水災・地震保険スタートアップ補助金」広告
やまがた	2024.01.04	山形新聞 謹賀新年名刺広告
やまがた	2023.04.05	山形新聞 春の交通安全県民運動
やまがた	2023.04.02	山形新聞 全県版 会員共同広告 4月より毎月掲載 2023年度掲載合計回数45回
新潟 長岡/上越	2023.10.23	新潟日報朝刊 上中越版
山梨	2024.01.22	山梨日日新聞 損害保険トータルプランナー周知全面広告 発行部数21万部
山梨	2023.06.02	山梨日日新聞 2023年度通常総会広告
静岡 富士富士宮	2024.03.30	富士ニュース
静岡 富士富士宮	2024.03.30	岳南朝日
静岡 富士富士宮	2023.11.23	富士ニュース
静岡 富士富士宮	2023.11.23	岳南朝日
三重	2023.12.02	中日新聞朝刊 1紙面全面広告「年末交通安全県民運動」
富山	2023.09.15	北日本新聞朝刊
富山	2023.09.15	北日本新聞朝刊
石川	2024.01.20	北國新聞
石川	2023.09.01	北國新聞
福井	2024.02.05	福井新聞 損害保険トータルプランナー広告 (5段×2面)
福井	2023.11.12	福井新聞

広告主	掲載日	掲載媒体
福井	2023.07.14	日刊県民福井 自転車の安全で適正な利用に関する広告
福井	2023.07.07	日刊県民福井 自転車の安全で適正な利用に関する広告
福井	2023.07.01	日刊県民福井 自転車の安全で適正な利用に関する広告
福井	2023.04.08	福井新聞 交通安全啓発広告(自転車)
奈良	2024.02.17	毎日新聞 奈良版全面カラー 損害保険トータルプランナー 小学生のぼうさい探検隊 周知
岡山	2024.03.11	山陽新聞 朝刊全県版
岡山	2023.09.02	山陽新聞 朝刊全県版
山口 岩国	2023.10.25	日刊いわくに
香川	2024.01.03	四国新聞 全15段広告(カラー版)
愛媛	2024.01.03	愛媛新聞社 損害保険トータルプランナー周知全面広告
愛媛	2023.12.28	愛媛新聞社 年末の交通安全運動
愛媛	2023.12.25	愛媛新聞社 年末の交通安全運動
愛媛	2023.12.23	愛媛新聞社 年末の交通安全運動
愛媛	2023.09.29	愛媛新聞社 全国交通安全運動
愛媛	2023.09.25	愛媛新聞社 秋の全国交通安全運動
愛媛	2023.09.21	愛媛新聞社 秋の全国交通安全運動
愛媛	2023.09.01	愛媛新聞社 えひめ防災・減災いよせプロジェクト2023
愛媛	2023.07.23	愛媛新聞社 カラー全面広告
愛媛	2023.05.20	愛媛新聞社 春の全国交通安全運動
愛媛	2023.05.18	愛媛新聞社 春の全国交通安全運動
愛媛	2023.05.16	愛媛新聞社 春の全国交通安全運動
大分	2023.09.01	大分合同新聞 朝刊
熊本	2023.12.31	熊本日日新聞

## <テレビ・ラジオ>

広告主	掲載日	掲載媒体
長野	2023.09.08	信越放送SBCラジオ スポットCM 9月8時台・17時台
岐阜	2023.09.19	岐阜ラジオ
三重	2023.12.04	F M 三重 北岡会長ラジオ生出演
三重	2023.12.01	F M 三重 ラジオスポットCM 12月1日～8日 (25本)
石川	2024.03.01	テレビ金沢 スポットCM (3/1～31)
大分	2023.10.03	NHK大分ラジオ 11:55 防災お知らせコーナーにて10/28公開講座告知

## <その他>

広告主	掲載日	掲載媒体
岐阜	2024.03.01	岐阜県内 5路線バス広告
三重	鈴亀 2023.09.02	「すずかフェスティバル」パンフレット広告ページ
京都	2023.04.01	京都市烏丸線 地下鉄広告 (トータルプランナー) 一年契約
山口	柳井 2023.10.12	地域情報誌「じもっとナビ」4万部配布
佐賀	2024.02.16	佐賀新聞に折り込まれるFitに代協活動・全会員名掲載

### ① 「業界紙との懇談会」

・業界紙3社(「保険毎日新聞」、「新日本保険新聞」、「インシュアランス」)との懇談会を7月6日にリアル対面形式で実施し、意見交換を行った。次年度以降も毎年開催していく。

### ② 週刊東洋経済臨時増刊 2023年版(11月1日発行)「生保・損保特集」P.2(広報)、P.52・広告と小田島会長のインタビュー記事を掲載した。

### ③ 新日本保険新聞との共同取組である代協活動の新聞掲載記事のスキームを活用し、情宣に努めた。

## (3) Web 媒体等の活用

・2023年度も、昨年に続き、以下の特別番組を日本代協 YouTube チャンネルで視聴できる仕組みとした。

・今年度のPR企画は、ニューピークス者の提案を採用し、以下の概要で制作した。

「グレートフルなまけん Daily」というテーマで、若年層(20～30代)へ保険代理店という仕事は、「感謝」に溢れる仕事であることを伝える動画を2本作成し、2024年4月15日からリリースした。

① 親子の絆にありがとう(代理店スタッフと親子のエピソード)

② お店の再開にありがとう(代理店スタッフと店主のエピソード)

・次年度以降、本動画を含めた過去に作成した動画の活用、整理、配信を行っていく。

## (4) 「みなさまの保険情報」の活用

・成熟経済の下では、既存契約者との接点強化は極めて重要な命題であり、全ての代協正会員が「損害保険代理業は情報提供業」との意識で、積極的に顧客への情報提供を行う必要があるとの認識から、広報委員会を中心に「みなさまの保険情報」の購入勧奨を行ってきた。しかしながら、2024年3月末時点の利用状況は、409会員42,145部(前年度末現在 403会員代協計 40,675部)にとどまり、購入会員数比率も3.7%から3.8%と微増した。この情報誌の存在・活用方法を浸透させ、お客さまとの接点強化のひとつとすることを改めて周知しなければならない。

## VIII. 代協会員への経営支援・情報の提供

### (1) 代理店経営支援策の検討・提供

・2019年7月開設の「代理店経営サポートデスク」(粕谷 智 室長)に寄せられた相談は、単年度55件(相談内訳:事業承継9件、代理店BCP・事業継続力強化計画14件、労務管理6件、代理店経営全般7件、体制整備等2件、その他17件)、累計総件数は319件となった(注:累計内訳 事業承継67件、代理店BCP・事業継続力強化計画86件、労務管理50件、代理店経営全般57件、体制整備等28件、その他31件)

・本年度は継続して多様な支援と情報提供を行いつつ、サポートデスクの存在の周知と新たな情報番組の提供を行った。経営相談からの汎用型各種ガイドの作成は、前年度で一通り終了したことから、具体的なニーズが寄せられた場合に、個別対応を検討した。具体的な取組としては「出張型経営相談コーナーの開設」と新たな情報提供番組である「ボクらのNEXT チャレンジ！」の配信を展開した。

## **(2) 代理店経営サポートデスクによる支援メニューの提供・展開**

相談日を従来の水木曜日 10～16 時から水曜日のみに変更したが、各種アナウンスにより周知されており、大きな混乱はなかった。

### 1) 「出張型経営相談コーナー」

各代協における粕谷室長の登壇機会を活かし、セミナー開催の前後の日程で開催地における「出張型経営相談コーナー」を開設し、代理店経営サポートデスクの一層の周知と利便性の向上を図った。

### 2) 「ボクらのNEXT チャレンジ！」

若手経営者を中心とするパネルディスカッション形式の番組配信を 6 代協(山口・神奈川・三重・沖縄・宮崎・大分)において展開できた。当該番組は日本代協アカデミーの動画コンテンツとして搭載するため、教育委員の推薦や会長懇談会等での各代協会長からの自薦による候補者発掘を行うなど現場からの選定の協力を取り付ける工夫がなされた。

### 3) 「代理店経営未来塾」

保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学ぶ「代理店経営未来塾」については、第 2 期のフォローアップとしてのサマースクール(リアル任意参加)を 7 月に開講し、11 月からは第 3 期として開講し、現在 15 名が受講中である。企業経営の基本的なフレームワークを学ぶ特別講座として 6 セッションに分かれた内容について毎回真剣な取組となっている。

### 4) 「事業継続力強化計画認定申請支援」

申請書作成支援・セミナー依頼への対応に加え、認定代理店間の「事業継続力強化計画(連携型)認定申請」の情報収集を行い代理店・法人顧客の事業強靱化を支援した。わかりやすい認定取得支援ガイドによるリアル型ワークショップ(2.5 時間)も開催し、認定取得を支援した。

## **(3) 情報提供の推進**

業界を巡る環境変化の激しさの中で、重大な問題が日々展開しており、本会の意見、取り組み内容等を従来以上にタイムリーに会員に情宣している。配信文書は原則 A4・1 枚とし、冒頭にポイントを明示し、簡潔に伝えることに努めた。

### 1) 「日本代協ニュース」

・「日本代協ニュース」(定期版)は、年 8 回ダイレクトメールリングによって発信した。掲載内容は、代協活動や代理店経営にかかる最新動向を主とし、会議報告等はポイントのみに絞った。

・業界動向をまとめた「情報版」は A4・3 枚ほどの分量の情報となった都度、配信した。

### 2) タイムリーな情報提供の実施

・直ちに全役員(経由各代協会員)、委員会委員に伝達すべき情報については、ビジネスチャット direct を活用して適宜情報提供を実施した。

### 3) 「代協活動の現状と課題」(冊子)

・「代協活動の現状と課題」は代協会員の必携であり、9 月に全会員に配布するとともに、日本代協ホームページにもデジタルブック版・PDF 版を掲載し、活動の透明性を図った。

## **IX. コンベンション**

7 月の理事会において、式典・分科会と共にリアル集合形式とし、4年ぶりに懇親会を開始することを決議した第 12 回日本代協コンベンションは、総勢 419 名がリアル参加し、成功裏に開催することができた。

・テーマ:「シン・代理店価値」～ニューノーマル時代を迎えて～

・基調講演の参加者からは、高い評価をいただいた。また、コンベンション全体を通して参加者から、高い評価をいただき、所定の目的を達成したと考える。

・コンベンションの内容

<第一部>式典・功労者表彰・基調講演(総勢 419 名が参加)

11/17(金) グランドニッコー東京 台場

主催者挨拶:小田島綾子会長、ご来賓祝辞:金融庁三浦知宏保険課長、大知久一損保協会専務理事

功労者表彰:表彰者 6 名を表彰、受賞者代表ご挨拶:沼田 忍氏

パネルディスカッション:「~どうする損害保険業界 今こそ顧客本位の時~」

パネラー:小松原博幸 様(岡山県代協会員) 門和宏 様(和歌山県代協会員)

ファシリテーター:一般社団法人 日本損害保険代理業協会 副会長 山中 尚

基調講演:「SDGs 本の人気著者が今伝えたい『保険代理店が未来に向けた「実践 SDGs 活動」で成果をあげる秘訣とは?』講座~SDGs でブランド力 UP・広報力 UP・売上 UP を実現しよう! ~」

講師:スターブランド 村尾 隆介 氏

<第二部> 分科会(総勢 383 名が参加)

11/18(土) 損保会館にて 4 ゼミを開催

分科会①:「激動の時代を切り開く 損保代理店の『経営の設計図』」

安東 邦彦 氏(株式会社ブレインマークス 代表取締役)

分科会②:「高収益・高賃金を生み出す「経営計画書」の作り方」

古田土 満 氏(税理士法人 古田土会計 代表)

分科会③:「女性活躍推進と SDGs 経営にチャレンジ」

今林 砂緒里 氏(株式会社 KIC 代表取締役兼 CEO)

分科会④:「RPA 活用による生産性向上と、社員一人一人がいきいきと働ける職場づくり」

鈴木 みづえ 氏(株式会社中央ビジネス 代表取締役社長)

鈴木 龍之亮 氏(株式会社中央ビジネス RPA 事業部長)

・2024 年度第 13 回コンベンションの開催プランの検討

11 月 15 日(金)と 16 日(土)を予定している。情勢を確認しながら 6 月までには判断する予定である。

11 月 15 日グランドニッコー東京 台場、11 月 16 日損保会館等にて開催すべく会場を確保している。

## X. 法人運営

### (1) 一般社団法人としての体制整備と運営

- ・2013 年 4 月 1 日以降、一般社団法人となり、新たな定款、諸規則に沿った組織運営を行った。
- ・重要事項に関しては、各委員会経由に留まることなく、直接各代協会長・事務局にも伝達を心掛け、実施した。また、逆に会長・事務局に通達している内容の各委員会委員との共有や認識状況の把握を行うよう取り組んだ。
- ・会長懇談会等では、一方的な情報提供になることのないよう Zoom ブレークアウトルームを活用した分散会運営や意見交換をメインとした運営を心掛けた。
- ・本部事務局には、4 月に職員 1 名の要員を確保でき、欠員状況は解消した。3 月には派遣社員の直雇により、今後は踏まえた要員対策につながった。
- ・会議等の資料は、Web 配信(メール、direct、どこでもキャビネット)を行い、大幅な資料削減を行った。また、Vimeo や YouTube を利用して動画を提供した。2024 年 3 月 8 日の臨時総会、全国会長懇談会では、紙資料は一切配布なしという形式で運営した。
- ・100 万円以上の案件は、原則として BID を実施している。

・日本代協アドバイザーの現在の布陣：

栗山泰史氏、中崎章夫氏、日本創倫(株)(山本秀樹氏、風間利也氏)、David N Blaksley 氏、  
錦野裕宗氏、岩崎邦彦氏、望月広愛氏、土川尚己氏、吉田桂公氏、粕谷 智氏、牧野 司氏、  
成島康宏氏、滝澤清隆氏

## **(2) 代協事務局職員研修の実施**

・2023 年度は開催できなかった。

以上

付1.諸会議と諸問題の処理経過

1	総会	2023年度 通常総会 2023.6.16 リアル集合形式	第1号議案	2022年度(第59期)事業報告案承認の件
			第2号議案	2022年度(第59期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録案承認の件
			第3号議案	理事1名・監事1名の辞任に伴う理事1名・監事1名選任の件
		2023年度 臨時総会 2024.3.8 リアル集合形式	第1号議案	2024年度(第61期)事業計画案承認の件
			第2号議案	2024年度(第61期)正会員会費額案承認の件
			第3号議案	2024年度(第61期)収支予算案承認の件
2	理事会	第1回 2023.5.12 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.2023年6月 通常総会 開催形式・日程・運営・付議事項等の審議
				2.事務所移転ならびに移転日
				3.常務理事候補の選任
				4.各委員会答申案
				5.2022年度の取組みに関する表彰
				6.2023年度の「目指せ、三冠王!」の目標
				7.第12回日本代協コンベンションPTの活動開始
				8.組織委員会委員の交代
		[報告事項]	1.各理事からの報告	
			2.2022年度三冠王獲得状況ならびに2023年度「目指せ、三冠王!」の取組項目の目標値	
			3.監査実施報告	
			4.前回理事会(2023.3.9開催)以降の主な業務報告	
			(1)仲間づくり推進(3月末状況ならびに4月末状況)	
			(2)損害保険大学課程各コースの認定状況等	
			(3)代理店経営サポートデスクの相談対応状況	
4.その他 (1)業界最新情報				
5.監事講評 6.諸会議開催予定				
第2回 2023.7.14 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.表彰者選考会議構成員の委嘱		
		2.第12回日本代協コンベンションの企画案		
		3.インボイス対応に伴う旅費規程の改定		
	[報告事項]	1.各理事からの報告		
		2.23年度三冠王項目の回報およびニュース発信について		
		3.JCMキャンペーン案		
4.公的支援情報検索システム 8LIFEの紹介				
5.前回理事会(23.5.12開催)以降の主な業務報告				
(1)仲間づくり推進 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー				
6.その他				
第3回 2023.9.14 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.2023年度「功労者表彰」の選定		
		2.2024年度コンサルティングコース受講者募集のブロック別目標数		
	[報告事項]	1.2023年度事業計画推進状況		
		2.前回理事会以降の主な業務報告		
		(1)仲間づくり推進 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー		
		(4)活力研実施概要		
		(5)代理店賠償日本代協新プランの更新対応		
		(6)自己点検レベルアップ講座について		
		(7)「未来塾」サマースクール報告および第3期受講申し込みのご案内		
		(8)2024年度事業計画に対する提言提出依頼		
		(9)2022年度末代理店統計		
		(10)参議院補欠選挙の要望書改定		
3.情報提供				
(1)無料オンライン勉強会				
(2)地域での表彰実例				
(3)現状と課題				
4.監事講評 5.諸会議開催予定				

第4回 2023.10.13 Zoomハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.2024年度三冠王について
	[報告事項]	1.事業計画進捗状況 2.日本代協コンベンション対応 3.前回理事会以降の主な業務報告 (1)「仲間づくり推進」状況 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー (4)代理店賠償 日本代協新プラン23年度更改状況について 3.その他 (1)第9回損害保険鑑定フォーラム(主催:日本損害保険鑑定協会、後援:日本代協) (2)2024年度旅費内規の確認 (3)会員懇談会提出済み質問の共有 4.監事講評 5.諸会議開催予定
第5回 2023.12.7 Zoomハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.2024年度日本代協事業計画の検討(各代協・ブロック提言) 2.2024年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドライン(委員会提言) 3.会員増強キャンペーン(年度通算で±ゼロ)の実施 4.「ブロック対策費」運用改定(案)と「ブロック協議会規則」改定(案)について 5.日本代協アカデミーへの代協独自コンテンツ継続的投入について 6.代協の魅力を高める研究会の立ち上げについて
	[報告事項]	1.事業計画推進にかかる報告事項 2.前回理事会以降の主な業務報告 (1)日本代協資産運用、投資信託商品の変更について (2)第12回日本代協コンベンションの開催報告及び24年度開催日について (3)「仲間づくり推進」状況 (4)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (5)日本代協アカデミー (6)2024年度第2回活力研の開催について (7)日本代協2024年度年間スケジュール (8)表彰制度(三冠王、仲間づくり表彰)の議論展開について 3.その他 (1)JCM 2023年10月実績 (2)代理店経営サポートデスク相談対応状況 (3)2023年度 会員懇談会質問事項について 4.監事講評 5.諸会議開催予定
第6回 2024.2.9 Zoomハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.表彰制度(三冠王・仲間づくり) 2.2024年3月開催「2023年度臨時総会」日程・運営・付議事項の審議 3.資格審査委員会の設定と資格審査委員の選任 4.代協の魅力を高める研究会の設置について
	[報告事項]	1.事業計画進捗状況 2.監事会報告 3.前回理事会以降の主な業務報告 (1)「仲間づくり推進」状況 (2)損害保険大学課程各コースの認定状況等 (3)日本代協アカデミー (4)2024年度日本代協コンベンションの内容について (5)政連収支報告書について (6)日本代協HP閲覧の件 4.監事講評

		第7回 2024.3.7 Zoomハイブリッド リアル集合18名	〔審議事項〕 なし	
			〔報告事項〕	1. 諮問事項、事業計画進捗状況 2. 前回理事会以降の業務報告 (1) 仲間づくり推進の実施 (2) 日本代協アカデミーの展開 (3) 損害保険大学課程 3. 活力研開催について 4. 募集コンプライアンスガイド(2024年2月版[第16版])について 5. 監事講評 6. 諸会議開催予定
3	正副会長打 合会			①2023.4.25 ②2023.15 ③2023. 6.17 ④2023.8.29 ⑤2023.9.26 ⑥2023.11.21 ⑦2024.1.23
4	正副会長と理 事との打合会			6月、9月、12月、3月の会長懇談会前日、6/15新体制理事打合せ、委員長理事との諮問事項打合せ 12/6 次年度諮問・推進事項等の打合せ
5	業務監査・ 経理監査	①2023. 5.11 ②2023.12.21		①白石監事、津田監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他 ②白石監事、津田監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他
6	委員会			<b>2023年度 各委員会への諮問・推進事項等</b>
6 ①	企画環境 委員会	第1回 2023. 4.11 第2回 2023.6.26 第3回 2023.9.11 第4回 2024.2.19		1. 代理店の価値向上策の推進(リスクマネジメント講座・BCP策定・事業継続力強化計画認定申請・ 社労士診断認証制度等) 2. 募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施(不適正募集、保険会社戦略、共通化・標準化 を含む)
6 ②	教育 委員会	第1回 2023. 4. 28 第2回 2023. 6.30  第3回 2023. 9. 1 第4回 2024. 1.26		1. 日本代協アカデミーの展開  2. 損害保険大学課程の運営・検証・改善
		損保大学課程がキリウムPT		directチャット・WEB会議にて頻繁に実施
		アカデミー推進PT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
		教育コンテンツPT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
		情報提供コンテンツPT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
		合同運営会議		①2022. 5.20 ②2022. 8.19 ③2022.11.21 ④2023. 2.17
6 ③	組織 委員会	第1回 2023. 4.21 第2回 2023. 7.7 第3回 2023. 9.8 第4回 2023.11.8 第5回 2024. 1.24		1. ブロック・代協・支部の強化 2. 「仲間づくり(会員増強)」の推進 3. 代理店賠償の推進
6 ④	CSR 委員会	第1回 2023. 4.20 第2回 2023.6.23 第3回 2023. 9.6 第4回 2024. 1.19		1. 実効性のある「ぼうさい探検隊」の積極推進 2. 継続活動の情宣効果向上に向けた検討(地震保険、子ども110番、無保険車) 3. 防災・減災の具体的取り組みの定着と更なる推進(他業界団体のコラボレーションの模索、SDGsの取 組みに向けた検討、等)
6 ⑤	広報 委員会	第1回 2023. 4. 6 第2回 2023. 6.20 第3回 2023. 9.13 第4回 2024. 1.23 全国一斉会議 2023.8.23		1. 保険代理業の仕事の魅力と存在意義を伝えるためのPR施策の検討・実施・活用(対外広報) 2. 「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進 3. 「日本代協ニュース」の作成、配信(対内広報) 4. 会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討
6 ⑥	機関紙 編集室	休会		
	代理店経営 サポートデスク	相談件数: 2019.7月創設 2019年度 39件 2020年度 87件 2021年度 91件 2022年度 47件 2023年度 55件 (合計 319件)		1. BCP策定・事業継続力強化計画認定申請の個別・グループワーク支援 2. 「代理店経営未来塾」の運営 3. 電話直接相談の拡充(Zoom相談日追加)と活用推進 4. 代理店経営支援策・ツールの開発・提供
	コンベンションPT	① 2023.4.10 ⑥2023.9.21 ② 2023.5.23 ⑦2023.10.19 ③ 2023.6.21 ⑧2023.11.7 ④ 2023.7.21 ⑤ 2023.8.25		2023年度コンベンション開催に向けたアクションプランの策定・実行・運営
6 ⑧	財務委員会	2024. 2. 9		2023年度決算見込みと2024年度予算案の検討

7	代理店賠償審査会	2023.8.1開催
8	経営品質向上委員会	2024.3.8
9	金融庁との意見交換	<p>11月17日 金融庁三浦保険課長_日本代協コンベンション式典 ご来賓挨拶 3月8日 金融庁三浦保険課長と47代協会長との意見交換会リアル対面形式開催(損保会館2F会議室)</p> <p>※挨拶訪問、個別情報交換訪問の他、電話、メールでの折衝は随時実施 各代協会長との意見交換会準備に関する打合せ、税制改正要望報告、活力研運営報告、「代協活動の現状と課題」報告、代理店問題打合せ、日本代協コンベンション登壇に関する打合せ、顧客本位の業務運営・業務品質評価に関する打合せ、損保各社の手数料体系一覧比較に関する打合せ、災害に便乗した悪質な業者対策情報連携 等</p>
10	損保協会役員と正副会長懇談	中止
11	損保会社代理店業務担当部長との懇談会	中止
12	活力ある代理店制度等研究会	<p>第1回 2023.7.27 個別集合</p> <p>下記2つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。 ①「あるべき手数料ポイント制度」 ②「『顧客本位の業務運営』の中で代理店の成長をどう考えるか」 業界内の問題を背景として、4社が一斉に参加出来ないため、各社毎の開催となった。</p> <p>第2回 ①2024.3.13 ②2024.3.15 リアル集合</p> <p>下記2つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。 ①「信頼回復に向けた各社の取り組みについて」 ②「代理店手数料ポイントの各代理店への通知について」 2月開催予定であったが、諸問題に対する改善計画の各社発表を待ち、3月開催とした。議論の最大テーマを信頼回復に向けた取組とし、意見交換を行った。手数料ポイントの通知については、より丁寧な説明が求められる点を訴求するものとした。 第1回に続き、全社集合での開催は行わず、各社2時間ずつ意見交換となった。</p>

## 付2. 表彰

・2023年度の表彰については、2024年6月の会長懇談会において実施し、賞金振込みも完了した。

## 付3. 機構および規則等の変更

・なし

## 付4. 特別会員の異動

・なし

## 付5. 役員の異動

・なし

## 付6. 2023 年度中における代協正会員の異動状況

正会員の異動が次の通りあった。

2024年3月31日現在（単位：店）

代 協	2024.3.31 正会員数	2023.3.31 正会員数	増減
北 海 道	567	580	△ 13
北海道ブロック計	567	580	△ 13
青 森	138	138	0
岩 手	121	121	0
秋 田	85	83	2
北東北ブロック計	344	342	2
宮 城	208	210	△ 2
山 形	143	143	0
福 島	217	225	△ 8
南東北ブロック計	568	578	△ 10
新 潟	188	185	3
長 野	205	205	0
群 馬	186	201	△ 15
上信越ブロック計	579	591	△ 12
栃 木	140	134	6
茨 城	192	188	4
埼 玉	342	342	0
千 葉	361	354	7
東関東ブロック計	1,035	1,018	17
神 奈 川	438	463	△ 25
山 梨	123	122	1
南関東ブロック計	561	585	△ 24
東 京	841	859	△ 18
東京ブロック計	841	859	△ 18
静 岡	283	285	△ 2
愛 知	470	489	△ 19
岐 阜	218	225	△ 7
三 重	230	234	△ 4
東海ブロック計	1,201	1,233	△ 32
富 山	112	114	△ 2
石 川	153	156	△ 3
福 井	124	123	1
北陸ブロック計	389	393	△ 4

代 協	2024.3.31 正会員数	2023.3.31 正会員数	増減
滋 賀	131	138	△ 7
京 都	325	331	△ 6
奈 良	137	137	0
近畿ブロック計	593	606	△ 13
大 阪	816	840	△ 24
兵 庫	301	304	△ 3
和 歌 山	161	160	1
阪神ブロック計	1,278	1,304	△ 26
岡 山	277	280	△ 3
鳥 取	90	90	0
島 根	39	44	△ 5
東中国ブロック計	406	414	△ 8
広 島	213	220	△ 7
山 口	155	158	△ 3
西中国ブロック計	368	378	△ 10
徳 島	111	112	△ 1
香 川	133	133	0
愛 媛	135	134	1
高 知	96	97	△ 1
四国ブロック計	475	476	△ 1
福 岡	529	559	△ 30
大 分	113	117	△ 4
佐 賀	87	90	△ 3
長 崎	150	157	△ 7
九州北ブロック計	879	923	△ 44
宮 崎	136	140	△ 4
熊 本	218	225	△ 7
鹿 児 島	167	184	△ 17
沖 縄	166	168	△ 2
九州南ブロック計	687	717	△ 30
全国計	10,771	10,997	△ 226

注：△は、対前年度減少を示す

以上

## Ⅱ. 2023年度(第60期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録

2023年度 (第60期)

### 貸借対照表

2024年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	50,247	114,567	△ 64,320
普通預金	86,491,145	124,161,848	△ 37,670,703
通常貯金	24,076,143	21,458,787	2,617,356
現金預金合計	110,617,535	145,735,202	△ 35,117,667
(2) その他流動資産			
未収金	3,525,743	3,649,132	△ 123,389
前払金	2,519,660	0	2,519,660
貯蔵品	928,072	659,460	268,612
その他流動資産合計	6,973,475	4,308,592	2,664,883
流動資産合計	117,591,010	150,043,794	△ 32,452,784
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	13,665,742	407,961	13,257,781
什器備品	7,755,248	7	7,755,241
敷金・保証金	27,487,200	27,487,200	0
投資有価証券	76,495,921	77,389,135	△ 893,214
商標権	108,000	162,000	△ 54,000
その他固定資産合計	125,512,111	105,446,303	20,065,808
固定資産合計	125,512,111	105,446,303	20,065,808
資産合計	243,103,121	255,490,097	△ 12,386,976
<b>Ⅱ 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,251,173	3,211,736	39,437
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	591,500	356,600	234,900
前受金	1,562,045	1,623,378	△ 61,333
預り金	854,760	1,106,319	△ 251,559
流動負債合計	6,329,478	6,368,033	△ 38,555
2. 固定負債			
退職給付引当金	16,008,000	18,593,750	△ 2,585,750
資産除去債務	5,414,291	0	5,414,291
固定負債合計	21,422,291	18,593,750	2,828,541
負債合計	27,751,769	24,961,783	2,789,986
<b>Ⅲ 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	215,351,352	230,528,314	△ 15,176,962
負債及び正味財産合計	243,103,121	255,490,097	△ 12,386,976

2023年度（第60期）

**正味財産増減計算書**

2023年04月01日から2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	108,630,000	110,060,000	△ 1,430,000
特別会員受取会費	63,400,000	63,400,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	172,230,000	173,660,000	△ 1,430,000
事業収益			
損保大学課程受託料	101,752,012	87,494,899	14,257,113
集金事務収益	13,265,604	13,309,890	△ 44,286
事業収益計	115,017,616	100,804,789	14,212,827
雑収益			
受取利息	770	1,147	△ 377
有価証券運用益	298,581	166,800	131,781
雑収益	0	163,920	△ 163,920
雑収益計	299,351	331,867	△ 32,516
経常収益計	287,546,967	274,796,656	12,750,311
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	30,450,498	25,796,780	4,653,718
退職給付費用	1,409,220	1,158,417	250,803
法定福利費	4,213,474	3,799,239	414,235
福利厚生費	1,798,543	1,511,393	287,150
教育研修費	17,135,866	16,134,359	1,001,507
損保大学課程運営費	95,599,521	81,724,321	13,875,200
委員会費	10,911,455	7,332,158	3,579,297
研究会費	548,707	450,950	97,757
会議費	6,596,169	6,539,924	56,245
コンベンション費	13,614,930	11,087,779	2,527,151
機関紙費	270,710	304,307	△ 33,597
ブロック対策費	15,437,349	14,805,270	632,079
組織対策費	21,361,297	21,205,909	155,388
事業対策費	15,118,916	23,129,805	△ 8,010,889
通信費	1,147,856	1,102,404	45,452
印刷費	564,103	609,476	△ 45,373
旅費交通費	117,868	138,368	△ 20,500
渉外費	365,863	252,274	113,589
図書費	295,696	341,038	△ 45,342
事務機費	6,174,534	6,427,498	△ 252,964
借室費	16,647,736	22,369,613	△ 5,721,877
光熱費	264,168	402,609	△ 138,441
消耗品費	98,351	103,923	△ 5,572
租税公課	1,069,493	1,297,324	△ 227,831
建物減価償却費	581,997	49,421	532,576
什器備品減価償却費	1,511,575	0	1,511,575
雑費	3,057,933	1,825,962	1,231,971
事業費計	266,363,828	249,900,521	16,463,307

管理費			
給与手当	11,608,202	9,444,720	2,163,482
退職給付費用	548,030	498,833	49,197
法定福利費	1,606,239	1,390,974	215,265
福利厚生費	685,633	553,351	132,282
総会費	555,622	788,651	△ 233,029
理事会費	4,149,742	3,644,966	504,776
通信費	437,580	403,611	33,969
印刷費	215,047	223,141	△ 8,094
図書費	112,724	124,862	△ 12,138
事務機費	2,353,826	2,353,238	588
借室費	6,346,374	8,189,967	△ 1,843,593
光熱費	100,704	147,403	△ 46,699
消耗品費	37,495	38,049	△ 554
支払報酬	1,799,500	1,746,140	53,360
租税公課	651,633	611,000	40,633
建物減価償却費	221,867	18,095	203,772
什器備品減価償却費	576,236	0	576,236
雑費	1,165,730	668,520	497,210
管理費計	33,172,184	30,845,521	2,326,663
経常費用計	299,536,012	280,746,042	18,789,970
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 11,989,045	△ 5,949,386	△ 6,039,659
投資有価証券評価損	△ 1,725,464	△ 2,711,546	986,082
当期経常増減額	△ 13,714,509	△ 8,660,932	△ 5,053,577
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
投資有価証券売却損	1,054,485	0	1,054,485
固定資産除去損	407,968	0	407,968
固定資産売却損計	1,462,453	0	1,462,453
経常外費用計	1,462,453	0	1,462,453
当期経常外増減額	△ 1,462,453	0	△ 1,462,453
当期一般正味財産増減額	△ 15,176,962	△ 8,660,932	△ 6,516,030
一般正味財産期首残高	230,528,314	239,189,246	△ 8,660,932
一般正味財産期末残高	215,351,352	230,528,314	△ 15,176,962
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	215,351,352	230,528,314	△ 15,176,962

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

- ・時価のあるもの：期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算出）によっている。
- ・時価のないもの：移動平均法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物：定額法によっている。

什器備品：定率法によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付に充てるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (4) リース取引の処理方法

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	14,469,606	803,864	13,665,742
什器備品	9,843,059	2,087,811	7,755,248
商標権	540,000	432,000	108,000
合計	24,852,665	3,323,675	21,528,990

### 3. 退職給付関係

#### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

#### (2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

①退職給付債務	16,008,000
②会計基準変更時差異の未処理額	—
③退職給付引当金 (①+②)	16,008,000

#### (3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

①勤務費用	1,854,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	—
③退職給付費用 (①+②)	1,854,000

#### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

### 4. 資産除去債務

本会は、2023年5月29日に入居した新大手町ビル327区フロアにおいて、資産除去債務を計上している。資産除去債務の見積りにあたり、退去を予定していないため、その履行時期については建物附属設備耐用年数15年間で見積もっている。原状回復費用見積もり6,398,480円、割引率は15年日本国債利率1.186%を採用している。

当事業年度において資産除去債務に計上した金額は5,361,303円である。当事業年度末における資産除去債務残高は、上記金額5,361,303円と時の経過による資産除去債務の調整額52,988円の合計5,414,291円である。

### 5. 関連当事者との取引内容

該当なし

### 6. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

### 1.基本財産及び特定資産の明細 該当なし

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	18,593,750	1,854,000	4,439,750	-	16,008,000

2023年度(第60期)  
**財 産 目 録**  
 2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金預金	現金		小口現金として	50,247
	普通預金			86,491,145
	一般	みずほ銀行銀座支店	運転資金として	86,491,145
	通常貯金			24,076,143
	一般	ゆうちょ銀行	運転資金として	24,076,143
現金預金合計				110,617,535
その他	未収金	日本損害保険協会、他	損保大学課程受託料、他	3,525,743
	前払金	三菱地所	新大手町ビル貸室料4月分	2,519,660
	貯蔵品			928,072
	名刺	代協名刺台紙	会員向頒布品在庫	395,760
	バッジ	代協バッジ	会員向頒布品在庫	532,312
その他流動資産合計				6,973,475
流動資産合計				117,591,010
<b>(固定資産)</b>				
基本財産合計				-
特定資産合計				-
固定資産	建物	間仕切り、電気設備等工事費	公益目的事業、その他事業共有財産として	13,665,742
	什器備品	什器、サーバーラック、他	公益目的事業、その他事業共有財産として	7,755,248
	敷金・保証金	三菱地所	新大手町ビル賃借事務所敷金として	27,487,200
	投資有価証券	大和証券 円ハイブリッド債券F	運転資金ファンドとして	76,495,921
		みずほ証券 利付国債(40年)	運転資金ファンドとして	60,975,181
		15,520,740		
	商標権	日本代協キャラクター制作費	日本代協キャラクター制作費	108,000
その他固定資産合計				125,512,111
固定資産合計				243,103,121
<b>資産合計</b>				
<b>(流動負債)</b>				
流動負債	未払金	アグレックス社、他	損害保険大学課程運営費、他	3,251,173
	未払法人税等	法人住民税	法人住民税未払分	70,000
	未払消費税等	消費税	消費税未払分	591,500
	前受金	AIG損保	特別会員会費	1,562,045
	預り金			854,760
	源泉課税預り金	役職員、税理士	源泉所得税	219,872
	保険料預り金	契約者	代理店賠償責任保険料	397,000
	受講料預り金	損害保険協会他	損害保険大学課程受講料他	△ 51,170
	その他預り金	役職員他	社会保険料他	289,058
	流動負債合計			
固定負債	退職給付引当	役職員	役職員7名に対する退職金の支払の備え	16,008,000
	資産除去債務	新大手町ビル	賃貸物件原状回復費用	5,414,291
固定負債合計				21,422,291
負債合計				27,751,769
正味財産				215,351,352

## 2023年度決算額

【参考】

(単位:千円)

勘定科目	2023年度 予算額	2023年度 決算額	対予算差額 決算-予算	2023年度 決算見込額	対見込差額 決算-見込	備考
<b>I 経常収益の部</b>						
正会員会費	110,000	108,630	△1,370	108,630		
特別会員会費	63,400	63,400		63,400		
賛助会員会費	200	200		200		
損保大学課程受託料	89,500	101,752	12,252	100,000	1,752	大学課程運営費増
集金事務費	13,300	13,266	△34	13,300	△34	
利息配当金収入	200	1	△199	0	1	
投資有価証券運用益		299	299	200	99	投資信託運用益増
雑収益	3,500		△3,500	0		
<b>当期経常収益合計(A)</b>	<b>280,100</b>	<b>287,547</b>	<b>7,447</b>	<b>285,730</b>	<b>1,817</b>	
<b>II 経常費用の部</b>						
役員報酬						
給料手当	43,500	42,059	△1,441	42,200	△141	
退職金	2,100	1,957	△143	1,957		
法定福利費	6,400	5,820	△580	5,960	△140	
福利厚生費	2,900	2,484	△416	2,608	△124	
教育研修費	19,100	17,136	△1,964	18,500	△1,364	
損保大学課程運営費	85,500	95,600	10,100	95,840	△240	
委員会費	8,800	10,911	2,111	11,138	△227	
研究会費	900	549	△351	700	△151	
会議費	6,700	6,596	△104	7,100	△504	
総会費	1,100	556	△544	722	△166	
コンベンション費	18,900	13,615	△5,285	13,762	△147	
理事会費	3,700	4,150	450	4,280	△130	
機関紙費	1,000	271	△729	300	△29	
ブロック対策費	16,100	15,437	△663	16,100	△663	
組織対策費	31,200	21,361	△9,839	23,105	△1,744	
事業対策費	19,000	15,119	△3,881	15,550	△431	
通信費	2,000	1,585	△415	1,610	△25	
印刷費	3,000	779	△2,221	970	△191	
旅費交通費	500	118	△382	300	△182	
渉外費	800	366	△434	654	△288	
図書費	500	408	△92	500	△92	
事務器費	16,200	8,528	△7,672	10,103	△1,574	
借室費	29,700	22,994	△6,706	22,994		
光熱費	450	365	△85	377	△12	
消耗品費	3,500	136	△3,364	180	△44	
支払報酬	1,800	1,800	△1	1,830	△31	
租税公課	3,100	1,721	△1,379	3,100	△1,379	
建物減価償却費	2,000	804	△1,196	1,178	△375	
什器備品減価償却費	1,000	2,088	1,088	2,088		
ソフトウェア減価償却費		0		0		
投資有価証券解約手数料	100	0	△100	0		
支払寄付金		0		0		
雑費	8,200	4,224	△3,976	4,200	24	
<b>当期経常費用合計(B)</b>	<b>339,750</b>	<b>299,536</b>	<b>△40,214</b>	<b>309,905</b>	<b>△10,369</b>	
投資有価証券評価損(C)		1,725	1,725	2,000	△275	
<b>当期経常増減額(A)-(B)-(C)</b>	<b>△59,650</b>	<b>△13,715</b>	<b>45,935</b>	<b>△26,175</b>	<b>12,461</b>	
<b>III 経常外費用の部</b>						
投資有価証券売却損		1,054	1,054	1,054		
固定資産除去損		408	408	408		
<b>当期経常外費用合計(D)</b>		<b>1,462</b>	<b>1,462</b>	<b>1,462</b>		
<b>当期正味財産増減額(A)-(B)-(C)-(D)</b>	<b>△59,650</b>	<b>△15,177</b>	<b>44,473</b>	<b>△27,638</b>	<b>12,461</b>	
正味財産期首残高	230,528	230,528		230,528		
正味財産期末残高	170,878	215,351	44,473	202,891	12,461	

2024年5月8日

監査報告書(写)

一般社団法人 日本損害保険代理業協会  
会 長 小田島 綾子 殿

監 事 津田 文雄 ㊟

監 事 小島 俊宏 ㊟

一般社団法人日本損害保険代理業協会の2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以 上

日本代協 2024 年度(第 61 期)事業計画



下線:改定・新規部分

**網掛**:提言反映分

2024 年 3 月

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

\*\*\* 日本代協 2024 年度事業計画目次 \*\*\*

<b>I. 事業計画のポイント</b>	(P. 35)
◇ <u>2024 年度</u> の事業活動に当たっての留意点	
<b>II. 代理店・募集人の資質向上</b>	(P. 38)
1. 基本方針      2. 損害保険大学課程の運営      3. 日本代協アカデミーの展開 4. 代協・支部セミナーの実施	
<b>III. 公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進</b>	(P. 39)
1. 個社におけるガバナンス体制の構築に向けた取り組み 2. 公平・公正な募集環境の整備      3. 業界の共通化・標準化に向けた検討・提言 4. 代理店価値向上策の推進	
<b>IV. 実効性ある CSR 活動の展開</b>	(P. 42)
1. 取り組み方針      2. 統一活動      3. 学校教育への取り組み 4. 代協独自活動	
<b>V. 組織力の強化</b>	(P. 44)
1. ブロック・代協・支部の強化      2. 代協正会員の増強      3. 人材育成研修会の実施 4. 代理店賠償の普及と経営品質向上	
<b>VI. 活力ある代理店制度の構築</b>	(P. 47)
1. 活力研の開催      2. 金融庁と代協会長との意見交換会の開催      3. 環境変化対応の支援	
<b>VII. 広報活動の展開</b>	(P. 47)
1. ホームページの活用      2. メディアの活用      3. WEB 媒体等の活用 4. 「みなさまの保険情報」の活用	
<b>VIII. 代協会員の経営支援・情報の提供</b>	(P. 48)
1. 代理店経営支援策の検討・提供 2. 代理店経営サポートデスクによる支援メニューの提供・展開 3. 情報提供の推進	
<b>IX. コンベンション</b>	(P. 50)
<b>X. 法人運営</b>	(P. 50)
1. 一般社団法人としての体制整備と運営      2. 代協事務局職員研修の実施	
<b>【別表】 <u>2024 年度</u>日本代協各委員会への諮問事項</b>	(P. 51)

# \* 日本代協 2024 年度(第 61 期)事業計画 \*

## I. 事業計画のポイント

### ◇ 2024 年度の事業活動に当たっての留意点

- ① 情報が各会員に伝わるにはどうすればよいかを常に念頭に置いて、発信を行う
- ② 取り組みに当たっては、なぜ、何のために取り組むのかの意義の理解を深め、数値目標達成のみをもって組織をリードしないよう留意する
- ③ 委員会相互の連携を強化した活動を行う
- ④ オンラインとリアルを組み合わせながら、効率的で効果が高い運営を行う
- ⑤ 定款自治を前提に、理事会が責任と自覚と覚悟を持って運営に当たる
- ⑥ 各議事録には主な意見を付記する等、論議と組織運営の透明性を高める
- ⑦ 行政、損保協会、各保険会社等との信頼関係構築を図り、対話ができる環境を整える

### 1：教育・研修事業

- 損害保険大学課程の円滑な運営とカリキュラムの充実・魅力度向上に取り組む  
(WEB とリアルのセミナーの棲み分け、テキストのデジタル化の検討を行う)
- コンサルティングコースの受講者募集に主体的に取り組む
- 損害保険トータルプランナーの認知度を高め、魅力度の向上を図る
- 日本代協アカデミーの価値を情宣し、カリキュラムの拡充を図り、利用者を増やす
- 各代協・ブロック主催のオンラインセミナーの相互活用の仕組みを作り、提供する

### 2：公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進

- 改めて、個社におけるガバナンス体制の構築に向けた取組を進める
- 公平・公正な募集環境の整備
  - ・ディーラーを中心に保険販売のモニタリングを継続する
  - ・特定修理業者の排除に向けて損保協会と連携して取り組む
  - ・銀行窓販の弊害防止措置の維持を図る
  - ・郵便局の保険事業を注視し、なし崩し的な拡大を阻止する
  - ・保険会社の代理店戦略の展開状況を注視し、問題事案があれば改善を申し入れる
  - ・顧客本位の業務運営の妨げになると思われる事案の収集
- 共通化・標準化要望をとりまとめ、損保協会に提言を行う
- 代理店のマネジメント品質における価値向上策の推進(持続可能性のあるビジネスモデル)
  - ・リスクマネジメント講座 ⇒ 環境変化に対応した代理店経営
  - ・事業継続力強化計画認定申請(ジギョケイ) ⇒ 有事の際の存続及び早期復旧
  - ・社労士診断認証制度 ⇒ 経営労務診断の実施による人事労務コンプライアンスの実施
  - ・JSA-S1003(保険代理店サービス品質管理態勢の指針) ⇒ 金融事業者としてのガバナンスの確保
- 代理店のサービス品質における価値向上策の推進
  - ・リスクマネジメント講座 ⇒ 顧客本位の提案・お客様を守る機能の向上
  - ・ジギョケイの策定支援 ⇒ ジギョケイの策定支援を通じた顧客保護と最適保険設計の実施
  - ・社労士診断認証制度 ⇒ 人事労務リスクマネジメントの支援と最適な保険設計の実施
  - ・JSA-S1003(保険代理店サービス品質管理態勢の指針) ⇒ サービスの高度化と永続性の確保

### 3：実効性あるCSR活動の展開

- 防災・減災・防犯に資する具体的かつ実効性のある活動を展開する
- 地震保険の情宣に努め、普及を図る
- 「ぼうさい探検隊・マップコンクール」を活用し将来に向け安心安全な地域作りに貢献する
- 継続活動を着実に展開する
- SDGs17の目標に対し既に行っている取組をもって宣言を行い、共通の取組を決定する
- 各都道府県代協単位でSDGs宣言を行う

### 4：組織力の強化

- 支部・代協・ブロック協議会の活性化を図り、情報と熱が伝わる組織作りに取り組む
- 各代協は中期増強計画に基づき「会員純増」を図る・日本代協は「入会数338店」を目標とする
- 「仲間づくり（入会ベース）」・「トータルプランナー受講者募集」＋「ぼうさい探検隊」で構成する「目指せ、三冠王！」表彰制度を継続実施する
- 人材育成研修会を開催する
- 各代協の会員資格と会費体系の検証を行なう
- 各代協のオンライン環境整備・セミナー開催をノウハウ面で支援する
- 代理店賠償の普及と代協会員の品質改善に取り組む

### 5. 活力ある代理店制度の構築

#### 【活力研】

- 保険会社との対話を通し、代理店が抱える課題解決のための自立的サイクルをつくる

#### 【金融庁監督局保険課長との意見交換会】

- 現場の実態、課題、顧客本位の業務運営に向けた取り組みを、直接行政に伝える

### 6：広報活動の展開

- 代協の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を伝えるPR施策を企画・実施する
- 「みなさまの保険情報」の活用率を5%超に高める

### 7：代協会員の経営支援・情報の提供

#### 【サポートデスクによる支援メニューの提供】

- 週1回の電話相談を継続したうえで、現地出張によるサポートデスク開催を新たに企画する
- 代理店経営未来塾は、受講対象範囲を広げながら継続する
- 「ボクらのNEXTチャレンジ！」は年4回配信する

#### 【情報提供】

- 「日本代協ニュース」をダイレクトメールで配信する（定期）
- 業界動向をまとめた「情報版」を配信する（随時）
- 「代協活動の現状と課題」を配布する

### 8：コンベンション

- 第13回日本代協コンベンションを東京で開催する

## 9：法人運営

- 「代協事務局職員研修」をテーマ別にオンラインで開催する
- 運営に当たっては、ペーパーレス・オンライン活用を進める
- 会合日程は年度初めに決定し、共有する

※ 具体的な取り組みは、次頁以下の通り。

## Ⅱ. 代理店・募集人の資質向上

### 1. 基本方針

- 日本代協の使命は、損害保険の普及と顧客の保護並びに顧客の最善の利益の追求を図るため、「損害保険代理店の資質を高め、その業務の適切な運営を確保すること」にある。従って、人材育成のための教育研修事業は本会の最も重要な事業である。
- 代協会員は、自己研鑽に努めるとともに、損害保険大学課程、「日本代協アカデミー」、各種セミナー等の教育・研修の機会を活用し、経営者・社員ともに能力向上に努める。
- 修得した知識やノウハウを日々の業務で実践し、顧客の信頼に応える。
- 金融行政が示す方向性や消費者の意識は、損害保険代理店に対し、一層の業務品質向上と組織としての「自律と自立」を求めている。代協会員は、こうした社会的要請に応え、高い専門性と業務品質に裏打ちされた「顧客に信頼され、選ばれ続ける存在」となるよう不断の努力を積み重ね、資質向上に努める。

### 2. 「損害保険大学課程」の運営

#### (1) 指定教育機関としての役割発揮・内容充実・制度改善

- ① 損保協会と緊密な連携を図りながら、企画・運営に当たる。(教育委員会)  
セミナー運営に当たっては、教育委員会任せとせず、代協組織全体で対応する。  
運営に当たる代協会員のITスキルアップ向上をサポートする。
- ② 損保協会との「定例合同運営会議」(年4回開催)を軸に、カリキュラムの充実・制度改善・受講者募集推進策の検討を進める。
- ③ コロナ禍の影響で未開催となっているリアルセミナーとWEBセミナーの棲み分けについて、コロナ収束で単にリアル再開検討だけでなく、リアルとWEBの長所を活かし受講生にとってより学びやすく、運営側の負担も軽減された新しいセミナーに進化出来ないか、指定教育機関として本格的に検討に入り損保協会に提案していく。

テキストのデジタル化(動画解説を含む)についても損保協会と検討を進める。

#### (2) 「損害保険大学課程」コンサルティングコース受講生の募集推進

- ① 損保協会、各損保会社と連携し、主体的に取り組む。  
保険会社に対しては以下の要望を続ける(C・D・Eは直資代理店の必須取り組みとして要請する)。
  - A) 損害保険トータルプランナー認定取得の代手ポイント制度における評価指標化・水準引き上げ
  - B) 代理店認定要件のマスト項目化・水準引き上げ
  - C) 代理店内の認定者率や認定者実数の要件化・水準引き上げ
  - D) 代理店内の教育研修計画への織り込み
  - E) 代理店内の評価制度へ損害保険トータルプランナー取得を導入
- ② 日本代協自主目標 840名

#### (3) 「損害保険大学課程」の認知度向上の取り組み

- ① 損保協会、損保各社と連携して本制度の認知度向上を図り、募集人のチャレンジを促す。
- ② 損保各社内において、本課程の位置づけと活用方針を明確に徹底するよう働きかける。

#### (4) 「損害保険トータルプランナー」の認知度・魅力度の向上

- ① 社会的信認度向上:
  - A) 認定者自身がお客様本位の業務運営を実践する。
  - B) 代協会員は、下記の「3つの基本行動」に取り組む。
    - ・代理店事務所に「トータルプランナーポスター」・「認定証」を掲示する。
    - 募集時には「認定バッジ」を着用し、「カード型認定証」を提示する。

- C) 代協会員はトータルプランナー顔写真付き認定証を募集時にお客様に提示する。
  - ・ 損保協会のHPにリンクする「損害保険トータルプランナーがいる代理店」の登録を行う。
  - ・ 契約者に「トータルプランナーチラシ（損保協会作成）」を手交する。
- ② 「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の検討：
  - ・ 損保協会と連携して資格保有のメリット策を検討し、出来るものから実施する。

### 3. 日本代協アカデミーの展開

#### (1) 基本方針

- ・ 日本代協独自の教育制度として、代理店の役に立つコンテンツの充実を図る。
- ・ 制度の周知と計画的な活用を働きかけ、代協会員の持続的な資質向上を支援する。

#### (2) 目指すところ

- ・ 代協会員が代理店独自の募集人教育計画に日本代協アカデミーを取入れ活用する事により代理店経営の更なる高度化に対応していく。
- ・ コンプライアンスや商品研修に止まらず、好取組事例の取り込みやロープレ研修等も自社の年間教育・研修計画に組み入れて資質向上を図る代協会員を輩出し、「学ぶ風土」を組織全体に広げる。

#### (3) 運 営

- ・ 教育委員会（各PT）を中心に、他の委員会やブロック協議会、代理店経営相談サポートデスクと連携し、好取組事例や業界最新情報の収集、研修メニュー等に関する要望等を把握し、代協独自のコンテンツの継続的投入とラインアップ反映に注力する（代協会員の時間的余裕を生み出すための業務効率化の観点を含む）。
- ・ 保険会社社員の利用も推進するとともに、保険会社内の代理店支援部署とも連携し日本代協アカデミーが代理店独自の教育ツールとして有効である事を代協未加入代理店にも広めていく。
- ・ システム改善については引続きベンダー会社と協議を重ね、代理店教育のインフラストラクチャーとして運営していく。

### 4. 代協・支部セミナーの実施

- ① 各代協・支部において定期的にセミナーを開催し、代協会員が集い、語らい、高め合う場を設ける（他代協との共催、ブロック開催、オンライン活用を含む）。
- ② 各代協・支部・ブロック主催のオンラインセミナーを相互活用できる仕組みを作る（日本代協で保有するIDの共同利用を含む）。

## Ⅲ. 公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進

### 1. 個社におけるガバナンス体制の構築に向けた取り組み

- ① 昨今の業界の状況を踏まえ、改めて会員自身も自社のガバナンス体制を客観的に見つめる必要がある。  
「自社はできている」と考えることなく、飽くなき姿勢をもってガバナンス態勢の構築に努める。
- ② コンプライアンスは事業運営の大前提であり、成長の基盤である。代協会員自身が個社として徹底し、「不正をしない、させない、許さない企業文化」を作り上げ、顧客保護を図る。
- ③ 問題事案が発生した場合は、多角的な原因分析を行い、再発防止策を講じ、定着状況をフォローする。
- ④ ガバナンス態勢の構築の一助として、企画環境委員会において、日本規格協会が発行するJSA-S1003「保険代理店サービス品質管理態勢の指針」の推進を図る。

## 2. 公平・公正な募集環境の整備

### (1) ディーラーを中心としたモニタリング

- ① 不適切な販売事例が多く報告されているディーラーによる保険販売のモニタリングを継続し、事案に応じて必要な対応を行う（保険会社への是正申し入れ、当該ディーラーへの警告など）。
- ② 「レッドカードチラシ」を活用し、契約者への注意喚起を行う。

### (2) 特定修理業者排除に向けた取り組み

- ① 代協会員に対し、特定修理業者排除に向けた情報提供、ツール案内等を行う（損保協会資料等）。
- ② 特定修理業者に関する情報は全件損保協会に伝え、業界全体の対策につなげる。
- ③ 損保労連と情報共有を行い、顧客対応の現場における連携強化を図る（定例意見交換会等）。

### (3) 銀行等による保険販売

- ① 弊害防止措置の維持に取り組む（政治連盟と連携）。
- ② 契約募集の際には、「イエローカードチラシ」を活用し、契約者・消費者に対する注意喚起を行う。
- ③ 募集現場のモニタリングを継続し、企画環境委員会にて全国の問題事案に関する情報を集約し、弊害防止措置の必要性を示す材料として活用する。

### (4) 日本郵政グループにおける保険販売への対応

- ① 日本郵政グループ全体の保険事業拡大の動向を注視し、官による民業圧迫と判断される場合は、郵政民営化委員会に対し、撤回等を申し入れる（政治連盟と連携）。
- ② 日本郵政グループ各社の新規事業参入に当たっては、日本郵政が保有する全株式の売却に向けた道筋の明確化と着実な実行を求めていく（政治連盟と連携）。
- ③ 郵便局の自動車保険販売に対するモニタリングを継続し、問題事案があれば企画環境委員会に集約し、日本郵便本社・取扱保険会社（幹事：東京海上日動社）へ改善を申し入れる。

### (5) 団体契約・集団扱・団体扱割引の適正な適用

- ① 消費者保護の観点で現場の運用をモニタリングし、問題事案があれば保険会社や財務局に伝え、改善を求める。
- ② 保険会社に対し、適正・厳格な割引の適用・運用を求め、問題事案の未然防止に努める。

### (6) その他不適正募集・保険会社戦略のモニタリング

- ① 募集現場において個別の問題事案があれば、現地代協において対処した上で、企画環境委員会に報告する。制度的な課題については日本代協経由で金融庁に報告し、保険会社に改善を求める。
- ② 顧客本位の業務運営を妨げる事案についても情報を収集し、顧客本位の業務運営の本質や代理店の在り方について検討を行う。
- ③ 代理店の合併・統合、乗合承認等、保険会社戦略の展開状況を注視し、保険会社の対応が一方的・圧力的であると判断される場合は、当該保険会社に改善を申し入れる。
- ④ 企画環境委員会において収集した事案はデータベース化し、疑義事案の整理・分析を行い、対応方法の検討に活用する。

## 3. 業界の共通化・標準化に向けた検討・提言

- ① 業界ベースの共通化・標準化が消費者にとって有益であると考えられる案件があれば、損保協会に提言を行う（企画環境委員会）。検討の視点は以下の通り。
  - ・消費者（契約者）にとっての分かりやすさ
  - ・消費者（契約者）の保護・利便性向上
  - ・代理店（募集人）の業務効率化
  - ・保険会社の業務効率化（帳票、事務処理ルール等）

- ② 各保険会社の家計分野商品の約款内容・解釈のバラツキから生じる消費者の不利益を把握し、損保協会と問題点を共有する（独禁法に留意する必要あり）。

#### 4. 代理店の価値向上策の推進

- 保険募集のプロ集団として、お客さまにとっての価値向上を図り、他チャネルとの競争力を確保するため、企画環境委員会がサポートデスクと連携して、以下の施策を推進する。
- 価値向上策の推進に当たっては、数値目標の達成を意識しながらも、取り組む目的や意義、その必要性を忘れることなく、結果的に代協会員の価値向上に繋がることを第一義的に考えて推進する。
- 価値向上策の取組は、先ずは代協会員にて実施するが、地域のリスクマネジャーとして地域企業の支援に生かしていく事が求められ、それが代理店の更なる価値向上に繋がることを認識し、自社だけの取組に留まることなく、広く企業の支援に活用することが重要である。
- 代協会員から価値向上に繋がった事例などを収集し、情報共有を行うことで推進を加速させる。
- 日本代協のトップページから各価値向上策の取組みにアクセスをやすくし、実施を促す。
- 価値向上に軸足を置いた活動とするため、三冠王の表彰項目からは削除する。

##### ① 日本代協版「リスクマネジメント講座」

- ・ 保険を売る代理店からお客様を守る代理店になるために、リスクマネジメント講座を推進する。
- ・ 上記を実践するために、部分最適の提案を全体最適のアドバイスに転換し、顧客の真のニーズ（事故や災害の回避、減災など）に応えるため、リスクマネジメントの視点から保険提案を実践する。
- ・ リスクマネジメントセミナーやYouTube 動画の視聴を促し、日本代協版リスクマネジメント講座のRM講座2講座（リスクマネジメント基礎講座、リスク診断士講座）は代協会員の1%、保険講座（保険財務講座、保険リスクマネジメント講座、法人生保講座）は0.5%を目標に推進を行う（リスク診断士はRMCAの合格基準、その他はRMCAの修了基準）。
- ・ 企画環境委員会において、講座内容の改善と受講環境の整備の検討を行う。

##### ② 「事業継続力強化計画認定」

- ・ 代協会員の20%の認定取得を委員会目標とし、2023年度に目標を達成済みの代協は、前年目標の5%増を目標とする（中企庁認定ベース）。
- ・ 「ジギョケイ オンラインセミナー」や「YouTube チャンネル」の視聴を促し、申請支援を行う。
- ・ お客様へのサービスに繋げるため、富士フィルムのDMを活用すると共に、「BCP×保険」のパンフレット等を活用し、適切な保険提案に繋げていく。

##### ③ 「社労士診断認証制度」

- ・ 代協会員の10%が「宣言企業」以上の認証を受けることを委員会目標とし、2023年度に目標を達成済みの代協は、前年目標の5%増を目標とする（社会保険労務士会連合会認証ベース）。
- ・ 「社労士診断認証制度オンラインセミナー」や「YouTube 動画」の視聴を促し、案内チラシを活用して推進する。
- ・ お客様に対して富士フィルムのDMや社労士診断のパンフレットを用いて人事労務リスクのアセスメントを行い、社会保険労務士とのタイアップによって人事労務リスクマネジメントを推進する。
- ・ 各地域代協と各地域社労士会の連携協定を積極的に推進する。

##### ④ 「JSA-S1003 保険代理店サービス品質管理態勢の指針」

- ・ 日本規格協会の「JSA-S1003 保険代理店サービス品質管理態勢の指針」に基づく認証を推進する。
- ・ 先ずは代協会員の10%が「目標宣言」以上の認証を受けることを委員会目標とし、会員にガバナンス態勢の構築に必要な要素を理解して頂く。
- ・ 保険代理店のガバナンス態勢の構築については、顧客本位の観点から金融庁も注視しており、必要不可欠な取り組みとなるため、日本代協において先んじて取り組みを始める。

## ⑤ 新たな価値向上策の検討

・代理店の価値向上に繋がる新たな基準や取組を検討する。

# IV. 実効性ある CSR 活動の展開

## 1. 取り組み方針

- ① 本業（リスクの専門家）に関連した取り組みや地域の課題解決につながる取り組みを主体とする。
- ② 日本代協として取り組む「統一活動」（全国または地域選定）と各代協が自主的に取り組む「代協独自活動」ともに、多くの会員の参加を促す（ex. 活動毎に会員を振り分ける、新入会員は必ず何らかの活動メンバーに組み入れる、キッチンカー誘致やイベントコラボで参加したくなる活動にする等）。
- ③ 前例に拘らず、それぞれの実状に応じて、効果的な日程、場所、方法を選択し、実効性を高める。
- ④ 実施の際には、損保協会、保険会社等にも案内を行い、業界全体で取り組む風土作りを行う。
- ⑤ 目的を共有できる他団体や他業界とタイアップすることで他の視点や強みを取り入れる。
- ⑥ 各代協ならではの「恒例行事」を作る。
- ⑦ CSR 委員会は、諮問事項推進に関し、以下の取り組みを行う。
  - ・各地の活動情報を収集し、今後の施策の検討に活かす。
  - ・取組事例を収集・整理し、各代協に提供する。
  - ・SNS の活用やマスコミへの取材依頼を通して活動の発信力を強化する（広報委員会と連携）。
- ⑧ SDGs 思考をもって CSR 活動に取り組む、既に行っている事業をもって SDGs 宣言を行う。各都道府県、各会員毎の宣言促進を図る。
- ⑨ 全国一斉に取り組む SDGs を選定する（脱炭素に向けペーパーレス化、環境配慮型ゴミ袋の使用等）。

## 2. 統一活動

### <独自継続活動>

#### （1）防災・減災・防犯の具体的な取り組みの推進

- ・防災・減災・防犯に高いリテラシーをもち、地域イベントへの参加や、出前授業の開催により保険事業者の社会的役割を創造する。
- ・防災士資格の取得推進、及び各地域で活動する防災士会各県支部、防災ネットワーク、公共団体とタイアップした活動の推進に取り組む。
- ・防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）への出展（2024 年開催地：熊本県）

#### （2）地震保険の普及促進・付帯率アップ

- ・地震国日本における代理店の社会的責務を果たすため、「地震保険啓発・普及キャンペーン」を実施する（原則 10 月実施、開催方法は前例にとらわれずデジタルも活用した方法を検討する）。
- ・代協会員は、日々のお客様対応を通し、地震保険の付帯率アップに取り組む（建物・家財ともに）。

#### （3）「子ども 110 番の保険代理店」の推進

- ・学校や警察が認定している「子ども 110 番の家」に登録された代理店の追認を日本代協として行い、代協専用ステッカーを交付し、地域の子どもの安全確保に貢献する。
- ・「代協専用マニュアル」に沿って「子ども 110 番の保険代理店」の登録推進を図る。
- ・警察に働きかけて共同取り組み・一括認定に持ち込む（ex. 共同取り組みの締結式実施など）。

#### （4）サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進

- ・各警察や保険会社と連携し、「サイバーセキュリティ対策セミナー」を開催する（各警察の体制の問題があるため開催は任意）。

- ・代協会員は「損保クラウド」等のソフト（メール対策）を活用して自社のセキュリティを確保する。

#### (5) 無保険車追放運動

- ・自賠償広報協議会の「自賠償制度 PR キャンペーン」に合わせ、9月に国土交通省と共同で「無保険車追放キャンペーン」を実施する。前例にとらわれず開催方法についてはデジタルも活用した方法を検討する。

#### <損保協会との連携活動>

##### ○「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画：（三冠王）

- ・損保協会が主催する同コンクールに協力し、小学生の防災・防犯意識向上に貢献する。各代協目標件数到達を最低目標とし、1団体でも多くの参加を働きかける。
- ・「三冠王」の代協独自取組項目の一つに組み込む。表彰基準は、応募団体数3団体とする（マップ数ではなく団体数であることに注意）。なお、正会員数が500社以上の東京、大阪、北海道、福岡の各代協は5団体とする。
- ・作成後のマップの活用、学校での披露、マスコミへの情報提供、SNSの活用を通して活動を広く周知するための取り組みを行う（広報委員会とタイアップも検討）。

##### ○ ペーパーレス化の推進による脱炭素の定量把握に向けた取組

- ・社会課題である脱炭素の取組について各保険会社が推進するペーパーレス化を推進する。
- ・脱炭素社会への貢献度を図るべく、削減した紙の量を定量的に把握できる方法を検討する。

#### 3. 学校教育への取り組み

- ① 損保協会が大学で行う損害保険講座の「保険募集」の講義を日本代協サイドで担当し、保険の役割とプロ代理店の存在の周知を図る（オンライン講座を含む）。
- ② 講師育成のため、代協会員対象の「プレゼンテーションスキルアップ研修」を開催し、修了者に「日本代協認定講師」の名称を付与し、講師役を担ってもらう（10月・教育委員会）。

#### 4. 代協独自活動

- ① 「学生<sup>\*1</sup>に対する出前授業<sup>\*2</sup>の実施」を「三冠王」の代協独自取組項目の一つとする。

※1：小・中・高・大学生を対象

※2：代協（支部を含む）の活動として行うものであること

先方の規模を問わず「出前」で行う授業であること（先方の集まりに出かけていく）

自動車や自転車に関するリスク、防災対策など、SNS利用やネットリテラシー向上に関する教育等保険代理店の本業に係る内容であること

実施報告書を日本代協宛に提出すること

※3：出前授業における講師講習会を実施し、ノウハウを全国に広げる。

※4：出前授業開催までの流れ、趣意書フォーム、アプローチ方法をまとめる。

- ② 日本代協 CSR 委員会は全国の活動情報を収集し、情宣を行う。

（各代協の取り組み事例）

- ・一般消費者向け公開講座 ・清掃、植林等の環境保全活動 ・献血、チャリティ等の社会貢献活動
- ・消費者団体との意見交換会の開催（日本代協は東京ブロックと共催で11月実施予定）
- ・ユニバーサルマナー検定の団体実施、高齢者事故防止対策（チラシと反射板の配布）  
自転車事故賠償対応（特約付帯推進、団体制度案内、地方自治体への働きかけ）等の社会課題関連
- ・イベントのコラボ、動員の工夫、家族で楽しめる取組等

## V. 組織力の強化

### 1. ブロック・代協・支部の強化

#### (1) 会員情報の収集・整理

- 各代協は、組織運営上必要な会員情報をリスト化し、収集する。

#### (2) 支部活動の強化

- ① 支部活動は代協活動の原点である。「集い、語らい、高め合う」代協の基本精神に則り、定期的な会合の機会を設け、支部メンバーの参画を促す。

##### 〈運営上の留意点〉

- ・ オンライン会議を活用する（好取組事例の共有と活用スキル向上）
- ・ 定期的な顔合わせの機会を設ける（定例昼食会、定例セミナーなど）
- ・ 全員が支部の活動に参加できるように仕組み（役割分担、チーム制など）
- ・ イベントは参加者目標を掲げ、声をかける ・ 地域の各団体との関係構築を図る

- ② 組織委員会は好取組事例の情報収集を行い、発信する。

- ③ 代協会長は支部長の悩みを聴き、相談に応じ、活性化を支援する。

#### (3) 各代協の会員資格と会費体系の検証

- ① 各代協は、代協活動の基盤となる会員資格（正会員並びに・一般会員・賛助会員）と会費収入の実態を確認し、持続的な組織運営の可能性を検証し、必要に応じて改定する。

- ② 会費改定に当たっては、「募集従事者数リンク」を前提として検討する。

- ③ 代協会長は、地域担当理事・組織委員会と情報を共有しながら検討を進める。地域担当理事、組織委員会は各代協の検討をサポートする。

#### (4) 情報と熱を伝える取り組み

- ① 代協会員に対する情報発信（会報、SNS、メール、電話等）を随時行い、日本代協の方針や活動状況、各代協の取り組み状況、業界関連動向等に関する情報の共有化を図る。

#### (5) 若手会員・女性会員の育成・登用

- 将来のリーダー育成と組織の活性化のため、若手や女性会員を登用する。

（ex. 期限を決めて役員を交代する、登用する人数目標を定める〔クオータ制〕等）

#### (6) 「新入会員オリエンテーション」の実施

- ・ 新入会員の参画意欲向上のため、各代協においてオリエンテーションを実施する。（第一四半期の実施を推奨・可能な限り「フォローアップ研修」を実施）
- ・ 新入会員が活動に参加しやすい仕組みをつくる（ex. 全会員を委員会やイベント担当等に割り振る等）

#### (7) 組織運営のガバナンス確保

- ① 代協：関連法規を遵守し、「一般社団法人運営マニュアル」を参考に組織運営を行う。

特に、代協事務局職員に対する労働関係法規遵守に留意する。（代協版各種ひな型参照）

- ② 日本代協：代協運営に資する情報収集と知識習得に努め、専門家（弁護士、会計士、社労士）のネットワークを活用しながら、個別問題解決をサポートする。

#### (8) ブロック協議会による情報共有と相互の活性化支援

- ① ブロック協議会を年4回開催し、情報と取組み事例の共有を通して相互の活性化を図る。

- ② 役割・運営については、「運営ガイドライン」を参照する。

- ③ 開催費用は日本代協負担とし、その額は実態を踏まえて適宜見直す。

## 2. 代協正会員の増強

### (1) 基本方針

- ① 代協正会員の増強は各代協の経営課題であるが、全代協の取り組みを後押しする観点から、引き続き日本代協全体で取り組む。
- ② 将来的には全代理店の加入、長期的にはその前提としての過半数の加入（約8万店）を目標とする。その現実的なステップとして、「**專業代理店換算組織率全代協 50%超**」を中期目標として取り組む。
- ③ 加入勧奨に当たっては、チャンネル区分に関係なく、保険代理業を本業に位置付け、顧客本位の志を高く掲げて取り組んでいる意識の高い代理店に幅広く加入を働きかけていく。
- ④ 各代協は、「安定的かつ積極的な事業展開を行うために必要な会員数」を目標として**純増**を図る。日本代協においては、増強運動の盛り上げを図るため「**入会ベース**」の目標を定めて取り組む。

### (2) 本年度目標

#### I：日本代協

- a. 前記(1)④の基本方針に則り、日本代協の本年度目標は「338店」の入会とする。
- b. 上記目標達成のため、各代協の入会数目標を下記基準で定める。

◆ **入会数目標：2023年3月末「みなし專業未加入代理店数×2%」に「みなしオールチャンネル未加入代理店数×0.1%」を合算した数値とする。**

[專業未加入代理店50店の1店、(專業も含めた)オールチャンネル未加入代理店1,000店の1店を会員に迎えれば全代協が目標達成できる水準値]

◆ **激変緩和措置：組織率が80%以上に到達している代協はみなし專業未加入代理店数×2%を適用せず、ALLチャンネル未加入代理店数×0.1%のみの算出とする(該当は4代協のみ)。**

#### II：各代協

- a. 組織の安定的かつ積極的な運営に必要な会員数・会費額を検証したうえで、中期増強計画を策定し、積極的に増強(正会員実数増)を図る。
- b. 上記Iのガイドラインは「**入会数のミニマム基準**」とした上で、2024年度の「**増強目標数**」を事業計画に定め、各代協の総会にて組織決定し、取り組む。  
組織率50%達成済みの代協は、独自の目標設定を行い、増強計画を策定する。
- c. 組織率が80%を達成している代協は日本代協の理想としている「全代理店を分母に置いた場合の組織率50%超」を目指して積極的に取り組みを図る。

### (3) 仲間づくり推進(代協正会員増強)のための取り組み

- ① 仲間づくりは年間を通して推進する。  
また、各代協の増強目標達成を後押しするため、±0以上キャンペーンは通年で取り組む。
- ② 『目指せ!三冠王』は、表彰項目を「**仲間づくり推進(入会数基準)**」「**トータルプランナー受講者募集**」「**ぼうさい探検隊**」の3項目のみとするシンプルな制度に変更し、目標達成代協を表彰する。

#### <2024年度表彰制度の内容>

\*\*\*\*\*

#### 1. 「目指せ!三冠王」

##### 【表彰対象項目】

- 1 仲間作り「入会数」目標達成
- 2 「損害保険トータルプランナー」受講者募集目標達成
- 3 ぼうさい探検隊マップコンクール団体数目標達成

### 【表彰内容】

3項目すべてを達成した代協を「三冠王」として表彰し、3万円を支給する。

### 2. 仲間づくり

#### 【表彰対象項目】

- 1 目標達成
- 2 5連覇以上達成
- 3 年間会員数±ゼロ達成

#### 【表彰内容】

各項目の達成に対して、それぞれ3万円を支給する。

### 3. 日本代協特別賞（新設）

#### 【表彰対象】

定性的に素晴らしい取り組みを行った3代協を表彰する。

定量目標が未達であるが、そのプロセスが評価される取り組みなども対象とする。

#### 【選定方法と表彰内容】

地域担当理事は担当するブロックから1代協を選定し、合計16代協を候補とする。

日本代協理事会において16代協の取り組みを審議し、3代協の表彰を決定する。

表彰対象の代協には3万円を支給する。

「三冠王」「仲間づくり」との重複受賞を可とする。

### ※支給額の上限定

全ての表彰項目を達成すると最高15万円の支給対象となるが、1代協への支給額の上限は10万円とする。

\*\*\*\*\*

- ③ 「紹介の仕組み作り」を行い、組織全体で取り組む。（組織委員会任せにしない）
  - ・ 既存会員に紹介を依頼する（ex. 1会員年間1店紹介など）。
  - ・ 保険会社に協力を依頼する。（「保険会社にとっての代協加入のメリット」を伝える）
- ④ 代理店賠償、情報入手、経験交流の場等、代協加入のメリットを伝え、情宣を行う。（組織委員会）
- ⑤ 退会理由を確認し、会員減の防止に役立てる。
  - <参考マニュアル等> 「正会員増強マニュアル」 ・ 「非会員向けPRリーフレット」
  - ・ 「保険代理店の賠償責任（10分版・音声入）」 ・ 「You Tube 動画/PR企画」

### （4）各保険会社研修生の勧誘

- 独立型研修生制度を有する保険会社（あいおい社他数社）に対し、保険会社経由で入会関係書類の配布を行い、入会推奨を依頼する。

### （5）損保各社との連携強化

- ① 各代協：損保各社との面談、共同企画の実施等を通し、協力体制構築に取り組む。  
（総会、賀詞交歓会、各種セミナー、社会貢献活動等のイベント 等）
- ② 日本代協：損保7社との懇談会（7月）や個別アテンドにより、代協入会・損害保険コンサルティングコース受講者募集・代理店賠償加入の協力を求める。

## 3. 人材育成研修会の実施

- ① 代協活動の次代のリーダー育成のため、2年に1回のサイクルで下記の通り開催する。
  - 2024年度：北海道、南東北、南関東、東海、北陸、東中国、西中国、九州北
  - 2025年度：北東北、上信越、東関東、東京、近畿、阪神、四国、九州南
- ② 2023年度未開催のブロックは2024年度内に実施することができる。

## 4. 代理店賠償の普及と経営品質向上

### (1) 基本方針

- ① 代理店経営のプロテクターである代理店賠償「日本代協新プラン」の加入を推進する。  
別個登録会員・AIG社契約会員等を除き、極力100%の加入を目指す。  
〈2023年10月1日更新内容：加入店数9,328店(前年比▲145店)・継続率97.1%  
全国加入率85.6%(86.1%)・保険料198,010千円(▲777千円)〉
- ② 契約内容は2023年度と同様とする。

### (2) 加入促進、制度の健全な運営確保のための施策

- ① チャブ保険主催の「代理店賠償セミナー」を開催し、本制度の理解促進と普及を図る（1代協年1回/前年度未開催 or 間隔が空いた代協は優先的に実施・保険会社社員にも案内・オンライン開催可）。  
〔担当〕 杉山講師（チャブ損保OB）・山本講師（日本代協事務局OB）
- ② 3月開催の全国会長懇談会時に「経営品質向上委員会」を開催し、事故報告状況、保険金請求事案、訴訟事案、消費者からの苦情事案等を中心に具体的なフィードバックを行い、代理店の募集品質・業務品質の底上げを図る（チャブ損保）。
- ③ 「代理店賠償責任保険審査会」を年1回開催し、複雑事案の審議を行うとともに、本制度の信頼度向上を図る（臨時開催あり・オンライン開催あり）。

## VI. 活力ある代理店制度の構築

### 1. 活力研の開催

- ・「活力ある代理店制度等研究会」（活力研）を年2回開催する。
- ・代理店制度上の諸問題、保険会社との関係、募集環境、これからの代理店のあり方などを中心に真摯な対話を継続し、課題改善に取り組む。今後、代理店と保険会社がいかに連携して顧客本位の業務運営を実現していくか、未来志向の対話を行う。
- ・論議テーマはアドバイザー、参加保険会社とも事前協議を行い、極力前広に選定する。
- ・議事録を作成・配信する。論議の透明性を確保し、内容の共有に努める。

### 2. 金融庁と代協会長との意見交換会の開催

- ・金融庁監督局保険課長と代協会長との意見交換会を開催し、現場の実態、課題と併せて、地域に根差した代協会員の顧客本位の業務運営に向けた取り組みを、直接行政に伝える場とする（24年3月・臨時総会日程に合わせて開催予定）。

### 3. 環境変化対応の支援

- ・金融行政の動向や市場環境の変化、保険会社の動向等、環境変化に関する様々な情報収集と分析を行い、代協会員に提供する。

## VII. 広報活動の展開

### 1. ホームページの活用

- ① 日本代協・各代協ともにHPを活用した情報発信に努める。  
代協における取り組みに当たっては、SNSや動画の活用を含め、広報委員会で呼び掛けを行う。
- ② ホームページ・SNS活用ルールの定着状況を確認する（不備、更新状況等）。

## 2. メディアの活用

- ① 「保険代理業の仕事の魅力と存在意義」を伝えるための広報活動を積極的に展開する。  
『保険を選ぶ前に代理店を選ぶ、という考え方。』に基づき、「保険代理業（保険募集人）は、損害保険の提案や事故のアドバイスを通してお客さまのお役に立ち、寄り添うことができる存在である」という仕事の魅力と存在意義をPRし、若い世代を中心に浸透させていく。
- ② 業界紙（2紙）との懇談会を開催し、代協活動への理解を深める場とする（7月）。
- ③ イベント開催の際には、SDGsの取り組みを強調し、地元マスコミへの記事掲載につなげることで、消費者の認知度を高める。業界紙にも記事を送り、掲載を働きかける。
- ④ 各メディアと良好な関係を保ち（先方依頼にも積極対応）、様々な機会を活用して日本代協の意見のアーピールに努める。

## 3. WEB 媒体等の活用

- ① 代理店の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を伝えるため、過去に作成した動画の中で継続的に活用できる動画を活用する。
- ② Youtube 公式チャンネル「一般社団法人日本損害保険代理業協会」の登録数増加を図る。

## 4. 「みなさまの保険情報」の活用

- ① 損害保険代理業は「情報提供業」であり、定期的な情報提供の一助として、また、顧客との接点確保のために「みなさまの保険情報」の活用推進を図る。会員数対比5%超の利用を目標とする。  
※2024年1月現在利用部数：49,255部（前年48,575部） / 利用会員数：413店（前年407店）  
（事務局分を除く）上記の他にPDFのみ購入会員14店（前年13店）
- ② 「みなさまの保険情報」活用事例を定期的に情宣し、活用を促す。
- ③ 本誌の今後のあり方について、検討していく。

## 5. 会員へ、より情報が伝わる手法の研究・検討

- ① 日本代協から発信される情報を、効果的・効率的に会員へ伝達するための方法について研究を行う。
- ② 日本代協の理事会や委員会運営の効率化に資するツール活用の検討を行う。

## VIII. 代協会員の経営支援・情報の提供

### 1. 代理店経営支援策の検討・提供

- ① 理事会、各委員会、サポートデスクに寄せられた相談事案等を踏まえて代理店経営のサポート策を検討し、研修・ツール・セミナー等を構築・提供する。（サポートデスク、各委員会、事務局）
- ② 代理店の価値向上支援策並びに消費者・契約者に代理店の価値を伝える施策を検討、提示する。（企画環境委員会・サポートデスク）
- ③ 本業に直結する好取組事例を収集し、提示する。（教育委員会・サポートデスク）

### 2. 「代理店経営サポートデスク」による支援メニューの提供・展開

#### (1) 基本方針

- ① 引き続き毎週水曜日10～16時の電話相談を継続したうえで、今年度は現地出張によるサポートデスク開催を新たに企画する。
- ② 一方で、ジギョケイワークショップは、多くの地域で開催が進み、一定の役割を果たしたことから、今年度以降は行わないこととする。ジギョケイ策定の個別支援は、代理店経営サポートデスクとして引き続き

き行う。

- ③ 昨年度からスタートした日本代協アカデミーのコンテンツである「ボクらのNEXTチャレンジ」の制作を継続する。

## (2) 支援策の提供と浸透

### ① 「1日出張！代理店経営サポートデスク」

- ・全国の代協事務局に1日または半日常駐し、現地でサポートデスクを開催する。最大毎月1回、年12代協の訪問を想定する。
- ・現地派遣の旅費は日本代協予算にて負担し、各代協は1回1万円のみご負担いただくこととして、より身近に経営サポートデスクのサービスを享受しやすくする。

### ② 「ボクらのNEXTチャレンジ」番組の制作・配信

- ・若手の代理店経営者を交えたパネルディスカッション風番組を配信する。10年後の地域社会を見据えて、自社の経営改革に創意工夫している姿を、現地インタビューを通じて届ける。
- ・今年度は4地区4番組の制作を行う。

### ③ 代理店SDGs経営支援のコンテンツ化

- ・代理店のブランドとなり得るSDGsの取り組み支援として、セミナー（演題「地域の未来と代理店のミライ」）開催を始めとしたサポートを行う。
- ・出張にて代協単位もしくは支部単位で支援する。

### ④ 事業継続力強化計画認定申請支援

申請のためのワークショップは終了し、個別支援のみ引き続き行うこととする。

### ⑤ 「代理店経営未来塾」開催

受講対象者を後継者、後継予定者に限定せず、経営を学びたい会員に広く案内する。

- 「第4期」開講予定：11月～4月の6か月間・受講者枠30名・受講料33,000円
  - ・オンライン講座
- 「第3期」フォローアップ：サマースクール開催（7月リアル開催予定）

## 3. 情報提供の推進

### (1) 基本方針

- ① 情報が各会員に伝わるにはどうすればよいかを常に念頭に置いて、発信を行う。必ずしも発信量が多ければよいわけではないことに加えて、発信方法や発信媒体等も工夫を続ける。
- ② 各委員会・事務局においては、定期的・タイムリーに必要な情報を配信する。  
配信文書は、原則としてA4・1枚とし、冒頭にポイントを明示して簡潔に伝える。

### (2) 媒体

- ① 「日本代協ニュース」（定期版）… 広報委員会にて内容を確認する
  - ・ダイレクトメールを年8回配信・掲載内容は、代協活動や代理店経営に係る最新動向とする。
- ② 業界動向をまとめた「情報版」をA4・3枚程度の分量の都度配信
- ③ 「代協活動の現状と課題」（冊子）
  - ・9月中に全会員に配布する。内容はHPに掲載し、意見公表としても活用する。
  - ・会員の関心と理解を高めることを目的として、解説動画を引き続き配信する。
  - ・日本代協理事は、「現状と課題」の記載内容について、その背景や日本代協の対応方針等の理解に努め、ブロック協議会や人材育成研修会等の場で熱を持って伝える。

## **IX. コンベンション**

- ① 第13回日本代協コンベンションを下記日程で開催する。
  - ❖ 日時：2024年11月15日(金)～16日(土) 於：グランドニッコー東京台場・損保会館 他
- ② アクションプランの策定・準備・運営は、首都圏代協若手メンバーによるプロジェクトチームが行う。
- ③ 内容については、昨年度のアナケート結果も踏まえ、必要に応じて理事会に諮ったうえで決定する。

## **X. 法人運営**

### **1. 一般社団法人としての体制整備と運営**

- ① 「定款自治」を前提に、関連法規・諸規則に沿った運営を行う。
- ② 正確な情報と熱の伝達のため、重要事項については理事会・委員会経由の他、直接代協会長に伝える。
- ③ 会長懇談会は分散会等の実施を通じた意見交換を行い、取り組み事例の共有を通して活動の底上げを図る。
- ④ 理事会、委員会はオンライン開催も適宜取り入れながら、コスト削減を図りつつ機動力を高める。
- ⑤ 議資料、委員会の連絡等はオンライン配信とし、資料閲覧はタブレットを使用する。
- ⑥ 100万円以上の案件の原則BIDの実施、旅費・宿泊費の宿泊パック利用等、経費節減を図る。
- ⑦ 日本代協アドバイザー候補をリサーチし、適任者がいれば委嘱を検討する。

### **2. 代協事務局職員研修の実施**

- テーマ毎に時間を限ってオンラインで研修・情報交換を実施する。

(以上)

## 【別表】 2024 年度日本代協各委員会への諮問事項

### 1 諮問に当たっての共通確認事項

- (1) 2023 年度「事業報告」・「現状と課題」、2024 年度「事業計画」を通読し、担当以外の取り組みも含めて、課題の背景と現状、取り組みの方向性を共有する。
- (2) 課題毎にタスクを整理し、担当・役割分担・スケジュールを明確化する。
- (3) 取り組みの目的、意義が各会員へ伝わるための工夫を凝らし、単に目標数字をこなすための取り組みにならないよう留意する。
- (4) 定款・規則に即した運営を行い、連絡、報告等の締め切り期日を遵守する。
- (5) 意見を明確に述べ、賛否を明らかにした上で、組織決定に従い、行動する。
- (6) Zoom を活用し、論議の質と量を引き上げる（臨時委員会、チームミーティングを含む）。
- (7) 各代協（役員・事務局）に対する迅速で分かりやすい情報提供を心掛ける。
- (8) 委員会相互の連携を強化した活動を行う。

### 2 各委員会諮問・推進事項 ※下記は「主要諮問事項」・その他事業計画記載の取組みは継続実施

委員会	委員長	諮問・推進事項
企画環境		1 代理店の価値向上策の定着と積極的な推進 2 募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施（顧客本位の業務運営の妨げになると思われる事案も含めて）
教育		1 日本代協アカデミーの展開 2 損害保険大学課程の運営・検証・改善
組織		1 ブロック・代協・支部の強化 2 「仲間づくり(会員増強)」の推進 3 代理店賠償の推進
CSR		1 実効性のある「ぼうさい探検隊」の積極推進 2 継続活動のさらなる活性化および情宣効果向上に向けた検討（地震保険、子ども110番、無保険車、サイバーセキュリティ等） 3 防災・減災・防犯の具体的な取り組みの定着と更なる推進（他業界団体のコラボレーションの模索、地域イベントへの参加、出前授業の推進等） 4 <u>SDGs 思考をもって CSR 活動に取り組み、代協および保険代理店の価値向上につながる情宣活動の活性化</u>
広報		1 保険代理業の仕事の魅力と存在意義を伝えるための PR 施策の検討・実施・活用（対外広報） 2 「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進 3 「日本代協ニュース」の作成、配信（対内広報） 4 会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討

### 3 サポートデスク、コンベンションPT諮問・推進事項

	室長・LD	諮問・推進事項
サポートデスク	粕谷 AD	1 出張によるサポートデスクの存在の幅広い周知 2 「ボクらの NEXT チャレンジ」の制作と日本代協アカデミーにおける配信 3 代理店 SDGs 経営支援のコンテンツ化 4 「代理店経営未来塾」の運営
コンベンションPT	PT で決定	2024 年度コンベンション開催に向けた企画・実行・運営

#### IV. 2024年度(第61期)収支予算書

##### 2024年度予算

(単位:千円)

勘定科目	2024年度 予算額	2023年度 予算額	予算差額 24年-23年	備考
<b>I 計上収益の部</b>				
正会員会費	108,600	110,000	▲1,400	2023年度実績ベース
特別会員会費	63,400	63,400		
賛助会員会費	200	200		
損保大学課程受託料	88,000	89,500	▲1,500	
集金事務費	13,300	13,300		
利息配当金収入		200	▲200	
投資有価証券運用益	200		200	
雑収益		3,500	▲3,500	コンベンション費用に移行
当期計上収益合計(A)	273,700	280,100	▲6,400	
<b>II 計上費用の部</b>				
役員報酬				
給料手当	43,000	43,500	▲500	
退職金	2,000	2,100	▲100	
法定福利費	6,500	6,400	100	
福利厚生費	2,700	2,900	▲200	
教育研修費	16,500	19,100	▲2,600	人材育成研修費をブロック対策費に移行
損保大学課程運営費	84,000	85,500	▲1,500	
委員会費	10,200	8,800	1,400	委員会オリエンテーション実施費増
研究会費	1,200	900	300	魅力研実施費用増
会議費	7,400	6,700	700	新任会長オリエンテーション実施費増
総会費	1,100	1,100		
コンベンション費	15,800	18,900	▲3,100	雑収益(懇親会負担金)をマイナス計上
理事会費	3,700	3,700		
機関紙費	400	1,000	▲600	制作費節減
ブロック対策費	21,140	16,100	5,040	増額1,000+教育研修費からの費目移行
組織対策費	20,600	31,200	▲10,600	WEB環境構築支援金廃止、等
事業対策費	17,600	19,000	▲1,400	
通信費	1,800	2,000	▲200	
印刷費	1,100	3,000	▲1,900	事務局移転関連費用減
旅費交通費	500	500		
渉外費	800	800		
図書費	500	500		
事務器費	12,400	16,200	▲3,800	事務局移転関連費用減
借室費	29,600	29,700	▲100	
光熱費	400	450	▲50	
消耗品費	200	3,500	▲3,300	事務局移転関連費用減
支払報酬	1,900	1,800	100	
租税公課	3,700	3,100	600	インボイス制度影響による消費税増
建物減価償却費	1,200	2,000	▲800	什器備品減価償却費へ移行
什器備品減価償却費	2,100	1,000	1,100	
ソフトウェア減価償却費				
有価証券解約手数料		100	▲100	
支払寄付金				
投資有価証券評価損				
雑費	4,200	8,200	▲4,000	事務局移転関連費用減
当期計上費用合計(B)	314,240	339,750	▲25,510	
当期正味財産増減額(A)-(B)	▲40,540	▲59,650	19,110	
正味財産期首残高	202,891	230,528	▲27,638	
正味財産期末残高	162,351	170,878	▲8,528	

以上の通り報告いたします。

2024年6月13日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

理 事 (会 長)	小田島綾子
理 事 (副会長)	横山健一郎
理 事 (副会長)	小俣 藤夫
理 事 (副会長)	中島 克
理 事 (副会長)	山中 尚
理 事	佐々木雅之
理 事	雨宮 豊
理 事	下村 文則
理 事	小橋 信彦
理 事	谷川 明義
理 事	北島香代子
理 事	松本 一成
理 事	石川 英幸
理 事	藤山 裕介
理 事	大城 拓
理 事	大和 親英
理 事	金澤 亨
理 事	坂 雅夫
監 事	小島 俊宏
監 事	津田 文雄

以上

## 2024年度 通常総会 議事録（写）

1. 日 時 : 2024年6月13日（木）13時00分～14時12分
2. 場 所 : 損保会館 2F大会議室  
東京都千代田区神田淡路町2-9
3. 出席会員数 : 会員61名（以上は、総会員数61名に対し、2分の1以上である。）

### (1)出席者内訳

会場出席者数 : 47 名  
代理人による出席者数 : 7 名  
書面による出席者数 : 7 名

### (2)出席理事・監事

出席理事 会 長 小田島 綾子  
副会長 横山 健一郎、小俣 藤夫、中島 克、山中 尚  
理 事 佐々木 雅之、雨宮 豊、下村 文則、小橋 信彦、谷川 明義、  
北島 香代子、松本 一成、石川 英幸、藤山 裕介、大城 拓、  
大和 親英  
専務理事:金澤 亨、常務理事:坂 雅夫  
出席監事 津田 文雄、小島 俊宏

会長 小田島 綾子氏は、上記の通りの会員の出席があったので、本総会は有効に成立した旨を報告し、開会を宣した。

会長は議長の選出を総会にはかり、出席者の中から安井 義幸氏を選任し、同氏も承諾の上、議長席に着いた。

議事に先立って、議長は総会の承認をえて、議事録署名人として大川 淳氏、竹内 繁氏の両氏をそれぞれ指名選任し、次いで、議題に沿った議案提案の存否を総会にはかり、提案のないことを確認した後、議案の審議に入った。

### 第1号議案 2023年度（第60期）事業報告案承認の件

本件は、金澤専務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて、第1号議案 2023年度（第60期）事業報告は以下の通り決議承認された。

: 本報告書P. 1～23参照

### 第2号議案 2023年度（第60期）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

本件は、坂常務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致で、第2号議案 2023年度（第60期）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は以下の通り決議承認された。

: 本報告書P. 24～32 参照

### 第3号議案 全役員任期満了に伴う役員選任の件

本件は、小田島会長から説明報告があり、続いて役員資格審査委員会の井手 秀樹委員長から審査結果報告があった。議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて提案の通り選任された。なお被選任者のうち三好 亘氏、郡 英宏氏、雨宮 新一郎氏、植村 敬子氏は、本通常総会に出席しており、席上で就任を承諾した。なお、事前に就任承諾書も提出いただいている。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第11条第3項第3号の規定による監事の  
意見又は発言なし

以上をもって、議長は、一般社団法人 日本損害保険代理業協会2024年度通常総会終了を宣し、  
14時12分閉会した。

ここに総会議事録を作成し、議長および会長並びに議事録署名人が記名捺印する。

2024年6月13日

議 長 安 井 義 幸 ㊟

会 長 小 田 島 綾 子 ㊟

議事録署名人 大 川 淳 ㊟

議事録署名人 竹 内 繁 ㊟

議事録作成者：坂 雅夫

以上

# 資料集

資 料	ページ
2023 年度「目指せ、三冠王」最終結果	57
2023 年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」都道府県別達成状況表	58
損害保険大学課程コンサルティングコース受講者数(代協別、会員属性別)	59
2023 年度 教育研修会 開催状況	60
代協・支部セミナー	61
人材育成研修会	66
新入会員オリエンテーション	67
公開講座	68
地球環境保全活動	69
地域社会貢献活動	70
消費者団体との懇談会	76



2023年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」目標達成状況表

代協 ブロック	2023.3.31現在 専業代理店 実在数	2022年度末 (2023.3.31現在) 正会員数	2022年度末 組織率	入会目標	2023年度実績(2023年4~3月)						目標ま で あと何	連クォーター稼働			
					入会	退会	(退会理由 1~4)	(退会理由 5~9)	正会員数	★組織率		目標達成 %	第2Q 30%	第3Q 60%	年間 100%
北海道	1,054	580	55.0%	17	11	24	(17)	(7)	567	53.8%	6	65%			
<北海道計>	1,054	580	55.0%	17	11	24	(17)	(7)	567	53.8%	6	65%			
青森	306	138	45.1%	6	3	3	(3)	(0)	138	45.1%	3	50%			
岩手	239	121	50.6%	5	7	7	(6)	(1)	121	50.6%	-2	140%		★	★
秋田	198	83	41.9%	4	3	1	(1)	(0)	85	42.9%	1	75%			
<北東北計>	743	342	46.0%	15	13	11	(10)	(1)	344	46.3%	2	87%			
宮城	463	210	45.4%	7	4	6	(5)	(1)	208	44.9%	3	57%			
やまがた	216	143	66.2%	4	4	4	(2)	(2)	143	66.2%	0	100%			★
福島	394	225	57.1%	7	5	13	(10)	(3)	217	55.1%	2	71%			
<南東北計>	1,073	578	53.9%	18	13	23	(17)	(6)	568	52.9%	5	72%			
新潟	355	185	52.1%	7	8	5	(5)	(0)	188	53.0%	-1	114%	★	★	★
長野	387	205	53.0%	7	7	7	(3)	(4)	205	53.0%	0	100%	★	★	★
群馬	401	201	50.1%	8	4	19	(11)	(8)	186	46.4%	4	50%			
<上信越計>	1,143	591	51.7%	22	19	31	(19)	(12)	579	50.7%	3	86%			
栃木	390	134	34.4%	8	13	7	(6)	(1)	140	35.9%	-5	163%	★	★	★
茨城	486	188	38.7%	11	11	7	(3)	(4)	192	39.5%	0	100%			★
埼玉	849	342	40.3%	18	11	11	(9)	(2)	342	40.3%	7	61%			
千葉	839	354	42.2%	16	16	9	(5)	(4)	361	43.0%	0	100%			★
<東関東計>	2,564	1,018	39.7%	53	51	34	(23)	(11)	1,035	40.4%	2	96%			
神奈川	953	463	48.6%	17	17	42	(20)	(22)	438	46.0%	0	100%	★		★
山梨	166	122	73.5%	3	3	2	(2)	(0)	123	74.1%	0	100%			★
<南関東計>	1,119	585	52.3%	20	20	44	(22)	(22)	561	50.1%	0	100%			
東京	2,092	859	41.1%	39	27	45	(31)	(14)	841	40.2%	12	69%	★		
<東京計>	2,092	859	41.1%	39	27	45	(31)	(14)	841	40.2%	12	69%			
静岡	742	285	38.4%	15	4	6	(2)	(4)	283	38.1%	11	27%			
愛知	1,098	489	44.5%	21	21	40	(33)	(7)	470	42.8%	0	100%	★		★
岐阜	409	225	55.0%	8	1	8	(4)	(4)	218	53.3%	7	13%			
三重	362	234	64.6%	6	11	15	(10)	(5)	230	63.5%	-5	183%	★	★	★
<東海計>	2,611	1,233	47.2%	50	37	69	(49)	(20)	1,201	46.0%	13	74%			
富山	204	114	55.9%	4	4	6	(6)	(0)	112	54.9%	0	100%	★	★	★
石川	221	156	70.6%	3	3	6	(3)	(3)	153	69.2%	0	100%	★		★
福井	174	123	70.7%	3	4	3	(3)	(0)	124	71.3%	-1	133%	★	★	★
<北陸計>	599	393	65.6%	10	11	15	(12)	(3)	389	64.9%	-1	110%			
滋賀	178	138	77.5%	3	3	10	(6)	(4)	131	73.6%	0	100%			★
京都	381	331	86.9%	3	9	15	(12)	(3)	325	85.3%	-6	300%	★	★	★
奈良	170	137	80.6%	3	4	4	(4)	(0)	137	80.6%	-1	133%	★	★	★
<近畿計>	729	606	83.1%	9	16	29	(22)	(7)	593	81.3%	-7	178%			
大阪	1,188	840	70.7%	16	24	48	(31)	(17)	816	68.7%	-8	150%	★	★	★
兵庫	702	304	43.3%	14	14	17	(13)	(4)	301	42.9%	0	100%	★	★	★
和歌山	213	160	75.1%	3	5	4	(3)	(1)	161	75.6%	-2	167%	★	★	★
<阪神計>	2,103	1,304	62.0%	33	43	69	(47)	(22)	1,278	60.8%	-10	130%			
岡山	370	280	75.7%	5	6	9	(10)	(-1)	277	74.9%	-1	120%	★	★	★
鳥取	118	90	76.3%	2	2	2	(0)	(2)	90	76.3%	0	100%			★
島根	105	44	41.9%	2	0	5	(2)	(3)	39	37.1%	2	0%			
<東中国計>	593	414	69.8%	9	8	16	(12)	(4)	406	68.5%	1	89%			
広島	451	220	48.8%	8	8	15	(9)	(6)	213	47.2%	0	100%	★		★
山口	244	158	64.8%	4	4	7	(5)	(2)	155	63.5%	0	100%	★	★	★
<西中国計>	695	378	54.4%	12	12	22	(14)	(8)	368	52.9%	0	100%			
徳島	132	112	84.8%	2	2	3	(1)	(2)	111	84.1%	0	100%	★	★	★
香川	153	133	86.9%	2	3	3	(2)	(1)	133	86.9%	-1	150%	★	★	★
愛媛	282	134	47.5%	5	2	1	(0)	(1)	135	47.9%	3	40%			
高知	141	97	68.8%	2	2	3	(2)	(1)	96	68.1%	0	100%		★	★
<四国計>	708	476	67.2%	11	9	10	(5)	(5)	475	67.1%	2	82%			
福岡	960	559	58.2%	15	16	46	(35)	(11)	529	55.1%	-1	107%	★	★	★
大分	203	117	57.6%	4	1	5	(4)	(1)	113	55.7%	3	25%			
佐賀	152	90	59.2%	3	2	5	(4)	(1)	87	57.2%	1	67%	★		
長崎	221	157	71.0%	3	4	11	(6)	(5)	150	67.9%	-1	133%	★	★	★
<九州北計>	1,536	923	60.1%	25	23	67	(49)	(18)	879	57.2%	2	92%			
宮崎	220	140	63.6%	4	4	8	(8)	(0)	136	61.8%	0	100%	★	★	★
熊本	348	225	64.7%	5	5	12	(7)	(5)	218	62.6%	0	100%			★
鹿児島	279	184	65.9%	5	5	22	(13)	(9)	167	59.9%	0	100%			★
沖縄	273	168	61.5%	5	6	8	(7)	(1)	166	60.8%	-1	120%	★	★	★
<九州南計>	1,120	717	64.0%	19	20	50	(35)	(15)	687	61.3%	-1	105%			
全国計	20,482	10,997	53.7%	362	333	559	(384)	(175)	10,771	52.6%	29	92%			

2024年04月開講 損保大学課程コンサルティングコース受講申込状況(日報)

2024.02.16 08:27 am現在

地区	代協名	受講申込者				代協別 目標数	達成率	ブロック計	ブロック 目標数	達成率	前年度ブロック 目標と実績	
		代理店	(内会員)	社員	合計						目標	実績
北海道	北海道	46	34	3	49	40	123%	49	40	123%	40	63
北東北	青森	11	10	0	11	9	122%	45	24	188%	24	34
	岩手	13	10	0	13	9	144%					
	秋田	21	17	0	21	6	350%					
南東北	宮城	14	9	2	16	15	107%	59	40	148%	40	46
	やまがた	12	12	1	13	11	118%					
	福島	29	27	1	30	14	214%					
上信越	新潟	23	18	0	23	16	144%	67	47	143%	47	61
	長野	28	26	0	28	16	175%					
	群馬	16	12	0	16	15	107%					
東関東 (東京2)	栃木	19	14	2	21	13	162%	111	73	152%	73	135
	茨城	16	16	0	16	16	100%					
	埼玉	41	31	0	41	22	186%					
	千葉	32	23	1	33	22	150%					
南関東	神奈川	41	33	2	43	40	108%	58	50	116%	50	59
	山梨	15	12	0	15	10	150%					
東京	東京	191	109	16	207	107	193%	207	107	193%	107	190
東海	静岡	13	9	0	13	18	72%	115	94	122%	94	132
	愛知	60	36	5	65	46	141%					
	岐阜	19	18	0	19	15	127%					
	三重	15	13	3	18	15	120%					
北陸	富山	9	8	0	9	9	100%	32	30	107%	30	38
	石川	11	10	0	11	11	100%					
	福井	11	11	1	12	10	120%					
近畿	滋賀	12	9	2	14	7	200%	70	33	212%	33	57
	京都	39	35	2	41	19	216%					
	奈良	15	8	0	15	7	214%					
阪神	大阪	99	73	2	101	68	149%	143	101	142%	101	153
	兵庫	29	20	1	30	24	125%					
	和歌山	12	11	0	12	9	133%					
東中国	岡山	29	25	0	29	20	145%	40	27	148%	27	26
	鳥取	6	3	0	6	4	150%					
	島根	4	3	1	5	3	167%					
西中国	広島	20	14	1	21	17	124%	38	29	131%	29	52
	山口	17	15	0	17	12	142%					
四国	徳島	7	7	2	9	6	150%	44	32	138%	32	44
	香川	16	14	0	16	9	178%					
	愛媛	11	9	1	12	10	120%					
	高知	5	5	2	7	7	100%					
九州北	福岡	46	40	2	48	35	137%	87	62	140%	62	106
	大分	13	12	0	13	10	130%					
	佐賀	10	9	0	10	7	143%					
	長崎	16	15	0	16	10	160%					
九州南	宮崎	12	12	0	12	9	133%	74	51	145%	51	88
	熊本	18	16	0	18	16	113%					
	鹿児島	14	13	3	17	15	113%					
	沖縄	18	12	9	27	11	245%					
全国計		1174	898	65	1239	840	148%	1239	840	148%	840	1284
代申会社		代理店	(内会員)	社員	計							
あいおいニッセイ同和		144	113	15	159							
楽天		1	1	0	1							
共栄		16	6	0	16							
セコム		3	2	0	3							
損保ジャパン		345	302	13	358							
大同		15	10	8	23							
東京海上日動		307	256	12	319							
日新		50	28	4	54							
AIG損害保険		77	44	6	83							
三井住友		214	136	7	221							
チャブ		0	0	0	0							
その他		2	0	0	2							
合計		1174	898	65	1239							

■2023年度 教育研修会 開催状況

代協 ブロック	代協・支部 セミナー	人材育成 研修	新入会員 オリエンテーション	公開 講座
北海道ブロック				1
北海道	3			1
北東北ブロック		◎		
青森	7		1	
岩手	2			
秋田	3			
南東北ブロック				
宮城	2			
やまがた	3		1	
福島	4		1	
上信越ブロック		◎		1
新潟	7	○		
長野	4			
群馬	1			
東関東ブロック	1	◎		1
栃木				
茨城	4			
埼玉	3			
千葉	6			
南関東ブロック				
神奈川	5		1	
山梨	2		1	
東京ブロック	1	◎		1
東京	19			
東海ブロック		○		1
静岡	7			
愛知	2	○		
岐阜	5			
三重	16	○	1	
北陸ブロック	1			1
富山	1			1
石川	2			
福井	1		1	

代協 ブロック	代協・支部 セミナー	人材育成 研修	新入会員 オリエンテーション	公開 講座
近畿ブロック	2	◎		1
滋賀	4			
京都	6		1	
奈良	2		1	
阪神ブロック	3	◎		1
大阪	19	○	15	
兵庫	9		1	
和歌山				
東中国ブロック	1	○		
岡山	11			
鳥取	1			1
島根	3			
西中国ブロック	1			1
広島				
山口	2			1
四国ブロック		◎		
徳島				
香川	2			
愛媛	4			
高知				
九州北ブロック				
福岡	10			
大分	1			1
佐賀			1	
長崎	2			
九州南ブロック		◎		1
宮崎	5		1	
熊本	3			
鹿児島	1			
沖縄	1			
合計	206	14	28	14
参加者数	8,829	989	350	998

※セミナー( )内は、支部開催セミナー回数の内訳

※人材育成研修会の、◎は定例開催、○は自主開催

## 代協・支部セミナー

主催	開催年月日・会場	演題と講師	参加者数 (名)
北海道	2023.06.02プレミアホテル中島公園札幌とZoomによるハイブリッド	ミナイは自ら創るもの～10年後も必要とされる代理店となるために～野元敏昭氏	79
北海道	旭川 2023.05.26ベルクラシック旭川	凶悪犯罪多発!! あなたの命と財産の守り方一般社団法人日本防犯学校 副学長 防犯アナリスト 桜井礼子氏	84
北海道	函館 2023.05.23サン・リフレ函館	損害保険の基礎知識北海道協 函館支部 教育副委員長 武田匡史氏	10
秋田	2023.05.26ALVE秋田拠点センター	顧客本位に必要な不可欠なリスクマネジメントの視点とは?～日本代協の価値向上策とリスクマネジメントの関係～ 日本損害保険代理業協会 企画環境委員長 松本一成氏	35
青森	2024.02.15YSアリーナ八戸 (ハイブリッド) (サテライト会場 アピオあおもり・弘前市総合学習センター・まさかりプラザ)	代理店賠償セミナー-日本代協新プラン委託講師 杉山幹久氏	49
青森	2023.12.07アピオあおもり ハイブリッド	1.～アフターコロナで生き残る～代理店のビジネススタイル変革 2.青森県代協の現在 (いま) ! <知ってほしい代協活動>1.あいおいニッセイ同和損害保険(株) 常務執行役員 東北地域担当 原直人氏 2.青森県代協 各委員長 (企画環境 田中 春輝・広報 成田 学・教育 小向 猛徳・CSR 比内 理佑・組織 北上 忠光)	143
青森	2023.05.12ホテル青森	1.最近の暴力団情勢について 2.保険金詐欺対策等について1.青森県警察本部刑事部捜査第二課 課長補佐 豊川通弘氏 2.青森県警察本部交通部交通指導課 課長補佐 宝田喜章氏	39
青森	十和田 2023.04.27サンロイヤルとわだ	特殊詐欺について青森県警察 十和田警察署生活安全課生活安全係長 松沢富幸 警部補	18
青森	八戸 2023.04.21八戸プラザホテル ハイブリッド	相続税の基本と生命保険の活用鳩健二公認会計士・税理士事務所 代表・公認会計士・税理士 鳩 健二氏	48
青森	弘前/五所川原 2023.10.30弘前市総合学習センター ハイブリッド	セキュリティ対策セミナー-1.青森県警察本部 サイバー犯罪対策課 警部補 秋元実氏 2.あいおいニッセイ同和損害保険(株)青森支店 地域戦略室 担当課長 若井克也氏	52
青森	五所川原 2023.04.21損保ジャパン 五所川原営業所	「各保険会社における自動車保険特約の推し!」各保険会社の自動車保険を中心としたアピールポイントのご説明損害保険ジャパン(株)青森支店 弘前支店(五所川原営業所) 副長 米塚ゆかり 氏、東京海上日動火災保険(株)青森支店 弘前支店 支社長代理 細 信雄 氏、あいおいニッセイ同和損害保険(株)青森支店 五所川原オフィス オフィス長 島 隆雄 氏	7
岩手	2023.11.24マリオス	保険代理店における生産性向上セミナー 1.～アフターコロナで生き残る～ 代理店のビジネススタイル変革 2. 生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内1. あいおいニッセイ同和損保 常務執行役員 東北地域担当 原直人氏 2. 日本損害保険代理業協会 理事 組織委員長 藤山裕介氏	102
岩手	2023.05.18アートホテル盛岡	日本代協の歴史と必要性日本代協 理事・組織委員長 藤山裕介氏	42
秋田	2024.01.23秋田キャッスルホテル (ハイブリッド)	保険代理店における生産性向上セミナー 1.～アフターコロナで生き残る～ 代理店のビジネススタイル変革 2. 秋田代協の活動と入会のご案内1. あいおいニッセイ同和損保 常務執行役員 東北地域担当 原直人氏 2. 秋田代協 組織委員長 田代 敦氏、教育委員長 藤本 誠氏、企画環境委員長 伊藤 公毅氏	112
秋田	県北 2023.07.14プラザ杉の子 (ハイブリッド)	体制整備と代理店の賠償責任元Chubb損害保険株式会社 営業開発本部 本部長兼営業教育部長 杉山幹久氏	31
宮城	2023.08.30大崎市地域交流センター	リスクマネジメント基礎講座AEICEホールディングスグループ 代表取締役 松本一成氏	20
宮城	仙南 2023.08.25大河原町中央公民館 まちづくりルーム	サイバーセキュリティについて概要と事故事例 (株) 高山 盛証 シュアランスサービス 島名優和氏	14
やまがた	2024.02.09山形国際ホテル	増収減益が続く小規模代理店 一併だけが正解? ポイント制度に振り回されない最強の代理店経営のヒント(有)甲斐保険事務所 代表取締役 高宮志志氏	48
やまがた	2023.10.27山形会場(山形県産業創造支援センター)、鶴岡会場(リモート)(出羽庄内国際村)、酒田会場(リモート)(ミライニ)	保険代理店における生産性向上セミナー (共催: あいおいニッセイ同和損害保険(株)山形支店) 1.～アフターコロナで生き残る～代理店のビジネススタイル変革 2.生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内1.あいおいニッセイ同和損害保険 (株) 常務執行役員 東北地域担当 原直人氏 2.一般社団法人日本損害保険代理業協会 理事 教育委員長 石川 英幸氏	100
やまがた	2023.06.09山形国際ホテル	損害保険会社の監督をめぐる動き等について東北財務局理財部 金融監督第一課 石堂 忠孝氏・北村 法子氏	38
福島	郡山 2023.11.15郡山総合体育館	車椅子バスケットボール体験セミナー福島県障がい者スポーツ協会 増子恵美・加藤寿幸氏	52
福島	会津 2024.02.14東山グラントホテル	諦めたら終わり高田中学校陸上部顧問 角田先生	21
福島	福島 2023.08.25ウィズもとまち	公的保険から始まる保険サービスやまがた代協 大川淳会長	35
福島	相双 2023.12.08南相馬市民情報交流センター	「ハラスメント対策」元気の職場づくり ～スムーズなコミュニケーションでハラスメントを減らそう～ M S & A D インターリスク総研 (株) 中関輝久氏	17
新潟	2023.06.01新潟東映ホテル	新たな保険行政の動きと代理店経営のあり方日本代協アドバイザー 粟山泰史氏	69
新潟	新潟 2023.04.17あいおいニッセイ同和 新潟支店	中小企業におけるSDG s あいおいニッセイ同和損害保険(株)新潟支店 支店長 水越靖氏	31
新潟	長岡 2023.07.11おじゃーる市民の家・小千谷信濃川水力発電館	iDeCo・NISAを学ぶ講座 小川洋平氏	16
新潟	三条 2024.02.16三条東公民館	メットライフ生命 商品研修森田氏	13
新潟	三条 2023.12.22三条東公民館	外資建て商品 関連情報連携ジブラルタ生命保険(株) 高橋氏、松永氏、石井氏	13
新潟	三条 2023.10.25三条東公民館	保険業界近況連携 契約成功事例 あいおいニッセイ同和損害保険(株) 木元氏	8
新潟	三条 2023.06.22三条東公民館	情報連携ジブラルタ生命 高橋航太氏	17
長野	2024.02.22あいおいニッセイ同和損保長野ビル・あいおいニッセイ同和損保松本ビル	ジゴケイ研修「事業継続力強化計画」を作成しましょう! あいおいニッセイ同和損害保険 (株) マーケット開発部 横山肇一氏	13
長野	2023.11.28Zoomウェビナー	「鬼の成島検査官」が語る! 金融庁検査の着視点金融庁特別検査官・日本代協アドバイザー 成島 康宏 氏	68
長野	2023.08.24オンラインセミナー	2023年代理店賠償セミナー「保険代理店の賠償責任と最近の事故例」元 Chubb損害保険 (株) 営業開発本部長 杉山幹久氏	134

主催		開催年月日・会場	演題と講師	参加者数 (名)
長野	北信/東信	2023.11.09上田東急REIホテル	会員にわかってほしい代協・保険会社にわかってほしい代協日本損害保険代理業協会 理事 組織委員長 藤山裕介 氏	42
群馬		2023.05.30前橋商工会議所	金融庁の検査に対する対応について成島康宏 氏	60
茨城		2023.09.01水戸商工会議所	商工会議所制度を活用したリスクマネジメント術茨城代協 専務理事 河合貴弘 氏 (有限会社ONE TEAM)	12
茨城		2023.06.02テラスザガーデン水戸	今後の業界動向と保険代理店の未来日本損害保険代理業協会 アドバイザー 栗山泰史 氏	70
茨城	県西	2023.08.25県西生涯学習センター	オーナー社長のための事業継承 (株) リクルート事業継承推進PJ 青木萌百 氏	11
茨城	鹿行	2023.09.08神栖防災アリーナ	やり方次第でこれだけ差が出る相続税、払い過ぎを回避する不動産の評価術フジ総合グループ(不動産鑑定士) 茂木悟 氏	16
埼玉		2024.01.25さいたまスーパーアリーナ TOIRO	仕事をしたくなる仕組みづくりを目指してみんなの保険社 (有)保険社 代表取締役 占部訓司 氏	80
埼玉		2023.06.23大宮ソニックシティ+ZOOM	1.代理店賠償責任事例と保険の必要性 2.実際にあった訴訟体験談1.元Chubb損害保険 (株) 杉山幹久 氏 2.埼玉代協 会長 塩野忠 氏	135
埼玉	中央/東部/西部/南部/北部	2023.06.23各支部会場	1.コンプライアンスと代理店の賠償責任(日本代協新プラン) 2.実際にあった訴訟体験談1. 元Chubb損害保険 杉山幹久 氏 2. 埼玉代協 会長 塩野忠 氏	125
千葉		2023.10.31ホテルグリーンタワー幕張	日本の保険流通を語るJ.E.I.Sグループ グループチェアマン 佐野圭作 氏	80
千葉	千葉	2024.02.02三井ガーデンホテル千葉	信頼が揺らいだ損保業界の再生を代理店の立場で考える松浦卓 氏	27
千葉	東葛	2024.02.27柏商工会議所	1. 代理店賠償セミナー 知っておくべきトラブル事例 2. 弁護士が語る自動車起因事故における弁護士費用特約の活用方法 1. Chubb損害保険 杉山 氏 2. 山口・高橋法律事務所 高橋弁護士	17
千葉	木更津	2024.02.16木更津ベイプラザホテル	1. 平素に考える災害への備えと対応 2. 不思議をあなたに届けますー不思議創造マジシャン大輝のイリュージョンショー 1. 元陸上自衛隊教育訓練本部長 元第3師団長 田中重伸 氏 2. マジシャン大輝 氏 (木更津地元のマジシャン)	38
千葉	茂原	2024.02.09あいおいニッセイ同和 茂原支社 (リアル&ZOOM)	現役鑑定人に学ぶ「事故対応時に困らない引受&事故対応時の留意点セミナー」 (株) 審調社 森澤三郎 氏	33
千葉	銚子	2023.06.23あいおいニッセイ同和 銚子支社	事業継続力強化計画の概要と認定メトリック三井住友海上あいおい生命保険 (株) 営業教育企画部 課長 教育トレーナー室 佐藤真理 氏	11
神奈川	県西	2023.06.02レンタルホール湘南平塚	小規模代理店の生き残り&代協のサポート体制・代協の活用方法日本代協アドバイザー (株) 粕谷企画 粕谷智 氏	31
神奈川	みなと	2023.05.30損保ジャパン 横須賀支社	～お客様にとっての究極の情報提供～任意後見制度をご存知ですか?相続診断士 (同) ぶらす 代表 西信勝 氏	34
神奈川	横浜中	2023.06.07損保ジャパン 横浜馬車道ビル	保険代理店合同入社式「ようこそ!保険代理店へ」MINATO(株) 坂巻健一郎 氏	41
神奈川	県央	2023.11.27損保ジャパン 神奈川支店	どうする拳銃2億円!! ～これからの地域密着代理店は野元敏昭	14
神奈川	県央	2023.05.26東京海上日動火災 厚木支社	悪質業者のよくある手口(有)松枝瓦店 代表取締役会長 松枝康雄 氏	24
山梨		2023.10.26Zoomウェビナー	2023年度代理店賠償責任保険オンラインセミナー「保険代理店の賠償責任と事故例」元Chubb損害保険 (株) 営業開発本部長 兼 営業教育部長 杉山幹久 氏	50
山梨		2023.08.30ホテル談話館	「保険代理店のSDGs」保険会社担当者によるトークセッションセミナー三井住友海上 目黒ゆかり 氏、損保ジャパン 丸山知弥 氏、東京海上日動 中塚啓二郎 氏、山梨代協副会長 小俣勝夫 氏	35
静岡		2023.05.26静岡県男女共同参画センター あざれあ	オンラインセミナー代理店賠償説明会「説明不足による 損害賠償に備える」 元Chubb損害保険株式会社 営業開発本部長兼営業教育部長 杉山 幹久 氏	59
静岡	西部	2023.12.05損害保険ジャパン 浜松支店	手数料ポイント制を考える会 革新懇 院内集会等の活動についての近況 院内集会幹事 坪井勝志 氏 (松浦 章様監修)	18
静岡	西部	2023.07.06浜松市社会福祉交流センター	最近の判例について西遠総合法律事務所 仙道朋也 先生	23
静岡	大井川	2024.01.25藤枝市文化センター	保険募集人が知っておくべき新NISA、iDeCo、変額保険、外貨建保険の基礎知識シプラルタ生命保険 (株) 山下雄生 氏	13
静岡	大井川	2023.11.28藤枝市生涯学習センター・藤枝地区交流センター西館	サイバーリスクの実態とサイバーリスク保険東京海上日動火災保険 (株) 大場友裕 氏	10
静岡	大井川	2023.07.21藤枝市文化センター	今さら聞けない電子帳簿保存法とその対応についてキヤノンシステムアンドサポート (株) 遠藤俊明 氏	10
静岡	大井川	2023.04.25藤枝市文化センター	終活セミナー「保険代理店が知っておきたい終活の基礎知識」アルファクラブ静岡 (株) 鈴木啓嗣 氏	10
愛知		2023.06.27ウイंकあいち	1.バックオフィス業務効率化のポイント 2.代理店経営に資するメンタルヘルスの取組について 3.生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内1.あいおいニッセイ同和損保 営業開発部 支援室 ビジネスコンサルタント 推進役 戸澤靖 氏 2.アイエムエフ株式会社 代表取締役 大塚博巳 氏 3.日本損害保険代理業協会 理事 教育委員長 石川英幸 氏	180
愛知		2023.06.16ウイंकあいち	代理店の未来像～生き残って行くには～ あいおいニッセイ同和 小川宏治 氏、損害保険ジャパン 由比秀樹 氏、東京海上日動 西野仁 氏、三井住友海上 脇田浩平 氏	47
岐阜		2023.10.17ソフトピアジャパン	2023年 保険モニタリングレポート ～「2023事務年度 金融行政方針」を踏まえた保険代理店経営上の留意点～のぞみ総合法律事務所 弁護士 MBA CIA CFE 吉田桂公 氏	70
岐阜		2023.09.05オンラインセミナー	代理店賠償セミナー 保険代理店の賠償責任と最近の事故事例Chubb損害保険 (株) 杉山幹久 氏	76
岐阜		2023.06.28岐阜商工会議所 (ハイブリッド開催)	1. 代理店業務効率化のポイント生産性向上における事務の役割革新について 2. 代理店経営に資するメンタルヘルスの取組について 3. 生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内1. あいおいニッセイ同和損害保険 (株) 営業開発部 ビジネスコンサルタント 推進役 戸澤靖 氏 2. アイエムエフ (株) 代表取締役 大塚博巳 氏 3. 日本代協 教育委員長 石川英幸 氏	86
岐阜	岐阜	2023.04.21メディアコスモス	未来志向型の代理店像 (有) ナカガキ・アンド・カンパニー 代表 中嶋 章夫 氏	21
岐阜	西濃	2023.12.20フォーラムホテル	弁護士の活動について岐阜県代協提携弁護士 渡部法律事務所 弁護士 渡部智也 氏	25
三重		2023.11.21アストホール	1. 東日本大震災から12年、改めて地震保険の価値を考える 2. DXの時代、今こそ保険代理店の価値を考える 日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏	78

主催	開催年月日・会場	演題と講師	参加者数 (名)
三重	2023.10.20第一ビル会議室	B C P 策定支援セミナー（ワークショップ形式）～B C P（事業継続計画）が僅か「半日」で策定できるようになる～東京海上日動火災保険（株）伊勢支社 亀井航平 氏	12
三重	2023.06.09第一ビル会議室	提携業者との意見交換・勉強会総務委員会	29
三重	2023.05.26アストホール	売上を、減らそう～たどりついたのは業種至上主義からの解放～（株）minitts（美味しいものを手軽な値段で食べられるお店「值食屋」）中村朱美 氏	76
三重	四日市	2024.02.09四日市市地場産業振興センター 損害保険ジャパン（株）四日市保険金サービス課 山本憲司 氏	37
三重	四日市	2023.12.08四日市市地場産業振興センター あらゆる組織型代理店で実現できる成長戦略と品質向上戦略 ～“非”効率性から見えてくるものは何か、金融庁モニタリングレポートを踏まえて～東京海上日動火災保険（株）四日市支社課長 西山宏樹 氏	38
三重	四日市	2023.06.16四日市市地場産業振興センター 40代でがんになったF Pが話す本当の話～白血病・骨髄移植を経験して学んだこと林敷 氏	34
三重	鈴亀	2024.03.08陽子線がん治療センター 陽子線治療施設の見学、最新のがん治療、高度先進医療について中部国際医療センター 医療技術部統括部長 井戸靖司 氏	18
三重	津	2023.12.15第一ビル大会議室 新eラーニングシステム 日本代協アカデミーを詳しく解説！ 三重県代協 教育委員長 稲垣智宣 氏	27
三重	津	2023.09.06（株）三重パーツ 自動車リサイクル工場の再使用、再資源化の工場見学～自動車のリサイクル工程をこの目で見る～ 三重パーツ 玉田政男 氏（リサイクル工場）、伊東洋一 氏（解体工場）	37
三重	松阪	2024.03.01松阪市民活動センター カリヨンビル 1. 中部国際医療センター 陽子線がん治療センターを見学して 2. 最新の生保業界情勢について1.（株）サポート24 土屋尊志 氏 2. アフラック生命保険（株）三重支社支社長補佐 水谷加奈子 氏 他3名	30
三重	松阪	2023.08.04損保ジャパン 松阪支社 1. 日本代協アカデミーの活用方法 2. 裁判例で見る若手従業員に対する業務上の指示とパワハラとの線引き1. 松阪支部長 野田基樹 氏 2. 弁護士 伊藤仁 氏	25
三重	伊勢志摩	2023.08.04伊勢市労働福祉会館 救命救急講習 心肺蘇生法・A E D使用方法について伊勢市消防本部 中西有 氏、他2名	28
三重	伊賀	2024.02.22伊賀市社会福祉協議会 「企業型確定拠出年金」制度についてつみたて投資協会 倉谷実 氏	25
三重	伊賀	2023.09.22伊賀市社会福祉協議会 トレンドセミナー講演～最新セキュリティって、どんなもん？60分で楽しく学ぼう！・電帳法、って何？30分でざっくり解説！リコージャパン（株）岡村 氏、河合 氏	25
三重	伊賀	2023.07.14名張市産業振興センター アスピア がんを正しく知ろう～現代のがん治療の実態SONPOひまわり生命 林 氏	12
石川	2023.05.26石川県地場産業振興センター新館	代協活動を通じて見えた代理店経営～歴史的大変革の中、皆様は代理店価値をどう高めていますか？～ 一般社団法人日本損害保険代理業協会 副会長 小俣藤夫 氏	35
福井	2023.05.24福井市地域交流プラザ	新たな保険行政の動きと代理店経営のあり方～保険代理店に近づいてくる金融庁～日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏	51
近畿	2023.12.15キャンパスプラザ京都	代理店賠償責任セミナー～Chubb損害保険(株) 山本高久 様	98
近畿	2023.12.15キャンパスプラザ京都	代理店賠償責任セミナー～代理店賠償支払い事例から学ぶ保険業法違反への落とし穴～Chubb損害保険（株）日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	98
滋賀	2024.01.23クサツエストピアホテル	1. 中規模代理店の成長戦略 2. 簡単！すぐにできる！自分を変えるメンタル催眠心理1. 日本代協教育委員長 石川英幸 氏 2. 催眠心理士 中井英史 氏	70
滋賀	2023.05.24クサツエストピアホテル	どんな相手でもストレスゼロ！カスタマーハラスメント対応術を笑いに変えるクレーム・コンサルタント 日本クレーム対応協会 代表理事 谷厚志 氏	81
滋賀	湖東湖北	2023.10.25損害保険ジャパン 彦根保険金サービス 1. 社労士診断認証制度について 2. 地震保険制度とその現状について1. K B I 社会保険労務士事務所 代表 久保井 淳一 氏（滋賀県代協 賛助会員） 2. 一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部 主査 大東 建司 氏	23
滋賀	湖西湖南	2023.10.11キラリエ草津 草津市市民総合交流センター ついにインボイス制度導入、今後の実務と注意点ミカタ税理士法人 税務・労務事業本部長 藤本敦司 氏	41
京都	2024.03.25日新火災海上 京都サービス支店	易道の基本思想京都府易道共同組合第10代理事長 泰志龍 氏	13
京都	2024.01.24リーガロイヤルホテル京都	防災に関するセミナーNHK アナウンサー 竜田理史 氏	46
京都	2023.12.07西舞鶴駅前交流センター	インボイス制度の基礎知識舞鶴税務署 職員	13
京都	2023.12.05メットライフ生命京都支店	知って生かそう！助成金セミナーメットライフ生命社員	13
京都	2023.08.03日新火災海上保険 京都サービス支店	損害保険鑑定人との勉強会1級建築士 損害保険鑑定人 金澤泰夫 氏	13
京都	2023.05.25リーガロイヤルホテル京都	「阪神淡路大震災から28年」阪神・淡路大震災から四半世紀がたった今、大人が子供に残してあげられる贈り物は何か？家族や友達など大切なものを守る方法は何か？我々代理店の使命、今できることは何か？いまいちど考えてみませんか？朝日放送テレビ報道局 情報番組デスク 木戸崇之 氏	80
奈良	2024.01.26大神神社 月山日本刀鍛錬道場	2023年度新春セミナー 損害保険トータルプランナー 認定者記念品贈呈式 大神神社本殿正式参拝 月山日本刀鍛錬道場特別見学会大神神社 権宮司 平岡昌彦 氏、月山日本刀鍛錬道場 月山貞一 氏	40
奈良	2023.06.02ホテル日航奈良	2023総会記念セミナー「日本代協アカデミーの有効活用」 日本代協教育委員長 石川英幸 氏	48
阪神	2024.02.13Zoomオンライン	地震保険セミナー-財務省近畿財務局理財部金融監督第四課 保険監督室長 大畠由岐子 氏、銀座「トーマ」法律事務所 弁護士 岡本正 氏、大阪代協 C S R 委員長 大西圭介 氏	179
阪神	2023.07.13Zoom+大阪代協会議室のハイブリッド	カスハラ対策セミナー-社会保険労務士 行政書士事務所 井上久 氏	171
阪神	2023.04.26Zoom+大阪代協会議室のハイブリッド	保険代理店のためのインボイス対策セミナー-税理士法人ウイン合同会計事務所 所長 近藤元信 氏	180
大阪	2024.03.21事務局よりLIVE配信	「大阪代協LIVE STATION」 1. 能登半島地震の実情と代理店の視点から見た課題 2. 金融庁と代協会長との意見交換会報告 活力研報告 3. 大阪代協提携事業のツボ1. 石川県代協会員（株）能登経営センター社長 津田文雄 氏 2. 大阪代協新谷会長・日本代協山中副会長 3. 事業活性化委員長・教育委員長	104
大阪	2024.02.27大阪代協 会議室	ジギョケイ認定取得ワークショップ（株）粕谷企画 代表取締役 日本代協アドバイザー 粕谷智 氏	20

主催		開催年月日・会場	演題と講師	参加者数 (名)
大阪		2024.01.30大阪代協会議室+Zoomのハイブリッド	2024年を展望する「迷走する保険業界が向かう先は」～BM・カルテル問題の真相と保険業界に与える影響～日本代協アドバイザー 栗山泰史氏	369
大阪		2023.12.20事務局よりLIVE配信	大阪代協LIVE STATION 1. 迷走する保険業界が向かう先は？ 2. いよいよ始まる新型NISA 3. 損保社との意見交換会報告1. 大阪代協会長 新谷香代子氏 2. (株)財ヘッジ 代表取締役社長 梶尾誠司氏 3. 大阪代協会長 新谷香代子氏/大阪代協副会長 隼田哲貴氏	100
大阪		2023.10.23YouTube	「大阪府建築防災啓発員資格取得セミナー」 動画3本視聴後確認テストを行い合格者へ「大阪府建築防災啓発員認定証」を発行大阪府都市整備部事業調整課 都市防災課 密集市街地対策グループ	126
大阪		2023.08.29Web	体制整備と代理店の賠償責任1.日本代協新プラン委託講師 杉山幹久氏 2.大阪代協組織委員長 守屋仁志氏	285
大阪		2023.08.02事務局よりLIVE配信	大阪代協LIVE STATION 1.保険代理店におけるCHAT GPTの活用 2.保険会社と代協との対話(活力研)報告 3.各委員会旬のオン取組1.大阪代協副会長 伊藤伸明氏 2.日本代協副会長 山中尚氏 3.大阪代協各委員長 中塔企画環境委員長、守屋組織委員長、大西CSR委員長	106
大阪		2023.05.25大阪市中央公会堂	ミライは自ら創るもの～10年後も必要とされる保険代理店であるために～Hans-onコンサルティング 元日本代協専務理事 野元敏昭氏	143
大阪		2023.04.13大阪代協 会議室	Webワークショップ (A/A-Z) 投稿方法・会員への書き込み～メール送信方法) 事務局・吹原局長・高木	23
大阪	北大阪/北摂/船場	2023.12.15三井住友海上 大阪淀屋橋ビル	お客様の突発的ニーズをキャッチする！代理店が出来る三つの「接点」強化セミナー～いあうと・にっしん(株)代表取締役社長 名倉信一氏	37
大阪	北大阪/北摂/船場	2023.10.25損保ジャパン社大阪ビル	3支部合同セミナー「ヒトモノカネがついてくる！～利き脳の見分け方と活かし方～」(株)スマレボ 社長 米澤忍氏	56
大阪	南	2023.10.26東京海上日動 藤井寺支社	損保代理店を取り巻く環境の変化とその対応(株)新日本保険新聞社 代表取締役 今井進次郎氏	19
大阪	北摂	2023.04.21ハイブリッド(大阪代協会議室+Zoom)	「あるべき代手制度とは？(活力研レポート)」日本代協副会長 山中尚氏	15
大阪	京阪	2024.02.16枚方市総合文化芸術センター本館創作活動室	RPA活用による生産性の向上と社員一人一人がいきいきと働ける環境づくり(株)中央ビジネス RPA事業部 鈴木龍之介氏	16
大阪	船場	2023.11.21オンライン	公的保険から始まる保険サービスの実践に向けて～顧客満足と業績向上を両立させる具体策とは～公的保険アドバイザー協会 代表理事 土川尚己氏	120
大阪	船場	2023.09.27大阪代協事務局会議室+Zoomハイブリッド	「知られていない救済権放棄特約の実務対応」オープンセミナー弁護士 海事保佐人 海事代理人 吉田伸哉氏	43
大阪	東大阪	2023.10.25東大阪市庁舎	代理店の法的責任と立場ろくま法律事務所 弁護士 庄司論史氏	37
大阪	堺	2024.02.21堺第1東京海上日動ビル	人材育成の4つのポイントアジリティーチーム 代表 金子武史氏	24
大阪	和泉	2023.10.25岸和田マドカホール	運送事業2024年問題大阪府トラック協会 常務理事 前田一氏	13
兵庫		2024.01.29レンタルスペースジェム	社長の為のゼミナール第8期生発表会 ～ブランド化を意識した「経営指針」+事業継承を意識した作り方～ (有)神戸経営支援センター 代表 藤本秀俊氏	15
兵庫		2024.01.25ホテルクラウンパレス マーカススクエアKOBE	新春セミナー「保険代理店の現在・過去・未来～「保険代理店4.0」を考える」日本代協アドバイザー 栗山泰史氏	60
兵庫		2023.08.29web	体制整備と代理店の賠償責任日本代協新プラン委託講師 杉山幹久氏	105
兵庫		2023.08.25レンタルスペース会議室	生命保険の取り組みにあたって！～損保代理店は隣に生保があるので、「いつでも出来る」との思いが危険～(株)オフィス・エフ 壺内 栄之輔氏、オリックス生命保険(株)・ジブラルタ生命保険(株)・メットライフ生命保険(株)各保険会社社員	21
兵庫		2023.06.23兵庫県代協事務所	「社長の為のゼミナール」第8期生 ～ブランド化を意識した「経営指針」+事業継承を意識した作り方の勉強会～ 期間 2023.6.23～2023.12.21 6回開催(有)神戸経営支援センター 代表 藤本秀俊氏	7
兵庫		2023.06.20レンタルスペースジェム元町	業界の未来を想像する集い兵庫県代協 教育委員長 岡田幸男氏、組織委員長 山口善克氏、副会長 壺内栄之輔氏	15
兵庫		2023.05.16レンタルスペースジェム会議室	社長の為のゼミナール 第8期生オープンセミナー (有)神戸経営支援センター 藤本秀俊氏	10
兵庫	阪神/神戸/姫路	2024.02.16グリーンヒルホテル明石	保険業法から8年「体制整備を甘く考えるな！～体制整備なくして、代理店存続は皆無～」元金融庁特別検査官 成島康宏氏	37
兵庫	姫路	2024.01.19加古川商工会議所	明日から使える公的保険知識毛利社会保険労務士事務所 代表 毛利徹也氏	14
東中国		2023.09.27WEB開催にて東中国ブロック内4会場	1. 代理店賠償セミナー 2. 代理店賠償の必要性1. 杉山幹久氏 2. (株)集成社 代表取締役社長 藤山裕介氏	33
岡山		2023.05.26アークホテル岡山	「現役アナウンサーが伝える、ちょっと”密”するいい話」 1.人に伝える話し方 2.ハガキ一枚からできる国際支援フリーアナウンサー 久保田 夏菜氏	73
岡山	岡山東/岡山西/岡山南	2023.12.07岡山シティミュージアム	1. 自賠責基準と裁判基準とは 交通事故慰謝料計算、交渉について 2. 過失相殺率の認定基準について 3. 無保険車との事故交渉について財津総合法律事務所 新木龍三朗氏	52
岡山	岡山東	2023.09.15(株)岡山保険センター会議室・(有)津島自工	・VR講演(災害シミュレーション体験)・提携修理工場(有)津島自工見学 株式会社白獅子 代表取締役 春名義之氏	23
岡山	岡山東/岡山西/岡山南	2023.07.05損害保険ジャパン 岡山支店	献血セミナー「血液と献血について」日本赤十字血液センター 今脇孝之氏	40
岡山	岡山西	2024.03.09岡山市中消防署	1. 能登半島地震現地レポート 2. 防災講話 3. 防災学習(地震体験車、VRゴーグルによる疑似地震・火災体験、水消火器体験、消防車・消防署見学) 1. 損害保険ジャパン(株)岡山火災新種保険金サービス課 田中修二氏 2. 岡山市中消防署 野上託史氏	18

主催	開催年月日・会場	演題と講師	参加者数 (名)	
岡山	岡山南	2024.03.06損害保険ジャパン 岡山支店	弁護士視点での一連の流れと要点薬師寺法律事務所 薬師寺隆史 氏	18
岡山	倉敷北/倉敷南	2024.01.19三井住友海上 倉敷支社	交通事故に対する弁護士の方財津総合法律事務所 代表 財津唯行 氏	25
岡山	倉敷北	2023.10.12三井住友海上 倉敷支社	防災に関するセミナー 1.防災対策の現状、2.ハザードマップの見方、3.見舞金の在り方や支払制度等岡山県危機管理課地域防災推進班	16
岡山	倉敷北	2023.08.03東京海上日動火災 倉敷支社	サイバーセキュリティセミナー 1. サイバー犯罪の情勢・対策の講話 2. サイバー犯罪被害の体験・デモンストレーション岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 久利龍介 氏、井上佑己 氏	17
岡山	倉敷南	2023.07.25三井住友海上 倉敷支社	今後の保険代理店経営とM&Aの親和性について (株)フォーナレッジ 加藤剛義 氏	8
岡山	津山	2024.02.09津山圏域雇用労働センター	自賠責基準と裁判基準とは(慰謝料計算・交渉) 財津総合法律事務所 代表 財津唯行 氏	37
鳥取		2023.09.15鳥根県協共催 松江テルサ	『ミライは自ら創るもの』～10年後も必要とされる存在であるために～野元敏昭 氏	49
島根		2024.01.26松江エクセルホテル東急	この時代に一歩前に入るための代理店経営～代理店の組織力と生産性向上の必要性～日本代協 副会長 中島克海 氏	38
島根		2023.11.28東京海上日動火災 山陰支店	サイバーセキュリティ対策セミナー-島根県警本部サイバーセキュリティ対策課 斎藤正憲警務部長・岡田仁警部・坂本あいに巡查部長	11
島根		2023.10.27高津川リバーピア	女性部会 in Masuda ～顧客価値創造に向けたアイデア交換会～高津川リバーピア (株) 代表取締役 上床絵理 氏	13
山口	下関	2023.11.10下関市勤労福祉会館	「出前授業」についての勉強会支部会員	22
山口	山口	2023.11.22居酒屋 坂田	「SDGs 見つけ隊」リモート研修柏谷企画 柏谷氏	11
香川		2023.05.29サンメッセ香川	保険代理店の未来を継承する心構え - お客様を起点に成長か撤退かを定める-(有)保険ネットワークセンター 代表取締役 宮宇地寛 氏	29
香川	香川東/香川西	2023.04.21香川産業頭脳化センター	“ここが変だよ ポイント制!”損保代理店の社会的役割と手数料ポイント制度兵庫県立大学客員研究員 道修商事(株)相談役 松浦章 氏	29
愛媛		2024.01.19マイステイズ松山	保険代理店の現在・過去・未来 ～「保険代理店4.0」を考える日本損害保険代理業協会 アドバイザー 栗山泰史 氏	46
愛媛		2023.09.29えびたホール	防災・相続の基礎知識/火事損害について弁護士 古澤康治 氏、赤瀬慧 氏、山下統平 氏	23
愛媛		2023.08.24愛媛県勤労会館	生命保険証券診断士®資格取得のためのオープンセミナー-般社団法人 生命保険証券診断士協会 診断士 藤原宏明 氏	6
愛媛		2023.06.02ホテルマイステイズ松山	習近平氏3期目の中国と香港、そして海外から見た日本朝日新聞 国際報道部次長 中国担当デスク 奥寺淳 氏	39
福岡		2024.01.25アークホテルロイヤル福岡天神	損保業界がまた立てられている大きな曲がり角・この先の未来に何を視るのか?福岡大学商学部教授・保険アナリスト 植村信保 氏	295
福岡		2023.09.01福岡・小倉・久留米・筑豊(4会場)	代理店賠償セミナー (4会場を結んでのWEBによるサテライト方式) 杉山幹久 氏 (元Chubb損害保険㈱ 営業開発本部長)	207
福岡	福岡東	2024.03.15福岡市立中央市民センター	生命保険会社の売れ筋・イチ押し プレ全大会オリックス生命・ジブラルタ生命・ソニー生命・日本生命・メットライフ生命保険の各営業担当者	46
福岡	福岡東	2024.02.16メットライフ生命 (博多三井ビル)	雇用主は要注意、「年収130万円の壁」についてグレースアップ社会保険労務士事務所 園田京子 氏	38
福岡	福岡東	2023.07.28第一生命保険会社	会社を成長させる人事評価制度(株)日本経営 黒木寛隆 氏	40
福岡	久留米	2024.02.26ホテルニュープラザ久留米	お客様の高齢化をチャンスに変える仕組みとはほけんプラザエイブス 代表取締役 田切裕二 氏、ほけんプラザエイブス 副社長 安藤将之 氏	78
福岡	久留米	2023.07.25ホテルニュープラザ久留米	保険会社のエリアトップにズバリ聞く 「自動車?新種生保?」東海 小柳支社長・損保ジャパン 大川支社長・三井住友 岩尾支社長	65
福岡	久留米	2023.05.26アークホテルロイヤル天神福岡	顧客本位の業務運営と保険代理店経営の未来予想図元金融庁長官 遠藤俊英 氏	295
福岡	筑豊	2023.08.18飯塚研究開発センター	アンガーマネジメント研修 江藤石油(株) 大谷善理 氏	35
福岡	北九州東	2023.12.06小倉リーセントホテル	弁護士から見た弁護士費用の裏側・代理店手数料ポイント制度は、独占禁止法に抵触する?たくみ法律事務所 北九州オフィス所長 桑原淳弁護士	36
大分		2023.05.29大分県労働福祉会館ソレイユ	代理店経営を直撃する新たな保険行政の動き～保険代理店に近づく金融～日本代協アドバイザー 栗山泰史 氏	57
長崎		2023.08.18長崎県立美術館	第3回リアルdeなんでも相談会長崎県協役員4名・福岡県代協 副会長 沖田徳明 氏	30
長崎		2023.05.26ホテルニュー長崎	10年度も選ばれる代理店を目指して～供給主体型からビジョン共有型への変換～Hands-Onコンサルティング 代表 野元敏昭 氏	53
宮崎		2024.02.22アートホテル宮崎スカイタワー	RPA+Kintone活用による生産性向上株式会社グッド・サポート 代表取締役 中島克海 氏	56
宮崎		2024.01.18ニューウェルシティ宮崎	新春セミナー ダイナミックシンキング～新しき時代の幕開けと、その変化に対応～霧島酒造(株) 代表取締役専務 江夏拓三 氏	95
宮崎		2023.10.20ニューウェルシティ宮崎	みるみるファンが増えていく!接客×笑いの法則(一社)日本クレーム対応協会 代表理事 谷厚志 氏	62
宮崎		2023.09.15ニューウェルシティ宮崎	保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	62
宮崎	県北	2024.02.09門川クリエイティブセンター	空き家対策住まいのサポート NPO法人 Rim-Link-(リムリンク) 代表理事 岡村 氏、日向市役所 建設部建設住宅課住宅政策係 西澤 氏	18
熊本		2024.02.15熊本市民会館シアーズホーム夢ホール	サイバー攻撃の現状と対策八雲法律事務所 弁護士 山岡裕明 様	44
熊本		2024.01.12メルパルク熊本	これからの代理店経営～顧客本位の業務運営と経営力の向上を目指して～一般社団法人日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 様	56
熊本		2023.05.19メルパルク熊本	最強のチームづくりへの挑戦(株)ハイコム 代表取締役 甲斐大重 様	49
鹿児島		2024.02.08あいおいニッセイ同和 鹿児島支店	保険代理店の賠償責任と最近の事故例!元Chubb損害保険株式会社 杉山幹久 氏、Gest 日本代協 副会長 中島克海 氏	22
沖縄		2024.02.13あいおいニッセイ同和 沖縄支店	ジギョウイ研修「事業継続力強化計画」を作成しましょう!あいおいニッセイ同和損保(株) マーケティング部開発部市場開発 横山肇一 氏、三井住友海上あいおい生命(株) 石丸雅典 氏	32

## 人材育成研修会

主催	開催年月日 会場	演題と講師	参加者数
北東北	2023.09.22 ALVE秋田拠点センター	これからの代理店経営～顧客本位の業務運営と経営力の向上を目指して～ 日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏	26
新潟	上越 2023.11.10 高田ターミナルホテル	1. 代協の現状と課題 2. 最近流行りの中間管理職研修を体験してみよう～チーム対抗戦 あなたのチームは優良企業になれるのか！～ 1. 日本損害保険代理業協会 組織委員長 藤山裕介 氏 2. 新潟県損害保険代理業協会 上越支部長 山田時代 氏	30
東海	2023.11.22 プラトンホテル四日市	東海ブロック若手育成研修会 日本代協組織委員長 藤山 氏	30
東関東	2023.10.27 大宮ソニックシティ国際会議室	AI時代における保険代理店DXの可能性とは 日本代協アドバイザー 土' 川尚己 氏	65
東京	2023.10.27 損保会館	1. 「代協の現状と課題」の学習 2. 特別セミナー パネルディスカッション「活力ある代理店制度研究会」から考察する代理店の未来 1. 大橋教育委員 2. 金子智明氏(東京代協顧問 日本代協名誉会長)・小平高義氏(東京代協顧問 全国損害保険代理業政治連盟会長)	30
愛知	2023.07.07 トヨタ労連つどいの丘	1. 日本代協の使命と役割 2. 支部の活性化 1. 日本代協担当理事 下村文則 氏 2. 愛知県代協会長 橋本浩 氏	24
三重	2023.06.28 第一ビル会議室	支部会カンファレンス 会長、専務理事、支部担当理事、DX担当理事、会計、総務委員会	26
三重	2023.06.21 第一ビル会議室	委員会カンファレンス 専務理事、常務理事、会計、総務委員会	21
近畿	2023.03.27 ハートンホテル京都	1. 保険事業を取り巻く環境変化と代理店のミライ 2. 仲間づくり、横のつながり、縦のつながり 3. 簡単！すぐできる！自分を変えるメンタル催眠心理 1. 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 元専務理事 野本敏昭 氏 2. 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 組織委員長 藤山裕介 氏 3. 催眠心理士 中井英史 氏	45
阪神	2023.10.6～10.7 しあわせの村 研修施設「あおぞら」	テーマ『代理店の未来を創造する』 2. 日本代協組織委員長 藤山裕介 氏 1. 代協活動を自社の代理店に活かす 2. 保険代理店と保険会社のミライ 1. 日本代協阪神ブロック担当副会長 小俣藤夫 氏	52
大阪	2023.06.08 あいおいニッセイ同和フェニックスタワービル	委員オリエンテーション 1. 保険業界の変化と着眼点 2. なぜ私たちに代協が必要なのか 1. 京都代協 会長 安井義幸 氏 2. 大阪代協 会長 新谷香代子 氏	67
東中国	2023.09.27 岡山シティミュージアム・倉吉未来中心・損害保険ジャパン松江支社・損害保険ジャパン浜田支社	1. 代理店賠償セミナー 2. 代理店賠償の必要性 1. 元Chubb(チャブ)損害保険(株) 杉山幹久 氏 2. 日本損害保険代理業協会 理事 組織委員長 藤山 裕介 氏	80
岡山	2023.10.17 損害保険ジャパン 岡山支店	サイバーセキュリティセミナー 1. サイバー犯罪の情勢・対策の講話 2. サイバー犯罪被害の体験・デモンストレーション 岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課	34
岡山	2023.09.21 津山圏域雇用労働センター	津山圏域雇用労働センター コミュニケーションスキルアップ術 岡山コミュニケーション研修講演企画 代表 稲田尚久 氏	48
四国	2023.12.01 えひめ共催会館	1. 事業継続力強化計画について 2. 経営者の多くが気づいていない自社株式の問題と事業継承税制の特例の活用法について 1. 三井住友あいおい生命 営業教育企画部 教育トレーナー室課長 大内一周 氏 2. 三井住友あいおい生命 営業教育企画部 経営コンサルティンググループ課長 山道卓郎 氏	36
九州南	2023.10.06 青島サンクマール	1. 代協活動の現状と課 2. 地域の未来と代理店のミライ 1. 日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏 2. (株) 粕谷企画 代協取締役 粕谷智 氏	45

## 新入会員オリエンテーション

主催	開催年月日	会場	演題と講師	参加者数(名)	
青森	2023.05.12	ホテル青森	新入会員オリエンテーション 会長:五戸安行 専務理事:根城秀峰 教育委員長:小向猛徳 組織委員長:北上忠光 CSR委員長:比内理佑 広報委員長:成田学	6	
やまがた	最北	2023.05.25	(株)カキザキ 保険部	新入会員オリエンテーション 最北支部長	3
福島	2023.10.12	ベルヴィ郡山館(オンライン同時開催)	1. 福島代協および収益事業について 2. 代理店賠償、日本代協アカデミーについて 3. セミナー「～アフターコロナで生き残る～ 代理店のビジネススタイル変革」 1. 2. 福島代協会長、各委員会担当委員長、各収益事業担当者 3. あいおいニッセイ同和損保 原直人 常務	72	
神奈川	2023.09.28	あいおいニッセイ同和損保 横浜ビル	代理店賠償セミナー&会員オリエンテーション 代理店賠償セミナー講師 杉山幹久氏(日本代協新プラン委託講師)	55	
山梨	2023.10.26	Zoomミーティング	2023年度新入会員オリエンテーション 山梨代協組織委員長 堀山靖之氏、山梨代協役員	4	
三重	2024.02.22	第一ビル会議室	1.代協の組織と活動内容 2.委員会活動 3.支部活動 4.日本代協アカデミー 5.政治連盟 1.片岡専務理事 2.久村教育副委員長、伊藤広報委員長、藤岡組織財務委員長、柴原企画環境委員長、石川CSR委員長、乾総務委員長 3.斎藤四日市支部長、中川鈴亀支部長、森津支部長、野田松阪支部長 4.久村教育副委員長 5.田中監事	28	
石川	2024.01.19	Zoomミーティング	代協活動の現状と課題、その活用 石川県代協組織委員長 小酒廣士氏	3	
福井	2023.10.19	福井県代協事務局	会員研修会(福井県代協活動のご紹介) 日本代協地域担当理事、福井県代協役員	20	
京都	2023.10.18	灯	1.なぜ私たちに代協が必要なのか?(大阪代協 2021年度全国組織委員会オリエンテーションより動画拝聴) 2.代協活動の現状と課題、その活用 ～京都代協について～ 1.日本損害保険代理業協会副会長(前大阪代協会長)山中尚氏 2.京都損害保険代理業協会 会長 安井義幸氏	25	
奈良	2023.08.18	大和信用金庫 八木支店会議室	新入会員にわかってほしい代協・保険会社にわかってほしい代協 日本代協 組織委員長 藤山裕介氏	57	
大阪	東	2023.05.22	新入会員事務所(日東ビジネスエクスパート様)	新入会員オリエンテーション 東支部組織委員 他	3
大阪	北摂	2023.12.07	新入会員事務所(サーフネット総合保険事務所様)	代協メリットを説明 北摂支部組織委員	2
大阪	京阪	2024.03.08	新入会員事務所(O'Zライフコンサルティング様)	代協活動と、メリットを中心に新入会員オリエンテーションを実施 京阪支部組織委員	2
大阪	船場	2024.03.04	新入会員事務所(ホケンサービス様)	代協活動内容及びメリット 船場支部組織委員	2
大阪	船場	2024.02.01	新入会員事務所(小浦石油様)	代協組織とメリットなどをメインに新入会員オリエンテーションを実施 船場支部組織委員	2
大阪	船場	2023.11.28	新入会員事務所(南シルバー自動車様)	代協活動内容及びメリットをメインに新入会員オリエンテーションを実施 船場支部組織委員	2
大阪	船場	2023.09.29	新入会員事務所(医歯薬ネット様)	代協のメリット、組織を説明し新入会員オリエンテーションを実施 船場支部組織委員	2
大阪	船場	2023.09.19	新入会員事務所(TIKコンサルティング様)	代協活動内容及びメリットをメインに新入会員オリエンテーションを実施 船場支部組織委員/他	6
大阪	船場	2023.05.16	新入会員事務所(ナカジュク様)	代協組織とメリットなど代協の魅力の説明 船場支部組織委員	2
大阪	東大阪	2023.10.06	新入会員事務所(高田オート様)	代協のメリット、組織をメインに新入会員オリエンテーションを実施 東大阪支部支部長・組織委員	3
大阪	東大阪	2023.06.27	新入会員事務所(辻野モータース様)	代協活動内容及びメリットをメインに新入会員オリエンテーションを実施 東大阪支部長と組織委員	3
大阪	堺	2023.10.12	新入会員事務所(親和自動車商会様)	代協組織とメリットをメインに新入会員オリエンテーションを実施 堺支部組織委員	2
大阪	堺	2023.06.12	新入会員事務所(日研自動車商会様)	「代協活動の現状と課題」をもとに新入会員オリエンテーションを実施 堺支部事業活性化委員	2
大阪	堺	2023.05.18	新入会員事務所(メイト様)	「代協活動の現状と課題」をもとにオリエンテーションを実施 堺支部事業活性化委員	2
大阪	和泉	2023.10.02	新入会員事務所(M&T保険プラザ様)	代協活動の現状と課題を手渡し、代協組織とメリットなど代協の魅力の説明 和泉支部支部長	2
兵庫	2023.12.06	レンタルスペースジェム	1.日本代協と兵庫県代協～代協活動の現状と課題 2.政治連盟の意義と活動 3.各委員会の活動について 会長、各委員長、相談役	3	
佐賀	2023.09.08	あいおいニッセイ同和 佐賀支店	1.自然災害への備えと事業継続力強化計画について 2.ワークショップ「事業継続力強化計画」作成 1.あいおいニッセイ同和損保 マーケット開発部市場開発室 横山肇一氏 2.三井住友海上あいおい生命 佐賀生保支社 支社長 池田光太氏	16	
宮崎	2023.09.15	ニューウェルシティ宮崎	1.「日本代協・宮崎県代協について説明」 2.各種委員会活動説明(2023年度事業計画) 1.高石会長 2.企画環境委員会 栗山副会長、教育委員会 徳丸副会長、組織委員会 小川副会長、事業広報委員会 高山副会長、CSR委員会 中村副会長、樋口専務理事	21	

# 公開講座

主催	共催後援	開催年月日		演題と講師	参加者数 (名)
		会場			
北海道	函館 特定非営利活動法人函館消費者協会	2023.05.23	サンリフレ書館	損害保険の基礎知識函館支部 教育副委員長 武田匡史 氏	10
上信越	主催 新潟代協	2023.10.14	長岡市立劇場	がんの早期発見と陽子線治療セミナー 総合東北南病院 南東北がん陽子線治療センター 診療放射線科 技師長 鎌谷勝 氏	64
長野	中信/ 諏訪	2024.02.03	松本市勤労者福祉センター	「避難所運営を体験してみよう」松本市の出前講座「避難所 HUG(避難所運営ゲーム)」を行い、ゲーム感覚で避難所運営を学習松本市危機管理部 危機管理課 山崎佳典 氏	60
埼玉		2023.10.05	大宮ソニックシティ	1.自筆証書遺言書保管制度のご案内 2.弁護士から見た遺言書の作成1.さいたま地方法務局 供託課 田村好弘 氏 2.弁護士法人てんとむし法律事務所 虫鹿隆志 氏	64
愛知		2023.11.07	ウインクあいち	働き方改革推進支援セミナー 「テレビの舞台裏から見える働き方改革:現場の実体験と未来への展望」小西美穂 氏	53
三重	東海ブロック協議会	2023.10.12	アストホール	人的資本経営と働き方改革事業構想大学院大学学長 三重大学理事 田中里沙 氏	135
北陸	後援 福井県、福井新聞社	2024.03.02	福井新聞社風の森ホール	ふくいフルマラソンがやってくるランランラン「マラソンの楽しみ方講座」ふくい桜マラソン実行委員会副会長 (福井県文化・スポーツ局長) 猪嶋宏記 氏、O/Nズ ランニングクラブ 代表 大南博美 氏、フリーアナウンサー 松川秀仁 氏	80
近畿	主幹 奈良県代協 後援 京都代協 滋賀県代協	2024.02.21	奈良県コンベンションセンター	映像に学ぶ 減災のヒント「奈良に大仏がある理由 歴史に学ぶ減災の知恵」木戸崇之 氏	100
阪神		2024.02.20	和歌山城ホール	サイバー犯罪対策セミナー和歌山県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課課長補佐 和歌山県警部 藤田大輝 氏、和歌山県情報通信部情報技術解析課 情報技術解析指導官 當山善三 氏	200
鳥取	日本損害保険協会鳥取損保会 共催	2024.01.17	倉吉体育文化会館	山陰の地震と日本列島の大地変鳥取大学名誉教授 鳥取県防災顧問 山陰海岸ジオパーク協議会学術顧問 西田良平 氏	45
西中国	主催 西中国ブロック協議会、共催 特定非営利活動法人 日本FP協会 広島支部	2023.09.09	RCC文化センター	いったいいくら?教育資金~貯めるためのコツ~阪口小夜子 氏 (CFP®認定者)	22
山口	山口	2023.08.10	サンプレッシュ山口	自主防災活動の大切さ山口大学 名誉教授 山本晴彦 氏	9
大分	後援:大分市・NHK大分放送局・大分合同新聞社・日本損害保険協会大分損保会	2023.10.28	J:COMホルトホール大分3F 大会議室	防災セミナー 1.温故知新と居安思危で 大地震を凌ぎ 転禍為福 2.大分県代協の社会貢献活動のご紹介1.名古屋大学 名誉教授 福和伸夫 氏 2.大分県代協CSR委員長 三浦、ボラリス児童クラブのみなさん	120
九州南		2023.07.08	熊本城ホール	1.危機管理と自治体 ~熊本県の取組紹介~ 2.南海トラフ地震被害想定と行政の対応1.損害保険ジャパン(株)法人支社担当課長、出向先 熊本県知事公室危機管理防災課地域防災推進班 桜井一考 氏 2.熊本県知事公室危機管理防災課 危機管理防災企画監 三冢本勝志 氏	36

## 地球環境保全活動

主催	開催年月日	タイトル	内容	参加者	
北海道	室蘭	2023.09.06	知利別川沿岸清掃ボランティア	知利別川周辺の清掃活動、10名参加	10
青森	十和田	2023.08.27	「第38回奥入瀬川クリーン作戦」への参加	奥入瀬川クリーン協議会主催、奥入瀬川付近の清掃活動、7名参加	7
岩手	盛岡	2023.04.14	クリーンアップキャンペーン	国土交通省東北地方整備局主催、「北上川流域一斉清掃活動」（盛岡南大橋下）に参加、会員・保険会社社員 合計30名参加	30
岩手	県南	2023.10.29	クリーンアップキャンペーン	北上展勝地レストハウス周辺にて、県南支部会員・保険会社社員 合計15名参加	15
岩手	久慈	2023.06.11	クリーンアップキャンペーン	久慈支部・久慈倫理法人会 共催、舟渡海岸にて、合計20名参加	20
秋田	県北	2023.10.01	植樹ボランティア	NPO白神ネイチャー協会主催のブナ植樹ボランティアに能代地区会員1名参加	1
宮城	仙台北	2023.10.14	七北田川河川清掃	泉区松森ふるさと村近辺、10名参加	10
宮城	仙台北	2023.05.13	七北田川河川清掃	泉区松森ふるさと村周辺清掃、7名参加	7
やまがた	庄内酒田	2023.11.11	第24回砂防林を育てよう	山形県庄内総合支庁主催、酒田市美術館南側のマツ林の下刈り・つる切り・除伐等活、2名参加	2
やまがた	庄内酒田	2023.09.23	「光ヶ丘松林整備ボランティア」出羽庄内公益の森づくり事業	酒田市・山形県庄内総合支庁主催、光ヶ丘松林整備ボランティア(光ヶ丘公園・万里の松原)参加者1名	1
やまがた	庄内酒田	2023.06.24	「光ヶ丘松林整備ボランティア」出羽庄内公益の森づくり事業	酒田市・山形県庄内総合支庁主催、光ヶ丘松林整備ボランティア(光ヶ丘屋内プール前)参加者1名	1
福島	会津	2023.10.28	漂着水草回収活動	猪苗代湖天神浜にて、15名参加	15
福島	相双	2023.11.11	清掃活動	損保ジャパン原町営業所から旭公園前にて、21名参加	21
新潟		2023.11.03	弥彦神社清掃	会員18名、保険会社5名参加	23
新潟		2023.09.02	関屋浜海岸清掃	会員3名参加	3
長野	飯田	2023.07.19	飯田市大宮桜並木通り清掃活動	飯田支部会員、保険会社社員 合計17名参加	17
茨城	鹿行	2023.12.09	第12回鹿島神宮清掃ボランティア	鹿島神宮境内および参道にて、会員及び家族、保険会社社員、提携業者 99名参加	99
千葉	茂原	2023.07.21	茂原駅クリーン活動	茂原駅前清掃、21名参加	21
千葉	安房	2023.07.15	第5回那古海岸クリーン作戦	代協会員、家族・保険会社・海岸の利用者等 約35名参加	35
千葉	京葉	2023.11.19	第43回「船橋をきれいにする日」	船橋駅周辺の清掃活動、9名参加	9
山梨		2023.09.03	「未来の荒川をつくる会」清掃活動	甲府市千秋橋付近にて、10名参加	10
山梨		2023.08.06	「未来の荒川をつくる会」清掃活動	甲府市平瀬浄水場にて、10名参加	10
愛知		2023.11.11	熱田神宮清掃奉仕活動	熱田神宮清掃奉仕活動、132名参加（保険会社・賛助会員含む）	132
愛知		2023.10.21	豊川稲荷清掃奉仕活動	会員・賛助会員・保険会社による清掃活動、107名参加	107
岐阜		2023.10.22	第3回 長良川を美しくしよう運動	長良川鶴岡閉幕後の清掃ボランティアに会員、会員家族7名参加	7
岐阜		2023.08.12	第2回 長良川を美しくしよう運動	長良川花火大会後の清掃ボランティアに会員、会員家族12名参加	12
岐阜		2023.04.16	第1回 長良川を美しくしよう運動	長良川鶴岡閉幕を前にした清掃ボランティアに会員、会員家族11名参加	11
三重	四日市	2023.06.16	諏訪公園清掃	諏訪公園清掃活動、34名参加	34
三重	鈴鹿	2023.07.14	海岸清掃	河芸海岸にて清掃活動、43名参加	43
三重	津	2023.07.16	S D G s 実践(14番 海の豊かさを守ろう) + 地球環境保護活動	「NPO法人町屋百人衆」の海岸清掃に協力参加、33名参加	33
石川		2024.03.14	寄付金贈呈	NPO法人世界の砂漠を緑で包む会へ寄付金贈呈	-
石川		2023.09.30	クリーンビーチ in 能登	輪島市沖ヶ浜海水浴場にて、会員・保険会社社員 合計51名参加	51
石川		2023.06.24	森林保護活動(下草刈り作業)	石川県森林公園にて、会員8名参加	8
滋賀		2023.09.02	びわ湖外来魚駆除釣り大会	湖岸緑地 志那2エリアにて、228名参加	228
奈良		2023.10.14	2023クリーンキャンペーン古都なら	京奈良駅から奈良公園までを約1時間かけて清掃、会員、賛助会員、各保険会社社員の方々 135名参加	135
兵庫		2023.09.23	須磨浦海岸ビーチクリーン作戦	神戸海さくら主催、須磨浦海岸清掃活動、10名参加	10
兵庫		2023.04.29	姫路城みどりの美化キャンペーン	姫路のまちを美しくする運動協議会主催、姫路大手前通りから姫路城周辺にてごみ拾い、5名参加	5
岡山		2023.06.24	西川・枝川クリーン作戦	岡山市北区西川・枝川周辺清掃活動、70名参加	70
岡山	岡山東	2024.03.09	百間川清掃活動	百間川緑地公園自由広場付近の清掃活動、17名参加	17
岡山	倉敷南	2024.03.10	鷲羽山の景観を考える会ボランティア清掃活動	鷲羽山展望台周辺清掃、11名参加	11
鳥取		2024.03.07	NPO法人未来守りネットワークへの寄付金贈呈	募金活動での12,297円、鳥取県代協より30,000円を寄付	-
鳥取	米子	2023.06.11	中海・穴道湖一斉清掃	米子市主催、米子市湊山公園にて、21名参加	21
鳥取	倉吉	2023.05.21	東郷池一斉清掃	鳥取県東伯郡湯梨浜町役場主催、5名参加	5
鳥取	鳥取	2023.04.16	鳥取砂丘一斉清掃	鳥取砂丘美化運動協議会主催、15名参加	15
島根		2024.02.10	穴道湖西岸ヨシ刈り取りボランティア活動	島根県が推進する穴道湖水改善事業の一環として、西岸に生息する「ヨシ」を毎年12〜3月に刈り取るボランティア活動に参加	-
島根		2023.06.11	穴道湖・中海一斉清掃	松江市主催 地元企業・団体の自主参加による穴道湖・中海園の沿岸一斉清掃、18名参加	18
広島		2023.07.13	広島平和記念公園清掃活動	平和記念公園周辺にて、44名参加	44
山口	下関	2024.03.23	火の山公園清掃	山口県下関市「瀬戸内海国立公園・火の山」山頂付近にて、12名参加	12
山口	下関	2023.06.04	しものせきびかびかキャンペーン	下関市唐戸界隈の路上、公園にて、2名参加	2
山口	山口	2023.10.29	県美の森づくり	山口県立美術館 中庭にて、4名参加	4
山口	周南	2023.10.07	ツルのねぐら整備	周南市 鶴いごいの里にて、3名参加	3
愛媛		2023.11.12	石手川ダム上流域の河川等清掃ボランティア	松山市民の飲み水の約半分を賄っている石手川ダムの水質保全を図るため、石手川ダム上流域の河川及び周辺道路の清掃を実施、17名参加	17
愛媛	南予	2023.10.07	クリーン新宇和島2023清掃ボランティア	宇和島駅周辺の清掃、3名参加	3
高知		2023.05.27	仁淀川清掃活動	日本損害保険協会四国支部高知損保会共催、会員・保険会社社員・ご家族104名参加	104
福岡		2023.06.11	ラブアース クリーンアップ2023	百道浜海岸・福津海岸での清掃活動、約70名参加	70
福岡	久留米	2024.03.09	筑後川清掃活動	久留米支部会員・家族および保険会社社員との河川清掃活動、60名参加	60
福岡	久留米	2023.09.09	筑後川清掃活動	久留米支部会員・家族・保険会社社員参加しての河川清掃活動、50名参加	50
佐賀		2023.09.09	清掃活動	J R 佐賀駅周辺にて清掃活動、9名参加	9
宮崎		2023.11.11	第15回宮崎市海岸清掃活動	サンビーチ一ツ葉にて、204名参加	204
熊本		2023.10.22	やつしろ全国花火競技大会後の清掃活動	球磨川河川敷にてごみの分別、会員・保険会社社員 合計22名参加	22
熊本		2023.08.06	八代くま川祭り翌日清掃活動	お祭りだてん館(船場通り) 付近一帯にてごみの分別、会員・保険会社社員 合計20名参加	20
鹿児島		2023.07.01	奄美大浜海岸清掃活動	奄美大島大浜海岸にて、5名参加、保険会社等合計約50名で実施	50
沖縄		2024.03.17	ビーチクリーン清掃活動	損保協会沖縄支部主催、瀬長島ビーチにて清掃活動、10名参加	10
沖縄		2023.11.11	ビーチクリーン清掃活動	西原きらきらビーチにて、代協会員・保険会社社員 合計92名参加	92

## 地域社会貢献活動

主催	開催年月日	タイトル	内容	
北海道	札幌	2023.06.06	無保険車追放キャンペーン	J R北広島駅前（エスコフィールドHOKKAIDO付近）にて自賠責保険・共済ご案内リーフレットを配布、支部会員・日本損害保険協会・東京海上日動火災保険・共栄火災海
北海道	室蘭	2023.06.22	無保険車追放キャンペーン&地震保険啓発・普及	室蘭市中島町「ショッピングセンター・モルエ中島」にて自賠責保険・地震保険それぞれ
北海道	旭川	2023.06.30	北見地区無保険車追放キャンペーン	北見、網走、紋別地区連絡会に合わせ、北見市バスターミナル前にて自賠責保険推進チラシとティッシュの配布、9名参加
北海道	旭川	2023.05.23	無保険車追放キャンペーン	旭川市買物公園にて啓発チラシ（ティッシュ）を100部配布、会員7名旭川運輸局より2名の合計9名で実施
北海道	旭川	2023.05.09	タオルボランティア	支部会員より募ったタオル200本を重度障がい児支援花色へ寄贈
北海道	小樽	2023.06.23	無保険車追放キャンペーン	小樽市サンモール一番街前にてリーフレット付ティッシュを配布、7名参加
北海道	苫小牧	2023.09.13	地震保険啓発・普及キャンペーン	王子不動産センタービル前にてリーフレット付ティッシュを配布、会員6人参加
北海道	苫小牧	2023.07.19	無保険車追放キャンペーン	苫小牧MEGAドン・キホーテ付近にてリーフレット付ティッシュを配布、6名参加
北海道	函館	2023.05.19	無保険車追放・交通安全キャンペーン	MEGAドン・キホーテ函館店前にて安全運転の呼び掛け・自賠責保険チラシ配布、会員13名損保会2名北海道運輸局1名・合計16名参加
北海道	釧路	2023.08.05	釧路支部地震保険普及活動 くしろ港まつり舟漕ぎ大会参加	常舞橋上流にて開催の舟漕ぎ大会にチーム名「あっ！地震！！入っていますか地震保険！！」の旗を掲げ12名で参加
北海道	釧路	2023.07.07	釧路支部交通安全啓蒙活動『旗の波』	国道38号線鳥取大通2丁目（アークス鳥取店）前にて、支部会員・保険会社社員合計36名参加
青森		2023.11.28	子供・女性見守りスキルアップ研修会	青森県警察本部生活安全企画課主催、デーリー東北新聞社にて、1名参加
青森		2023.11.22	子供・女性見守りスキルアップ研修会	青森県警察本部生活安全企画課主催、青森県社会教育センターにて、1名参加
青森		2023.10.25	第32回暴力団追放・銃器薬物根絶青森県民大会	公益財団法人青森県暴力追放県民センター主催、リンクモア平安閣市民ホールにて、3名参加
青森	弘前/五所川原	2023.10.04	無保険車追放キャンペーン	弘前市イトーヨーカドー前並びにヒロ口前にてリーフレット付きティッシュ600部を配布、弘前・五所川原支部会員12名、保険会社社員6名参加
青森	五所川原	2023.07.28	普通救命講習会	五所川原消防署にて、18名参加
岩手		2024.03.11	寄付金・使用済切手・書き損じはがき贈呈	総会時に募った募金22,038円と会員・保険会社より募った使用済切手4,930枚、書き損じはがき147枚を岩手県社会福祉協議会へ贈呈
岩手		2024.02.16	高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」	千歳高等学校にて生徒・教職員152名参加
岩手		2023.12.21	高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」	花北青雲高等学校にて生徒・教職員136名参加
岩手		2023.12.06	高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」	久慈東高等学校にて、生徒・教職員 150名参加
岩手		2023.11.20	高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」	盛岡市立高等学校にて、生徒・教職員 257名参加
岩手		2023.11.08	高校出前授業「車社会に出る高校生の君たちへ」	水沢農業高等学校にて、生徒・職員39名参加
岩手		2023.11.01	献血運動	岩手県内各献血場所にて（2023.11.1～11.15）、会員・保険会社社員10名参加
岩手	盛岡	2023.12.01	飲酒運転撲滅街頭キャンペーン	盛岡市大通交差点にて、飲酒運転撲滅リーフレット260部配布、盛岡東警察署員・盛岡支部会員・保険会社社員 合計28名参加
岩手	盛岡	2023.10.25	普通救命・AED講習会	ピックルーフ滝沢にて、講師・導 滝沢消防署員、盛岡支部会員10名参加
岩手	盛岡	2023.10.24	地震保険啓発・普及キャンペーン	盛岡駅構内（建物外）にてキャンペーンリーフレット600部配布、会員・保険会社社員合計32名参加
岩手	盛岡	2023.09.26	無保険車追放キャンペーン	盛岡駅構内（建物外）にてキャンペーンリーフレット600部配布、会員・保険会社社員・国交省職員、合計32名参加
岩手	県南	2023.10.29	地震保険啓発・普及キャンペーン	イオン前沢にて、キャンペーンリーフレット300部配布
秋田	県北	2024.03.21	交通安全のぼり旗寄贈	交通安全のぼり旗寄贈式にて、大館地区交通安全協会へ交通安全のぼり旗を74枚寄贈
秋田	中央	2023.11.29	チャリティパーティ	秋田キャッスルホテルで開催したチャリティパーティーでの募金38,020円を2023年7
秋田	中央	2023.09.21	無保険車追放キャンペーン	秋田駅前ぼほろーどにてリーフレット付きティッシュを配布、会員・秋田運輸局7名参加
宮城		2023.09.28	無保険車追放キャンペーン	パピナ名掛丁商店街入口付近と青葉通野村證券付近歩道にて、宮城県運輸局担当2名・宮城代協13名参加
宮城	仙台北/仙台東/仙台南	2023.09.21	秋の交通安全県民総ぐるみ運動出発式	宮城県交通安全対策協議会主催、（雨天の為）宮城県県庁行政庁舎1階ロビーにて、6名参加
やまがた	山形	2023.11.28	地震保険啓発普及キャンペーン	山交ビル（山形市）玄関付近にてリーフレット・ポケットティッシュを配布、参加者6名。
福島	郡山	2023.11.11	献血活動	イオンタウン郡山にて、受付66名・採血62名
福島	福島	2023.11.11	無保険車追放キャンペーン	福島駅東口広場にて、9名参加
福島	福島	2023.11.11	献血活動	福島駅東口広場にて、受付54名・採血52名
福島	福島	2023.09.20	秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン	福島駅東口駅前広場にて、7名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
福島	白河	2023.11.03	地震保険普及キャンペーン	メガステージ白河にて、会員12名・保険会社7名参加
福島	白河	2023.11.03	献血活動	メガステージ白河にて、受付67名・採血61名
新潟		2023.10.23	地震保険キャンペーン	新潟・三条支部 スーパー原信にて配布、長岡支部セミナー参加者に配布、上越支部SDGs イベントにて配布
新潟		2023.09.23	「安全運転チャレンジ100」協賛	新潟県交通安全対策連絡協議会「安全運転チャレンジ100」に協賛
新潟		2023.09.23	無保険車追放キャンペーン	大学・専門学校合計4校にティッシュを設置
長野	北信	2023.12.09	地震保険啓発普及キャンペーン・善光寺びんずる市	防災グッズ手作りコーナーを設けたブースを出展し、地震保険の普及、防災の啓発活動を実施、10名参加
長野	諏訪	2023.11.22	秋季献血活動	カルチャーホームすむ諏訪文化センター敷地内にて、受付23名、献血者数20名
長野	諏訪	2023.09.21	無保険車追放キャンペーン	秋の交通安全運動内でのPR及び茅野自動車学校、諏訪中央自動車学校、岡谷自動車学校
長野	諏訪	2023.07.14	夏季献血活動	カルチャーホームすむ諏訪文化センター敷地内にて、受付19名、献血者数14名
長野	飯田	2023.11.30	救急救命講習会	飯田消防署内にて、支部会員・保険会社14名参加
栃木		2023.11.05	地震保険普及キャンペーン	バンパ通りにてリーフレット付ティッシュを配布、7名参加
栃木		2023.09.29	無保険バイク追放キャンペーン	JR宇都宮駅前にてリーフレット付ティッシュを配布、陸運事務所職員1名、会員7名参加
栃木	両毛	2024.02.07	献血活動	足利市ビバモール足利堀込店にて、36名参加
栃木	宇都宮	2023.11.01	献血活動	11月1日より1ヶ月間、各自献血センターにて、合計20名
栃木	宇都宮	2023.10.06	みんなで落語を楽しむ会	とちぎ福祉プラザにて、120名参加
茨城		2023.10.18	第2回茨城県代協チャリティゴルフコンペ	会員、保険会社社員、提携業者を迎えてチャリティゴルフコンペを開催、チャリティ金を茨城新聞社に寄付
茨城		2023.09.29	自賠責保険無保険車追放キャンペーン	水戸駅南口にてリーフレット・ティッシュを街頭配布 16名参加
茨城	水戸	2024.01.24	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立那珂高等学校3年生を対象に車社会に出る際の心構え等の講座を開催、高校3年生150名、教員4名、代協会員3名参加
茨城	水戸	2024.01.10	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立水戸農業高等学校にて、参加者 3年生272名、教員8名、代協会員3名
茨城	水戸	2023.11.20	地震保険啓発普及キャンペーン	地震保険チラシ・ティッシュ600個を水戸駅南口ペDESTリアンデッキにて配布、18名参加
茨城	水戸	2023.11.15	高校生出前講座	茨城県立笠間高等学校3年生を対象に、保険の基礎知識、交通事故について事故の際の責任等を伝える授業を開催、3年生150名、教員8名、代協会員6名・栃木代協4名・埼玉代協2名参加
茨城	土浦	2024.01.11	高校出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立筑波高校にて、3年生40名 教員5名 代協会員2名 参加
茨城	土浦	2023.11.02	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立牛久高校にて、高校3年生41名、教員1名、代協理事3名参加
茨城	土浦/県西	2023.10.23	地震保険啓発普及キャンペーン	つくばエクスプレスつくば駅周辺にて、リーフレットを配布、6名参加
茨城	県西	2024.01.15	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立古河第二高等学校にて、3年生200名 教員9名 代協会員3名 参加
茨城	県西	2023.12.11	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立下館第二高等学校にて、電子黒板・ZOOMを使い各教室へ配信し、安全運転に関する講座、高校3年生240名、教員7名、代協会員3名
茨城	県西	2023.11.14	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立明野高校3年生を対象に1時間の講義。高校3年生15名、教員3名、代協理事3名参加
茨城	県西	2023.10.02	出前講座	茨城県立八千代高等学校にて、高校3年生を対象に「車社会へ出る高校生の君たちへ」1時間講義 174名・理事7名参加
茨城	鹿行	2023.12.14	高校生出前講座「車社会」に出る高校生の君たちへ	茨城県立波崎柳川高校にて、高校3年生73名、教員3名、代協会員6名
茨城	鹿行	2023.10.20	高校生出前講座	茨城県立波崎高校にて「車社会」に出る高校生の君たちへ、3年生157名、教員3名、代協会員7名参加
埼玉		2024.03.07	令和6年能登半島地震支援金	新春の集いの際にお預かりした募金110,000円を日本代協 能登半島地震義援金口座へ寄付
埼玉		2024.02.14	交通遺児への寄付	チャリティーゴルフコンペ・チャリティーボーリング、県代協の行事の際にお預かりした募金100,000円を埼玉県交通安全対策協議会へ寄付
埼玉		2023.11.01	献血キャンペーン	2023年11月1日～11月30日のキャンペーン 75名の参加、11月23日大宮駅東口交番前広場での街頭活動15名参加
千葉		2023.11.24	地震保険啓発普及 キャンペーン	五井駅にてティッシュつきノベルティ配布、7名参加
千葉		2023.09.20	無保険車追放 キャンペーン	千葉駅にてリーフレット付きティッシュを配布、国交省千葉運輸支局1名、会員9名参加
千葉	木更津	2023.12.17	献血活動	イオンタウン木更津西（駐車場）にて、会員3名参加
千葉	木更津	2023.12.10	地震保険啓発普及 キャンペーン	木更津市潮浜公園庭球場にて親子テニス大会参加者へリーフレット付きティッシュを配布、4名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
千葉	安房	2024.03.20	献血活動&地震保険啓発活動	千葉県館山市・イオンタウン館山（駐車場）にて、献血活動&地震保険啓発活動（チラシ、ティッシュを配布）実施、安房支部会員6名、県代協会員1名参加
神奈川		2023.09.17	ぼうさいこくたい2023KANAGAWA	第8回防災推進国民大会 2023神奈川（9月17日～18）横浜国立大学にて「ぼうさい探検隊」の紹介、ぼうさいマップの展示、来場者2日間で約400名
神奈川	県西	2023.10.27	地震保険啓発・普及キャンペーン	平塚駅前にてリーフレット付ティッシュを配布、計12名参加
神奈川	神奈川みらい	2023.10.24	地震保険啓発・普及キャンペーン	センター南駅前にてリーフレット付ティッシュを配布、損害保険ジャパン・会員計13名参加
神奈川	みなと	2023.10.26	地震保険啓発・普及キャンペーン	京急横須賀中央駅前Yデッキにてリーフレット付ティッシュを配布、各保険会社・会員計17名参加
神奈川	みなと	2023.05.24	春の献血活動	神奈川県立大学にて、74名参加
神奈川	湘南	2024.01.18	第32回献血活動	損保ジャパン(株) 藤沢支社にて、73名参加
神奈川	湘南	2023.10.23	無保険車追放キャンペーン	藤沢駅北口及び南口コンコースにてリーフレット付ティッシュ300を配布、会員11名参加
神奈川	湘南	2023.06.02	第31回献血活動	損保ジャパン(株) 藤沢支社にて、88名参加
神奈川	横浜中	2024.02.15	献血活動	横浜Lea献血ルーム、32名参加
神奈川	横浜中	2023.09.25	無保険車追放キャンペーン	桜木町駅前にてリーフレット付ティッシュを配布、国土交通省運輸局・損害保険ジャパン・会員計18名参加
神奈川	県央	2024.03.05	防災体験	神奈川県総合防災センターにて 11名参加
山梨		2024.02.21	高校出前講座	山梨県立青洲高等学校にて「明るい未来へTRY！クルマ編～自動車事故と保険の基礎講座」255名参加
山梨		2024.02.05	専門学校出前講座	山梨県立峡南高等技術専門校にて「車社会へ出る君たちへ」、24名参加
山梨		2024.01.30	大学出前講座	山梨大学にて「自動車事故と保険の基礎知識」、13名参加
山梨		2024.01.09	冬の献血キャンペーン	甲府献血ルーム「グループ」にて、実施期間2024年1月9日～2月20日、受付者数75名、献血者数65名
山梨	県央/県西	2024.01.10	冬の献血推進キャンペーン	甲府市防災新館スクランブル交差点にて、けんけつちゃんティッシュ250個配布、会員11名参加
山梨	県央/県西	2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	JR甲府駅南口、オギノリバーシティ店にてリーフレット600個配布、会員のべ19名参加
山梨	県央	2023.09.28	無保険車追放キャンペーン	JR甲府駅南口にてリーフレット300個配布、会員10名、関東運輸局1名参加
山梨	郡内	2023.10.18	無保険バイク追放キャンペーン	都留文科大学前にてリーフレット配布、会員10名参加
山梨	郡内	2023.09.13	秋の献血推進事業	富士吉田市民会館にて、受付者66名、採血者56名
静岡	大井川	2023.09.19	献血活動	藤枝市役所にて、14名参加協力
愛知		2024.01.29	交通安全 出前授業	豊橋中央高等学校にて、参加者235名
愛知		2023.07.10	出前授業	豊橋中央高校にて交通安全出前講座、約90名参加
愛知		2023.04.28	交通安全出前授業	中学生生に対する動画とスライドを活用した自転車の安全講習、名古屋学院付属中学校に
愛知		2023.04.26	交通安全出前授業	高校生に対する動画とスライドを活用した自転車の安全講習、名古屋学院付属高等学校にて、750名参加
愛知		2023.04.10	新入生自転車交通安全教室	大同大学高等学校にて、通学時・下校時の自転車の交通安全についての講義、458名参加
三重		2024.03.23	出前講座	津市立栗葉小学校にて4・5年生とその保護者（約30名）に「自転車から学ぶ交通安全 自転車事故とその現実」講演
三重		2023.12.20	交通安全出前講座	津市立一身田中学校一年生（約160名）、テーマ「自転車から学ぶ交通安全～自転車事故とその現実～」にて講演
三重		2023.11.24	交通安全出前講座	鈴鹿市立白鳥中学校に1～3年生約320名に「自転車から学ぶ交通安全～自転車事故とその現実～」講演
三重	四日市/津/伊勢志摩	2023.12.01	冬の献血キャンペーン	12/1～3/31 四日市・津・伊勢の各献血ルームにて、41名参加
三重	四日市	2023.10.06	地震保険啓発・普及キャンペーン	ポケットティッシュ入りリーフレットの配布、23名参加
三重	四日市/津/伊勢志摩	2023.07.01	夏秋の献血キャンペーン	7/1～10/31（4か月間）各献血ルームにて 55名参加（四日市会場12名・津会場24名・伊勢会場19名）
三重	鈴亀/津	2023.09.15	無保険車追放キャンペーン	ポケットティッシュ入りリーフレットの配布、JR津駅前 10名、近鉄白子駅前 6名参加
富山		2024.02.21	高校生出前講座	富山県立小矢部園芸高等学校にて、16名参加
富山		2024.02.14	高校生出前講座	富山県立上市高等学校にて、142名参加
富山		2024.02.14	高校生出前講座	富山県立富山商業高等学校にて、231名

主催	開催年月日	タイトル	内容
富山	2024.02.08	高校生出前講座	富山県立伏木高等学校にて、107名参加
富山	2024.02.06	高校生出前講座	富山県立高岡商業高等学校にて、193名参加
富山	2024.01.18	高校生出前講座	高岡第一高等学校にて、180名参加
富山	2023.11.16	高校生出前講座	学校法人荒井学園 新川高校にて、63名参加
富山	2023.11.01	高校生出前講座	高岡向陵高校3学年 160名 講師:井澤
富山	2023.10.29	献血活動	ファボーレ富山にて、一般の方含め75名参加
石川	2024.02.09	高校出前講座	寺井高等学校にて、生徒約110名参加
石川	2024.02.01	高校出前講座	金沢辰巳丘高等学校にて、生徒約50名参加
石川	2024.01.26	高校出前講座	松任高等学校にて、生徒約90名参加
石川	2024.01.17	高校出前講座	内灘高等学校にて、生徒約45名参加
石川	2023.11.16	高校出前講座	鶴来高等学校にて、生徒約65名参加
福井	2024.01.17	交通安全教室出前講座	足羽高校にて「車社会に出る君たちへ」実施、生徒数120名参加
福井	2023.12.19	寄附	チャリティーゴルフコンペでの募金(6万円)を福井県児童福祉事業基金に寄付
福井	2023.12.08	交通安全教育出前講座	北陸高校(生徒数630名)「車社会に出る君たちへ」実施
福井	2023.11.21	自転車安全教室	福井県立清水特別支援学校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)60名参加
福井	2023.11.15	街頭献血	嶺南地区、福井県敦賀合同庁舎にて、受付者数58名
福井	2023.11.14	街頭献血活動	嶺北地区、損害保険ジャパン福井支店前にて、受付者数134名
福井	2023.10.18	交通安全教育出前講座	美方高校(生徒数60名)「車社会に出る君たちへ」の実施
福井	2023.09.14	自転車安全教室	坂井高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)220名参加
福井	2023.07.14	自転車安全教室	敦賀工業高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)319名参加
福井	2023.07.12	自転車安全教室	武生商工高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)278名参加
福井	2023.07.10	自転車安全教室	大野高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)124名参加
福井	2023.06.12	自転車安全教室	万葉中学校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)307名参加
福井	2023.06.01	自転車安全教室	敦賀西特別支援学校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)15名参加
福井	2023.05.24	自転車安全教室	北陸高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)487名参加
福井	2023.05.23	自転車安全教室	順化小学校にて、自転車安全啓発(自転車保険のお話し)24名参加
福井	2023.05.17	自転車安全教室	若狭高校(定時制)にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)30名参加
福井	2023.05.16	自転車安全教室	若狭高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)247名参加
福井	2023.05.15	自転車安全教室	大野高校(定時制)にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)56名参加
福井	2023.05.12	自転車安全教室	勝山高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)220名参加
福井	2023.05.11	自転車安全教室	三國高校にて、自転車安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)132名参加
福井	2023.05.11	自転車安全教室	高志高校にて、自転車交通安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)250名参加
福井	2023.05.09	自転車安全教室	福井南特別支援学校にて、自転車交通安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)40名参加
福井	2023.04.25	自転車安全教室	福井特別支援学校にて、自転車交通安全啓発(自転車保険(個人賠償責任保険)の重要性について)、118名参加
福井	2023.04.21	自転車安全教室	鯖江中学校にて、自転車に交通安全啓発(自転車保険(個人賠償責任保険)含む)、生徒300名参加
福井	2023.04.20	自転車安全教室	兵庫小学校にて、自転車交通安全啓発(自転車保険(個人賠償責任保険)のおはなし含む)、5年生16名参加
福井	2023.04.14	自転車安全教室	中央中学校にて、自転車交通安全啓発(自転車保険・個人賠償責任保険の重要性について)生徒330名参加
福井	2023.04.13	自転車教室	足羽高校にて、自転車保険(個人賠償責任保険)の重要性について、生徒146名参加
福井	2023.04.10	自転車安全教室	啓新高校にて、自転車保険(個人賠償責任保険)の重要性について、生徒345名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
滋賀		2024.03.05	能登半島地震災害支援金の募金活動	19,000円
滋賀		2024.02.25	能登半島地震被災地（輪島市の避難所）へ復興応援訪問	みたらし団子400本を提供
滋賀		2024.02.10	能登半島地震被災地へタオルを届ける活動	会員・保険会社から寄付された物資（新品タオル、カップ麺、使い捨てカイロ、使い捨て食器）を七尾・珠洲、輪島に支援に入る長浜の団体に寄付
滋賀		2024.01.23	能登半島地震災害支援金の募金活動	38,750円
滋賀	湖東湖北	2023.10.25	地震保険普及キャンペーン	JR彦根駅前（西口および東口）にて、正会員14名 各保険会社社員9名 計23名参加
滋賀	湖西湖南	2023.10.11	無保険車追放キャンペーン	立命館大学、龍谷大学へキャンペーングッズ800部を持参し配布、国交省職員とともに通学バイクの自賠責期限切れバイクを調査し学生部へ報告
滋賀	湖西湖南	2023.06.12	無保険車追放キャンペーン	立命館大学、龍谷大学にて、国交省職員とともに通学バイクの自賠責シールを点検、正会員9名 各保険会社社員13名 計22名参加
京都		2024.02.18	京都マラソンボランティア参加	立命館大学手前にて、55名参加
京都		2024.01.24	能登半島地震災害支援金の送金	4万5千円
京都		2024.01.10	消防の図画への協賛金送付	京都市消防局が主催する子供たちの消防の図画作品展への協賛金3万円を送付
京都		2023.11.30	令和5年年末の交通事故防止府民運動スタート式	八幡市文化センターにて、スタート式・広報啓発活動、2名参加
京都		2023.11.15	献血キャンペーン	午前 あいおいニッセイ同和損害保険 22名受付19名の採血、午後 三井住友海上火災保険 15名受付採血が12名、CSR委員10名参加
京都		2023.10.28	京都市総合防災訓練（地震保険啓発キャンペーン）	岡崎プロムナード（平安神宮）にて、京都市と京都代協の協定チラシ、不正業者の啓発ちらし入りティッシュ2000個を配布、京都市、損保協会、保険会社で地震保険相談窓口を作り、子供たちのゲームコーナーやお菓子配布、35名参加
京都		2023.09.20	令和5年秋の交通安全スタート式	下京区の梅小路公園にてスタート式・広報啓発活動、2名参加
京都		2023.07.20	令和5年夏の全国交通安全スタート式	京丹波町内の道の駅「京丹波味夢の里」にて、スタート式・広報啓発活動、2名参加
京都		2023.05.19	無保険車追放キャンペーン	産業大学にて、CSR委員10名参加
京都		2023.05.17	献血キャンペーン	午前 あいおいニッセイ同和損害保険、21名の受付19名採血、午後 三井住友海上火災保険、23名受付採血が19名、CSR委員10名参加
京都		2023.05.10	令和5年春の全国交通安全運動スタート式	岡崎プロムナード（京都市左京区）にて、スタート式・広報啓発活動、2名参加
奈良		2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	JR奈良駅前 正会員10名 各保険会社社員9名 計19名、近鉄奈良駅前 正会員9名 各保険会社社員13名 計22名参加
奈良		2023.09.23	無保険車追放キャンペーン	大和西大寺駅北口奈良ファミリー前歩道付近にて、正会員21名 各保険会社社員21名 近畿運輸局・奈良運輸支局3名 計44名参加
大阪		2024.02.25	「2024大阪マラソン」ボランティア	「2024大阪マラソン」コース内沿道整理ボランティア活動、17名参加
大阪		2024.02.04	大阪マラソン クリーンUP作戦	大阪市が主催する「大阪マラソン クリーンUP作戦」に大阪代協として参画 2/25開催の「大阪マラソン2024」コース内清掃、34名参加
大阪	東	2023.09.07	無保険車追放キャンペーン	大阪工業大学情報科学部事務室へキャンペーングッズ200部を送付、昨年に続きバイク通学学生への手渡し配布及び掲示配布を依頼
大阪	京阪	2023.10.13	無保険車追放キャンペーン	関西外国語大学 枚方キャンパスへキャンペーンリーフレットを持参し学生部カウンターに設置、学内バイク置き場にて自賠責ステッカーを調査し学生部へ報告
大阪	船場	2023.10.12	無保険車追放キャンペーン	大阪経済大学 学生部スポーツ・文化振興課へキャンペーンリーフレット200部を持参、バイク通学許可申請に訪れた学生へ手渡し依頼
大阪	船場	2023.10.12	無保険車追放キャンペーン	近畿大学 学生部学生課へキャンペーンリーフレット200部を持参、バイク通学許可申請に訪れた学生へ手渡し依頼
大阪	堺	2023.10.11	無保険車追放キャンペーン	大阪公立大学 事務局学務部学生課キャリア支援室へキャンペーンリーフレット200部を持参、バイク通学の学生への配布を依頼
大阪	堺	2023.10.11	無保険車追放キャンペーン	桃山学院大学 大学統括部学生支援課へキャンペーンリーフレット200部を持参、バイク通学の学生への配布を依頼
兵庫		2023.11.19	第11回神戸マラソンボランティア活動	長田ブロックにて沿道警備、ボランティアスタッフ20名参加
兵庫		2023.10.23	地震保険啓発・推進キャンペーン	地震保険啓発・推進の声掛け・リーフレット配布、JR元町駅東口前広場 21名（会員8名 保険会社社員13名）・JR姫路駅南側広場 23名（会員8名 保険会社社員15名）参加
兵庫		2023.10.22	神戸ジャズセンテニアルボランティア	神戸ジャズ100周年記念事業（初開催）の南京町広場の会場警備を担当、10名参加
兵庫		2023.10.16	無保険車追放キャンペーン	JR元町駅東口前広場にて無保険車追放の声掛けおよび自賠責リーフレットの配布、20名参加（陸運局職員2名 保険会社10名 会員8名）
兵庫		2023.08.09	献血活動街頭キャンペーン	JR三ノ宮駅中央口にて「献血」の呼びかけ、誘導およびミント神戸15献血ルームで受付をサポート、キャンペーン参加者15名、献血6名
岡山		2024.02.01	献血月間	受付数 65名・献血数 54名
岡山		2023.12.02	AEDと普通救命講習会	岡山市消防局 岡山中消防署にて、19名参加
岡山		2023.09.27	無保険車追放キャンペーン	イオン岡山店北東歩道にて、リーフレット付ティッシュを配布、会員12名・運輸支局2名参加
岡山		2023.08.01	献血月間	受付数 76名、献血数67名
鳥取		2023.11.07	第31回暴力追放鳥取県民大会	公益財団法人鳥取県暴力追放センター・鳥取県警察主催、とりぎん文化会館にて、2名参加
鳥取		2023.10.11	一般財団法人鳥取県交通安全協会へチャイルドシート寄贈	一般財団法人鳥取県交通安全協会にて贈呈式、チャイルドシート3台を県下3箇所（鳥取・倉吉・米子）の交通安全協会へ寄贈
鳥取	倉吉	2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	倉吉市伊木 スーパーマレイ上井店にてリーフレット付ティッシュを配布、会員7名参加
鳥取	倉吉	2023.07.26	AED講習会	鳥取中部ふるさと広域連合 倉吉消防署にて、会員7名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
鳥取	鳥取	2023.09.21	無保険車追放キャンペーン	イオン鳥取店出入口前3カ所にてリーフレット付ティッシュを配布、会員9名・国交省2名 合計11名参加
島根		2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	松江駅前にて通勤時間帯にチラシを街頭配布、9名参加。
島根		2023.09.22	無保険車追放キャンペーン	松江駅前にて通勤時間帯にチラシを街頭配布、名参加。
広島		2023.09.16	第13回広島県代協チャリティーゴルフコンペ	会員、保険会社社員と合同でチャリティーゴルフコンペを開催(参加者39名)チャリティー金を県下のスポーツ諸団体や、「ぼうさい探検隊マップ」コンクール参加者景品に寄付
山口		2023.10.29	無保険車追放キャンペーン・山口市公共交通ふれあいフェスタ	山口県山口市中央公園にて、会員7名・国交省2名・あいおいニッセイ同和社員3名 合計12名参加
山口	下関	2024.01.27	献血運動	山口県下関市 ゆめシティにて街頭声掛け運動、会員5名参加
山口	下関	2023.11.25	救命講習の受講実施	山口県 下関市中央消防署にて、5名参加
山口	下関	2023.08.14	「関門海峡花火大会」翌朝清掃	下関市内の湾岸沿いの路上・公園などで実施、会員4名参加
山口	山口	2023.12.02	献血サポート活動	山口県山口市 ゆめタウン山口 西出口付近にて、9名参加
山口	山口	2023.10.29	山口市公共交通ふれあいフェスタ	山口市中央公園(山口情報芸術センター・山口市立図書館)にて、山口支部会員7名 柳井支部1名 非会員2名 合計10名参加
山口	宇部	2024.03.17	検血活動	山口県宇部市 ゆめタウン宇部にて、7名参加
山口	周南	2024.02.11	冬の献血活動	下松市 サンリブ下松店にて、4名参加
山口	周南	2023.07.27	夏の献血活動	周南市御幸通り 大同生命周南ビルにて、7名参加
山口	柳井	2024.02.25	検血活動	山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、4名参加
山口	柳井	2023.12.20	年末交通安全キャンペーン	山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、7名参加
山口	柳井	2023.09.29	秋の交通安全キャンペーン	山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、6名参加
山口	柳井	2023.09.26	秋の交通安全キャンペーン	山口県田布施町 マックスバリュ田布施にて、4名参加
山口	柳井	2023.07.13	夏の交通安全キャンペーン	山口県柳井市 ゆめタウン柳井にて、9名参加
山口	柳井	2023.05.17	春の全国交通安全キャンペーン	平生町主催、マックスバリュ平生東にて、交通安全セットの配布、5名参加
山口	柳井	2023.05.16	春の全国交通安全キャンペーン	田布施町主催、マックスバリュ田布施にて、交通安全セット配布、6名参加
山口	柳井	2023.05.15	春の全国交通安全キャンペーン	柳井市主催、ゆめタウン柳井にて、交通安全セットの配布、7名参加
山口	岩国	2024.03.03	400ml献血の声掛け	山口県岩国市南岩国町 ゆめタウン南岩国にて、会員4名・その他1名参加
愛媛		2023.09.21	無保険車追放キャンペーン	松山市駅前にてノベルティ等の配布、役員6名・国交省4名 計10名
福岡		2023.11.01	献血応援月間	献血用血液が不足する11月を中心とした、福岡県赤十字血液センターとCSR委員会とタイアップした献血推進活動、福岡7支部、正会員540名に対し献血依頼
福岡	北九州東	2023.07.28	ひまわり絵7/28/~8/3)	ひまわり絵画展(7/28~8/3) 展示および撤収のボランティア活動、延べ30名参加
大分		2023.09.26	無保険車追放キャンペーン	亀の井自動車学校別府校内にて、リーフレット付ティッシュ100個配布、代協会員3名参加
大分		2023.09.26	無保険車追放キャンペーン	大分県運転免許センター正面玄関前にてリーフレット付ティッシュ200個配布、運輸支局員1名、代協役員3名参加
佐賀		2023.09.25	無保険車追放キャンペーン	JR佐賀駅南口にて自賠責保険チラシ配布、運輸支局1名・会員7名参加
佐賀	佐賀東	2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	JR佐賀駅にてチラシとティッシュを配布、保険会社20名・会員9名参加
佐賀	佐賀東	2023.08.20	献血活動	ゆめタウン佐賀にて、参加者14名、採血60名
佐賀	唐津	2023.10.23	地震保険普及キャンペーン	まいづる本店にてチラシとティッシュを配布、会員14名参加
佐賀	唐津	2023.08.08	献血活動	イオン唐津にて、参加者15名、採血43名
長崎		2023.05.16	ワンコインキャンペーン	ワンコインキャンペーンの賛同金で長崎県県民生活環境部交通・地域安全課へ両面反射リフレクター(交通安全啓発品)3,500個を寄贈
宮崎		2023.09.27	無保険車追放キャンペーン	アミュプラザうみ館周辺にて、国交省職員2名・会員12名参加
宮崎	西都児湯	2023.12.01	普通救命講習会	東児湯消防組合にて、7名参加
宮崎	都城	2023.09.27	交通安全・地震保険普及キャンペーン	都城市大岩田町国道10号線沿いの大岩田交番前にて、会員17名、大岩田署員8名 計25名参加
熊本		2023.09.21	無保険車追放キャンペーン	熊本学園大学にてリーフレットとマスクの配布、約150台のバイクのステッカーの調査、17名参加
熊本		2023.05.19	献血活動・AED講習	通常総会前に会場へ献血車をよび献血、日赤のインストラクターによるAEDの講習、20名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
熊本	天草	2023.05.10	春の交通安全運動出発式	天草市民センターにてバトカー、白バイ、宣伝カーの出発式 2名参加（総勢約100名）
熊本	鹿本	2023.09.21	秋の全国交通安全運動出発式	山鹿市鹿本生涯学習・健康センター（ひだまり）にて、1名参加
熊本	鹿本	2023.05.11	春の交通安全運動出発式	鹿本市民センター（ひだまり）にて安全運転呼びかけで運転手に関連資料商品の配布、1名参加
熊本	八代	2023.07.10	寄贈	八代支部チャリティーゴルフコンペの協賛金で芦北町役場において竹崎芦北町長へ、バット同行避難所用折り畳みサークル（M10個、L4個）を寄贈、4名出席
鹿児島		2024.02.14	バレンタイン献血キャンペーン	鹿児島県赤十字献血センターにて、受付61名、採血46名
鹿児島		2023.10.25	地震保険啓発普及キャンペーン	鹿児島県南国センタービル・イオン鹿児島中央店・若き薩摩の群像前にてリーフレット付きティッシュを配布、会員16名、保険会社4名参加。
鹿児島		2023.09.27	無保険車追放キャンペーン	鹿児島中央駅近くの南国センタービル付近にてリーフレット付きティッシュを配布、会員12名、保険会社3名、国土交通省2名の合計17名で実施
鹿児島		2023.08.04	救急救命AED講習会	ホテルタイセイ会議室にて、19名参加、鹿児島市消防局長より終了証授与

## 消費者団体との懇談会

消費者の声に耳を傾け、消費者の立場に立ったよりよい保険商品の提供や代理店の役割と存在意義を知っていただくために、全国各地域の消費生活センターなどの消費者団体と定期的に懇談会を行っています。

主催	開催年月日	タイトル	会場・参加者等	参加者数	
				消費者団体	代協
愛知	2024.02.27	消費者団体との懇談会	愛知県民生活課・名古屋市消費生活課担当者 各1名と愛知県代協会長・理事の6名（合計8名）にて意見交換会	2	6
岐阜	2023.11.14	消費者団体との情報交換会	岐阜県環境生活部県民生活相談センター3名、岐阜市消費生活センター1名、岐阜県代協会長、CSR委員7名にて情報交換	4	7
石川	2023.09.27	消費者団体との懇談会	演題「自然災害と損害保険」、講師 一般社団法人日本損害保険協会北陸支部 事務局長 宮崎隆志氏、石川県婦人団体協議会（23名）、代協（7名）参加	23	7
京都	2023.08.02	京都市消費生活総合センター懇談会	消費者センター 2名・広報委員会4名参加	2	4

## 倫 理 綱 領

損害保険代理業は、損害保険業の発展を通じ、社会の安全を守り、福祉の向上に貢献する公益性の高い職業である。

一般社団法人日本損害保険代理業協会の正会員に加盟するすべての損害保険代理店並びにその募集人は、社会が損害保険代理業に課する使命、責任、義務に深い自覚を持ち、社会の信頼にこたえ、その繁栄に資するため、常に研鑽につとめる。

よって、ここに倫理綱領を定め、その遵守と実践を宣言する。

1. われわれ損害保険代理業者は、損害保険ならびに代理店制度が社会の安定と福祉の向上を図るため、最善の制度であることを確認し、損害保険の普及につとめるとともに、尊い職責を完全に果たし、消費者の信頼を高めるよう努力する。
2. われわれ損害保険代理業者は、直接消費者に接する者として、常に知性、知識の研磨につとめ、資質を向上させ、消費者の需要に的確に対応し、損害保険代理業者としての機能を高度に発揮することを誓う。
3. われわれ損害保険代理業者は、名誉を重んじ、秩序を守り、公正な募集活動を推進し、同業者相互間においては、常に友好的関係を保持し、損害保険代理業の地位の向上につとめる。
4. われわれ損害保険代理業者は、損害保険会社及びその団体と友誼的関係を維持するとともに、英知を結集し、損害保険業の発展に寄与する。
5. われわれ損害保険代理業者は、損害保険業に対する公共の信頼を維持し、業務の適切性および健全性を確保するため、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けて断固たる対応を行う。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

# 募 集 規 範

## ■ 目 的

全ての損害保険の募集に従事する者は、消費者の 4 つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を述べる権利）を尊重し、以下に定める事項を遵守することによって、一般消費者の利益に貢献することを目的とする。

## ■ 倫理規範

### （1） 社会性・公共性の自覚

損害保険業は、社会・公共の利益に貢献する使命を持つことを自覚しなければならない。

### （2） 自己研鑽

常に自己研鑽に励み、顧客サービスの質を高めるよう努力しなければならない。

### （3） 信義・誠実性

一般消費者に対し、常に公平、公正で、信義を守り、誠実でなければならない。

### （4） 信用の維持

常に自らの信用維持に努めなければならない。

### （5） 反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係を含めて一切の関係を持たないようにしなければならない。

## ■ 行動規範

### （1） 商品説明

商品内容を説明する場合は、重要事項説明書などにより、一般消費者が商品内容を理解し、自主的な商品選択ができるよう、契約条項のうち重要な事項は必ず説明する。

### （2） 最適アドバイス

一般消費者のニーズに対し、適切な商品をアドバイスする。

### （3） アフターサービス・アフターフォロー

契約後、適切なアフターサービス・アフターフォローを提供する。

### （4） 顧客情報の守秘

保険の募集に関し、秘密とすべき顧客情報は守秘する。

### （5） 法令等の遵守

保険業法およびその他の法令等を遵守する。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

## **反社会的勢力への対応に関する基本方針**

一般社団法人 日本損害保険代理業協会およびその正会員である全国各都道府県損害保険代理業協会は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に努め、公共の信頼を維持し、適切かつ健全な業務の遂行を確保するために、以下の基本方針を定めます。

### **1. 組織としての対応**

反社会的勢力による不当要求等に対しては、役職員等の安全を確保するとともに、担当者任せにすることなく、組織全体として対応します。

### **2. 外部専門機関との連携**

反社会的勢力による不当要求等に備えて、平素から、警察、暴力追放運動推進センター、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

### **3. 取引を含めた一切の関係遮断**

反社会的勢力とは、取引関係も含めて、一切の関係を持ちません。

また、反社会的勢力による不当要求等は断固拒絶します。

### **4. 有事における民事と刑事の法的対応**

反社会的勢力による不当要求等に対しては、民事と刑事の両面から法的対応を行います。

### **5. 資金提供・裏取引の禁止**

いかなる形態であっても、反社会的勢力に対する資金提供や事案を隠ぺいするための裏取引は絶対に行ないません。

以上